

よっちゃんの



やさしい 英語レッスン

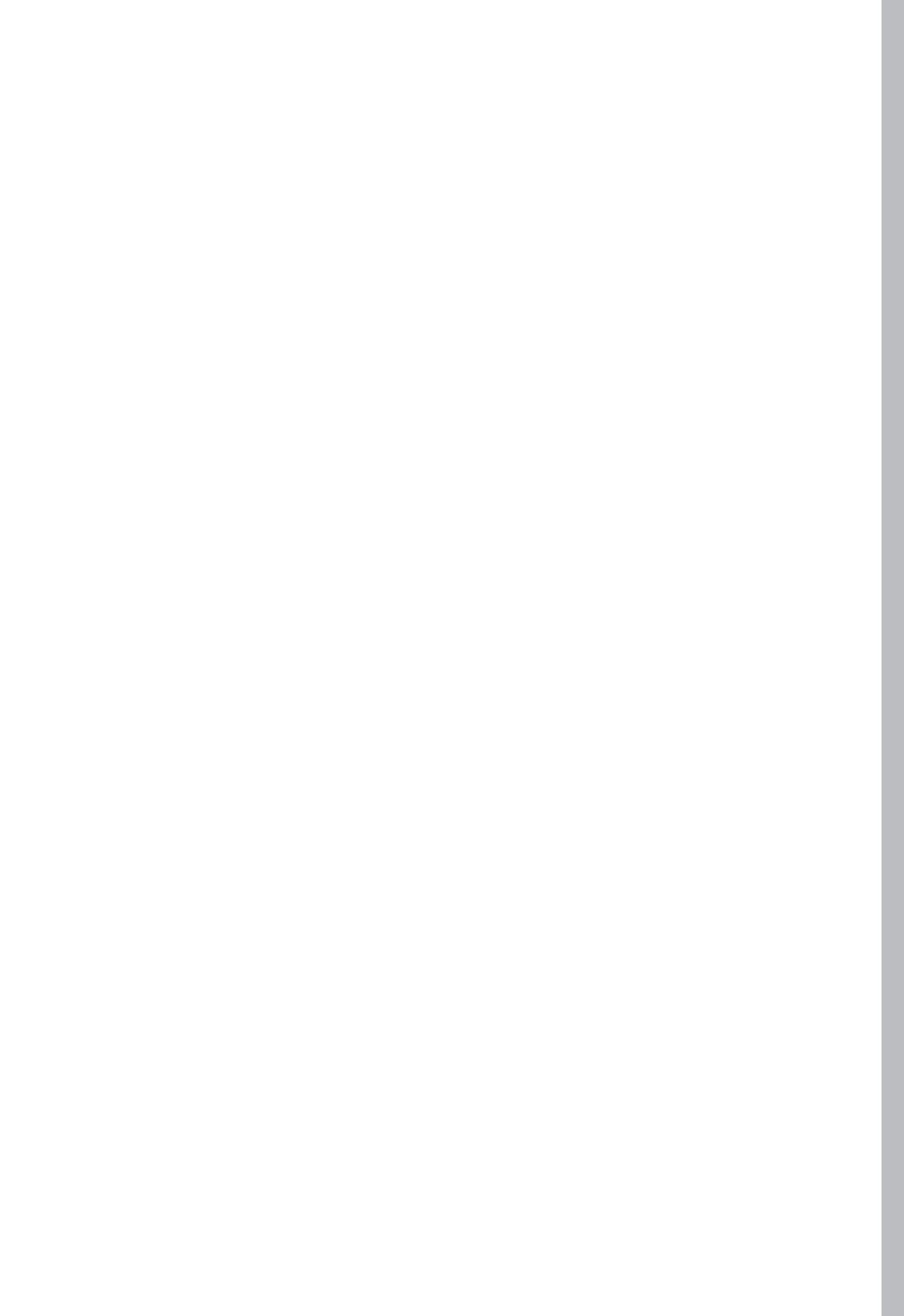
中学英語も不安なあなたへ

.....

高卒資格を徹底サポート!
株式会社ワイズアカデミー 代表取締役

大森善郎







目次

まえがき

009

◎ 便利な一言 ◎

- | | | | |
|-----|---|-----|---------------------------------------|
| 022 | Here or to go?
ひゃつどこ? | 032 | Never mind!
気にしないで |
| 022 | I get off. あげとうふ | 032 | I got it! まかせて |
| 023 | a small present
ささやかな贈り物 | 033 | Hands up! 手をあげろ |
| 023 | Just kidding! 冗談ですよ | 033 | Good question!
良い質問だ |
| 024 | I'll be right back!
すぐに戻ってきます | 034 | Take five!
5分休憩しよう |
| 024 | Good. ああ、そう | 034 | Go on! そのまま続けて |
| 026 | Hello, Tom.
トム、こんにちは | 035 | You read my mind!
どうして分かったの |
| 025 | Have a good time.
楽しむ | 035 | This is on me!
ここはぼくがおごるよ |
| 026 | go to bed 寝る | 036 | May I try it on?
試着していいですか |
| 027 | flu インフルエンザ | 036 | Just looking!
見ているだけです |
| 027 | Hi, Guys! やあ、皆 | 037 | Let's see... えーと |
| 028 | a kind of ~みたいな | 037 | Be quiet... 静かに! |
| 028 | secretary 秘書、長官 | 038 | This one, please.
これを下さい |
| 029 | Time flies. 光陰矢のごとし | 038 | I miss you!
あなたがいなくて寂しい |
| 029 | Leave me alone.
そっとしておいて | 039 | A.S.A.P.!
出来るだけ早く |
| 030 | Let it be. あるがままに | 039 | Just kidding!
ほんの冗談です |
| 030 | That's it! そう、それだよ | | |
| 031 | column : 01
台湾のシーさん | | |

- 040 **I'm on a diet!**
ダイエット中です
- 040 **Take your time.**
ゆっくりね
- 041 **You did it!** やったね!
- 041 **Bless you!** お大事に
- 042 **column : 02**
バイリンガル
- 043 **Watch out!** 気をつけて
- 043 **Speak up!**
大きい声で話して
- 044 **Hangover!** 二日酔い
- 044 **How come?** なぜ?
- 045 **Give me a break!**
勘弁してよ
- 045 **Who's it?** どなた?
- 046 **ex** ~ もと~
- 046 **rain check** 雨天順延券
- 047 **Smoke Free** 禁煙
- 047 **Close!** おしい!
- 048 **I'm coming!** 今行くよ!
- 048 **No way!** いやだ!
- 048 **Keep the change.**
おつりはとっておいて
- 049 **column : 03**
中国という体制
- 050 **Pass me the salt.**
塩をとつて
- 050 **Catch you later!**
また後でね!
- 050 **Can you hear me?**
聞こえる?
- 051 **minutes** 議事録
- 051 **night owl** 夜ふかしの人
- 052 **T.B.D.** 未決定
- 052 **my turn** わたしの番
- 052 **That's new to me!**
初耳だよ
- 053 **Watch your step!**
足元注意
- 053 **Drop in anytime!**
いつでも立ち寄ってね
- 054 **see a doctor**
お医者さんにかかる
- 054 **Here you go!**
はい、どうぞ!
- 054 **On your mark,
get set,go!**
位置について、よーい、どん!
- 055 **Sure!** もちろん!
- 055 **Why not?** 賛成!
- 056 **I hope so.** だったらいいね
- 056 **Are you OK?** 大丈夫?
- 057 **Come on!** がんばれ!
- 057 **What's new?**
やあ元気?
- 057 **He never learns!**
こりない人だ!
- 058 **I can't wait!** 待ち遠しい!
- 058 **Take me to the zoo!**
動物園に連れてって!
- 059 **you know** あのね
- 059 **A piece of cake!**
朝めし前だよ
- 059 **You see what I mean?**
言いたいこと分かる?
- 060 **watchdog** 番犬

060 **Speaking!** ほくだよ!

060 **Love is blind.**
恋は盲目

061 **column : 04**
女子ゴルフLPGA

062 **Time is money!**
時は金なり

062 **quite a few**
かなりたくさん

062 **Knock on wood.**
くわばらくわばら

063 **Give me a ride!**
乗せてって

063 **toll free** フリーダイヤル

064 **feel like**
～したい気分

064 **Help yourself.**
ご自由にお取り下さい

064 **Let's keep in touch!**
連絡をとりあおうね

065 **You never know!**
分からないよ

065 **Take a chance!**
一か八か挑戦する

066 **cannot help (～ing)**
～せずついにられない

066 **Your nose is running!**
鼻水が流れてるよ

066 **How would you like your steak?**
焼き加減は

067 **First come, first served!**
先着順

067 **Cheer up!** 頑張つて!

068 **No news is good news!**
便りが無いのは良い便り!

068 **accept credit cards**
クレジットカードで払える

068 **split the bill**
割り勘にする

069 **column : 05**
誰が背が高い?

070 **Follow me!**
ついてきて!

070 **It all depends!**
状況によるよ

070 **Don't mention it!**
気にしないで

071 **I hope you like it!**
気に入るといいのですが

071 **Be careful!**
気をつけて!

071 **Keep off!**
立ち入り禁止!

072 **a couple of～**
2、3の～

072 **No doubt about it!**
間違い無い!

073 **feel like～**
～を望む

073 **Don't give up!**
あきらめるな!

073 **proud of～**
～を誇りに思う

074 **Between you and me...**
ナイショだけど...

074 **honor**
光栄

075 **on the street**
街で

075 **column : 06**
鹿に注意!

◎ 文 法 ◎

- 078 英語は主語＋動詞、日本語はオシリが結論
- 080 3人称とは何？
- 082 代名詞とは何？
- 083 冠詞 theは特定、aは不特定
- 085 冠詞 theとaの使い分け
- 086 冠詞 (aやthe)を使わない場合
- 087 冠詞、名詞の見分け方 (数えられるか否か)
- 088 前置詞 on=くっつき続ける
- 089 前置詞 off=ふわつと離れる
- 090 前置詞 of=一体感
- 091 接続詞 since=～以来ずっと
- 092 **column : 07**
アメリカの国土
- 093 接続詞 since, as, for⇒～だから
- 094 接続詞 because=～だから
- 095 asのイメージ⇒
天秤でバランスがとれている
- 096 助動詞 should=した方がいいよ
- 097 助動詞 would=したものだっただ
- 098 助動詞 must=に違いない
- 099 助動詞 do=
強調の意味を加える
- 101 **column : 08**
ビジネスの手紙
- 102 形容詞 some=具体的、any=何らかの
- 103 形容詞 文頭のsome
=そういう場合もある
- 104 形容詞 few, little
=ほとんどない
- 105 形容詞
such a=感嘆文的な表現
- 106 進行形 ~ing=生きた表現
- 107 **column : 09**
ナイアガラの滝
- 108 未来形 willとbe going to
- 109 部分否定 not really
=あまり～でない
- 110 現在完了 have+過去分詞
=生き生きした表現
- 111 5W1H to+動詞=すべき
- 112 5W1H+ever=たとえ～でも
- 113 **column : 10**
ベルギーの高速道路
- 113 5W1H 疑問文の作り方
- 114 **column : 11**
イタリアでスキー
- 116 5W1H whomとwhoの違い
とその省略
- 116 ビジネス英語、
通訳を目指す人に
- 119 ビジネス英語、契約書

◎ 語 源 ◎

- 122 語源は好奇心から
- 123 in=内側とex=外側
- 124 EN対DE
- 124 pre=前
- 126 pend=ぶらさがり
- 126 manu=手

- 127 **ped**=足
 127 **mo**=動く
 128 **sub**=下に潜って
 128 **pro**=前方へ
 128 **con(m)**=完全に、共に
 129 **ad**=～へ向かって（前進して）
 129 **ac**=の方へ（近づいて）
 130 **dis**=向こうへ離れて
 130 **trans**=移す
 131 **inter**=間の（相互間の）
 132 **retro**=さかのぼる
 132 **uni**=単一の
 133 **super**=上から（超）
 133 **tele**=遠くの
 134 **syn**=同じ、共に
 135 **tri**=3 (**bi**=2)
 135 **fore**=前へ、前の
 136 **kilo**=1000
 137 **cent**=100, 1/100
 138 **mil**=1000, 1/1000 及び1000K(100万)
 138 **a**=～の方へ
 139 **tend**=張る、広げる
 140 **fer**=運ぶ
 140 **struct**=築き上げる
 141 **up**=あつぷつぷ(いっぱいいっぱい)
 142 **vis(vid)**=見る
 143 **spect**=見る
 144 **dict**=言う
 144 **cord**=心
 145 **spire**=吹き込む
 145 **press**=押す、圧す
 146 **scribe, script**=書く
 146 **clude**=閉じる
 147 **flu**=流れる
 147 **spr**=飛び出る
 148 **cap**=頭（先頭）
 148 **duce, duct**=導く
 149 **gram**=書いたもの
 149 **pel**=押す
 150 **tain**=保つ
 150 **re**=「再び」&「後ろへ」
 151 **liqu**=液
 151 **counter**=逆の
 152 **over**=～過ぎる、過度の
 152 **circ**=周囲

付録 エッセイ

- 156 夏子ちゃんの宝物《 童話 》
 157 真理ちゃんの宝物《 童話 》
 160 コリー犬《 自伝 》
 163 オイルタンカー《 自伝 》
 165 ALS(ルー・ゲーリック病)《 自伝 》
 175 ジョブ・ホッパー《 自伝 》

あとがき

まえがき

よっちゃんワールドへようこそ！

この本は成田エリア新聞に5年間にわたって連載してきた「英会話、知っていると便利な一言」とインターネットで連載してきた英語の解説をまとめたものです。そして私の人生を伝える本でもあります。

私は父が海外航路の船員だったこともあり、世界を駆け巡る仕事につくのが夢でした。その為に学生時代、そして社会人になってからも必死で英語学習を続け、25才という若さでヨーロッパに駐在させていただきました。そして帰国後には外資系企業に転職し、アメリカ駐在を経験し、出張で世界を駆け巡りました。デジタルカメラ・スキャナー・プリンターなどの日米欧の共同開発に携わり、ニューヨーク・ベルリンを訪れ3日間で世界一周をしたこともありました。辛いことがあっても夢をかなえた幸せな日々でした。

2001年に会社を辞め、未来に羽ばたく若者を育てるために、学習塾を設立し、生き甲斐に満ちた毎日でした。(現在は、通信制高校のサポート校として、様々な夢に向かって賢明に生きる高校生を応援しています)世話好きな性格の為、ネットで無料の英語レッスンを連載した所、「是非本にして欲しい」というご要望と声援をいただき、ここに出版するに至りました。

英語が使えることは、あなたの未来の可能性を大きく広げます。世界中に友達を作り、人生の楽しみを倍増出来ます。私は「やさしく、分かりやすい」解説を心がけてきました。私自身が難しい文法用語は嫌いです。辛い勉強が少しでも楽しくなるように、この本が少しでもお役に立てれば嬉しく思います。

この本は以下の構成になっています。
どうぞ好きな所からお読み下さいね。

● 便利な一言

成田エリア新聞に5年間にわたって掲載してきた「英会話、知っている」と便利な一言」をまとめたものです。イラストでイメージをつかみながら、どうぞ楽しんで読んで下さいね。

● 文法

分かりやすい文法について、よっちゃんの視点からまとめたものです。SV00とか難しい用語を覚える必要はありません。これからの学習のヒントにして下さいね。

● 語源

英語力＝単語力です。そして**単語は理解するもの**であり、暗記するものではありません。皆さんの応用力と推測力をつける足がかりにして下さいね。

付録 エッセイ

よっちゃんの人生と、人への愛情について思うことをつづってみました。英語は手段に過ぎません。皆が愛情にあふれた生活を送ることを心から願っています。

よっちゃん語録

- 英語力とは**単語力**
- 英語力は**辞書をひいた量に比例**
- 推察力、例えば **pre = 前**
- 辞書は**紙の辞書**に書き込む
- 実用英語とは**中学文法 + 語彙**で成り立つ
- 文法は一つだけ**英語は主語・動詞**、日本語はおしりを見る
- 修飾説明は**日本語は前**、英語は後ろ
- 教材に**良し悪し**はなし
- お勧めは **NHK の TV 講座**、**高校入試問題集**
- 教養を磨くには**新聞を読むこと**
- 大学入試は**長文読解**が全て
- 上級者は **CNN.com**
- TOEIC なら **PC ソフト Media5 の TOEIC TEST**
- 会話の英語は**短く、短くつなげ**
- 上達するには**目標を定めよ**
- 会議は**事前打ち合わせ**が全て
- 通じる英語は**アクセント**で勝負
- 仲良くなるには**名前を覚えよ**
- 分からないが**大切**
- 間違いは**宝物**だよ
- 海外は**生きて帰れ**
- 頑張れるのは**愛する人の為**

英語力＝単語力＝辞書をひくこと

私の考え方では、英語の勉強の定義は「英語学習＝辞書をひくこと」以上！ なんですよね、基本的には。ただし例外はありますよ。「主語？ 何それえ」「過去形？ 何のこと？」という場合には、中学英語の最初から復習をしましょう。一般論で申し上げます。勉強方法に間違った方法などないのです。「するか、しないか」それだけのことです。

私が高校生の時のことです。クラス 38 名のうち 5 名が東京大学に進学しました。他に医学部歯学部が 15 名、他にも京都大学、大阪大学、東京工業大学、一橋大学などが普通という理系クラスでした。共通しているのは「評論家は誰もいない」、その代わりに「実践家だけがいる」のです。誰も変わったことなどしません。学校の課題をきちんとやった上で、自分で本屋さんで**参考書・問題集を買って学ぶ**、ただそれだけのことです。

方法ではないんですよ。勉強の「量」が違います。量を伴わずに質を語る資格はありません。野球の 100 本ノック＝ひたすら疲れるだけ＝非科学的な精神論と思いきや、別の意味があると本で読みました。100 本を捕球するのは過酷な作業です。それを達成するには「最も効率の良い方法」を身体で感じ取っていく、その効果があるのです。

クラスの生徒は平日 5 時間の自宅学習が珍しくありませんでした。100 本ノックと同じです。5 時間のノルマの中で、いかに効率良く進めるかを自分で見つけだすことが出来ます。ただし毎日 5 時間しなくてもいいんですよ。「毎日」短い時間でも継続することです。体育祭の準備などでどんなに疲れていても「毎日」1 時間でいいから積み重ねます。

勉強＝スポーツなんです。筋肉をつけるのは毎日の積み重ねが大切です。ですから何ヶ月も続けなければなりません。しかしそれを失う

のは簡単、ただ数日練習を休めばいいのです。そしてそれを取り戻すのには何ヶ月もかかります。勉強も全く同じですね。

そうだ、もう一つ共通点がありました。「目標がある」ということです。**目標がある人間は言い訳などしません**。その結果は自分にはねかえってくるだけだからです。だから「なぜ時間が作れないか、という言い訳」ではなく「どうしたら時間が作れるか」を考えるのです。

私は大学を出て大手の内定を断り中堅の会社に入りました。その方が「カバン一つで世界を駆け巡る」という「夢」がかなうと思ったからです。

そして入社して残業が続く毎日でしたが、仕事が終わって疲れた身体を引きずって、自分のお金でアテネフランセにフランス語を習いに通いました。どうしてもヨーロッパ駐在をしたかったからです。会社にアピールを続け2年後、例外的な若さで海外赴任を命じられました。「目標」があったから出来たことです。

皆さんも是非出来るだけ具体的な目標をもって下さい。きっと何かが変わる筈ですよ。

辞書の選び方についてお話ししましょう。私のお勧めは、

- 中学英語レベル⇒学研ジュニアアンカー英和・和英辞典
- 高校英語レベル⇒学研シニアアンカー英和辞典
- それ以上⇒お好きなもの

しかし基本的には「どれでもいい」んですよ。皆さんが本屋さんで手にとってみて「これがいい」と感じればそれでいいんです。辞書を含めて世の中に悪い教材はないと思います。だから決して「辞書のせい」にはしないこと。全てが立派なものです。**とにかく辞書は使ってなんぼのものです。**

では、なぜ上の辞書を推薦したのか、それは次の理由からです。

● 学研ジュニアアンカー英和・和英辞典

色がついている⇒使う気になる、文字が大きい⇒使う気になる、イラストが多い⇒使う気になる、英和・和英が1冊⇒使う気になる、というわけです。これらは結構重要な要素だと思うんですよ。そしてどの出版社のものでもいいので「字が大きい」ものを選んで下さいね。

● 学研シニアアンカー英和辞典

高校英語に特化⇒「学習」向き、重要単語は赤字⇒「学習」向き、単語数が多い⇒「学習」向き。

「電子辞書」はどうでしょうか。電子辞書は「意味調べ」には便利ですが、英語の学習には不向きと考えます。なぜなら電子辞書には「一覧性」がないのです。それに比べて紙の辞書ならば関連した語句が一目で視野に入りますので、記憶の定着に高い効果があります。

辞書の使い方について。辞書は使ってなんぼのものでしたね。これが1番大切なことですよ。ポイントをあげていきますね。

● 辞書はハダカで使う

ハダカに、というのはこういう意味です。ハードカバーは捨てる、ビニールカバーは捨てる、本棚に置かない。つまり辞書はハダカで机におくこと。ほら！思い当たりませんか？本棚にきれいに置いてホコリをかぶってる辞書。それでは辞書がかわいそうですね。辞書というのは使いまくってポロポロにしてあげるものです。絶対にカバーをして本棚に置いてはダメです。だって使わなくなりますよね。でもハダカで机においたら使うしかありませんね。辞書はこわしてしまうくらいの勢いで使いましょう。英語の勉強は、辞書との格闘技くらいに思ってください。辞書の紙はびっくりするくらい丈夫です。親の

カタキとばかりに激しくめくって使っていいですよ。

● 辞書は汚してあげるもの

書く⇒色をつける。1度ひいた単語は蛍光ペンで色を塗りましょう！調べた意味には色つきペンで線をひく。色々な色を塗る。そうするとたくさん色のある単語は重要と分かりますね。そして**自分の辞書になっていく**のです。魂がこもった自分だけの辞書になります。電子辞書ではこれが出来ないのが欠点なのです。だから学習には紙の辞書の方がお勧めです。

自慢話のようでイヤラシイけど、参考までにあえて書きますね。

高3の全国私大模試では4位（受験者3万人）になったことがあります。そこからの体験談です。ちなみに塾とかは嫌いで全部自分で本屋さんで問題集（参考書はひとにぎり）を解いての勉強でした。

● 間違い＝宝もの

問題集はつぶす（5回くらい同じものを解いて答を暗記するまでやる）。それが済んだら「間違えたもの」「難しかったもの」これだけを破って集めておく。これが最大の宝物！なぜなら正解したものは出来る問題だから、とっておいて眺めても、ニコニコ自己満足にしかならないからです。定期テスト前だろうが、受験前だろうがひたすらこの「宝物」に取り組む。なぜなら「宝物」が解けたら、**理屈では全ての問題が解ける**からです。

● 英語についての心構え

皆に心にきざんでおいて欲しいこと！

「分からないことは恥ずかしくないしかし調べないことは恥ずかしい」

外国人で日本語が出来なくて恥ずかしがる人なんてそうはいませんね。だから皆「英語が出来なくて恥ずかしい」と思うのはやめましょう（日本語が出来なかったら恥ずかしがってもいいですよ）。

調べればいいのです。調べるって何をすること？ 答えは辞書をひくこと！ だいたい**1年半で1冊は辞書がボロボロ**になって新しい辞書を買ったものです。

辞書は本棚において飾ったらダメ！ カバーもビニールも外して「裸で机におく！」。そうしたらきつと使うようになることでしょう。

● 積極的に間違える

授業で1番身につく方法は「皆の前で間違えること」です。なんだかんだ言ってやっぱり日本人は間違えるのが恥ずかしいです。だから皆の前で間違えるとその記憶が強烈に脳裏にやきつきます。

今でも覚えています。小学校4年生の時だったと思います。国語の授業参観で「収入の反対言葉が分かる人？」と言われて、当てずっぽうで手を挙げました。指名されたから「収出です！」って元気に答えたのです（入⇄出の推測）。そうしたら先生が「惜しいね！ 支出だね」。…親がいっぱいいる中で自信満々で答えたのに、まさに顔から火を噴く思いで真っ赤になり、夜も眠れませんでした。おそらく一生忘れないことでしょう。ほら、今でもこうして覚えているくらいですものね。実は、英語を解説する上でも、間違えてくれると非常に助かります。なぜなら（あ、こういう所が分からないんだ）と分かるからです。だから「自信がない人ほど」どんどん質問し、そして回答を提出するようにしましょう。それが自分の為だけじゃなく、他の人の為にもなるのです。

成田市の塾まで来られない方は、どうぞ私のブログに来て質問して下さいね。楽しみにお待ちしております！

▶ <http://ameblo.jp/cai-narita/>

書き言葉と話し言葉の違い

違いを一言で言えばこういうことになります。

「話し言葉は短いしかし書き言葉は長い」

では**実際の会話**の例を見てみましょう。

You know? ねえねえ

What? なあに

I met a girl. 女の子に会ったよ

Where? どこで?

In the park. 公園で

Then? それで?

She runs fast! 足が速くてさ

Wow! うわあ

ね！短いし、分かりやすいですね。それをこんな風に言ったらどうでしょうか。

The girl I meet every morning runs fast.

ぼくが毎朝公園で会う女性は足が速いです。

少し長過ぎる感じがしませんか。もちろん、こういう**長い文章=書き言葉**もきちんと出来るようになって欲しいと思います。しかし**会話では文章にしない**ということ。これが会話のコツかもしれません。

私は学校英語は出来た方です。しかし実社会での「会話」に最初は苦労しました（何しろネイティブではないですし普通の公立中学校でABCから練習したほうです）。

完全な「文章にしよう」とするから、関係代名詞とかなんとか考えているうちに時間が過ぎ去って、会話はポンポン先に進んで、取り残されてしまいます。頭に浮かんだ「単語だけ口にする」。それで会話は〇

Kです。

例えば旅行会社のカウンターでは、日本語でも（実際は日本人はもう少し丁寧ですが）英語でもこんな感じ、同じですよ。

Where? どこ

London. ロンドン

When? いつ

Tomorrow. 明日

How many? 何人

Two. 2人

この会話例は極端に表現しているから、そこは割り引いて考えて下さいね。話し言葉は短く、ということを強調しました。だからと言って書き言葉を軽視しろと言っているわけではありません。書いたら後は**話せる**。だからしっかり書けるようになって欲しい。ただここでは「**話**」と「**書き**」は別物、そのことを頭の片隅においておきましょう。

英単語を身につける方法

算数の問題です。 $\sqrt{2}$ は? $\Rightarrow 1.41421356 \dots$ 。皆さん出来ますね！なぜ無機質な数字の羅列がスラスラでてくるのでしょうか？暗記したわけではないですね。

1.41421356 … ひとよひとよにひとみごろ

こう「**理解**」して覚えたんですね！つまり、人は**覚えたことは忘れる**けど**理解した事は忘れない**のです。英語の単語も同じだと思います。暗記することは辛いけど、理解すると楽しめると思います。是非この本の**語源編**を読んでみて下さいね。きっと「こういう風に理解するんだ」というヒントになると思います。

では実際に英単語を覚えるにはどうしたらいいのでしょうか？ 漢字をどう身につけたか思い出してみましょ。漢字をじーっと見つめて…それで書けるようになりましたか？ 違いますよね！ 書いて書いて書きまくって、それで覚えましたね。**頭では忘れた漢字も、手を動かしてみると意外に書ける**ものです。それは「身体が覚えている」からだと思います（そして辞書をひきましたね！）。

でも単調な作業に耐えられたのは何故でしょうか？ 「本を読んで」実際に漢字の使い方を理解していったからだと思います。英語も全く同じ！ 実際の英語の文章を出来るだけたくさん読むようにしましょ。

書く。書きまくる。頭ではなく身体に染み込ませる。そして英文を読む。読みまくる。使い方を「理解」していくのです。

英単語を身につける具体的な方法に入ります。

- 単語カード（リング式、大きめ）を用意
- 表に日本語、裏に英語
- 朝・昼・晩と書きまくる

大きめのカードにする理由は**例文を書く**為です。

例えば as を例にとってみましょ。

表に、

■ as = 天秤のバランスがとれている状態

と書く。裏には、

■ He can't talk as he is busy. 彼は忙しい**ので**話せない。

■ Young as he is, he is smart. 彼は若い**けど**賢い。

■ He arrived as I was leaving. 私が出発する**時に**彼は到着した。

のように「例文」を書きます。だから結構スペースが必要になります。

しかしこうして書いた作業自体が身体に残るし、単純に、

as = 時、理由、逆説

のような暗記をするよりもずっと効果的に英語のイメージが頭に残ります。そして「長文を読む」こと。長文はネットでいくらでもさがすことができます。読むのは大変です。知らない単語がたくさん出てきます。しかしそれこそが学ぶ機会 opportunity と考えましょう！

辞書をひく

ひきまくる

調べた言葉は青いアンダーラインをひく

2 度目ならピンクの蛍光ペンで色をぬる

3 度目なら四角く枠で囲う

(自分で好きなルールを決めてかまいません)

この作業には体力が必要です。そう！語学＝スポーツなのです！
決して1日で筋肉がつくことはありません。しかし毎日積み重ねた量
だけ確実に力がついていきます。

Just do it! 実践あるのみ！

英 自 話
旅 宅 券



便利な一言

{ Useful Expressions }

Here or to go? “ひゃつとこ?”

海外で食事をするのに便利なのは、マクドナルドのようなファーストフード店ですね。さあ注文をすませました、お金を支払おうとしたら店員さんが「ヒヤットコ？」と早口で妙な言葉を使います。

さて、一体何の意味なのでしょう。これは **For here or to go?** つまり「店内で食事」(for here) か「お持ち帰り」(to go) かを尋ねているのです。持ち帰りならば To go. と答えればいいですね。



店員さんは毎回の決まり文句なのでかなり早口で言う場合があります。聞き取るのが困難ですので、この言葉は覚えておくくと便利です。

I get off. “あげとうふ”

これはちょっと知られたお話です。

日本の旅行団体がアメリカに行く時、添乗員さんが親切にアドバイスをしてくれました。「タクシーに乗って、降りたい時には“あげとうふ”って言えばいいですよ」。これは便利だなあ（なんだ日本語が通じるんだ）と、皆喜んで聞いていました。

さあ、1日の観光が終わり、参加者が集まった時です。

「おれ習った言葉を忘れちゃってさ“あげまんじゅう”とか“あげだんご”とか色々言ったけど通じなかったよ。アメリカって日本語が通じねえんだな」

それはそうですね。添乗員さんが言いたかったのは **I get off.** (私



は降ります)を日本語流の発音で「あい・げつと・おふ」と言う通じないから、「あげとうふ」と言えば英語の **I get off.** の発音に近いですよ、という意味だったんですね。

■ a small present “ささやかな贈り物”

通訳をする(日本人の言葉を欧米の人に説明する)時に困るのが「文化の違い」です。

日本人は「へりくだった」表現で、例えば贈り物をあげる時に「つまらないものですが」と言いますが、これを直訳したら大変! だって相手の人は(え! なぜ「つまらない」ものをくれるの? 私のことを嫌いな?)と誤ってしまいます。本当はその贈り物を相手に喜んでいただきたいわけですよ。ですから私は欧米流に **I hope you like it!** (お気に召したらいいのですが)と訳します。是非これは使ってみてください。うーん、でもそこまで言えない、と思われるなら、**I have a small present for you.** (些細な贈り物ですが)も自然な表現でお勧めですよ。



■ Just kidding! “冗談ですよ”

外国の人達はユーモアのセンスを大切にしますね。え?! と思ったら **Just kidding!** (冗談ですよ)と言われるのもよくあること。こちらも負けずにネタを仕入れておきたいですね。私が使って受けた、ちよっとスパイスが効いた明るいものをご紹介します。

「漢字って、見れば意味が想像出来るからすごいんだよ。例えば“木”

一つは tree、複数“林”なら forest、たくさん“森”で jungle「なるほど！」「うん、他にもあるよ。“女”一人で woman。じゃあ、たくさんの“姦”、これはどういう意味でしょう？」「うーん… Noisy（騒がしい）？」「You got it（大当たり）！」お後がよろしいようで。



I'll be right back! “すぐに戻ってきます”



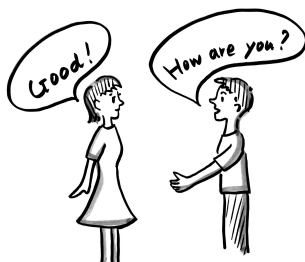
シュワちゃん、いえシュワルツネッガー知事の映画で有名な言葉“**I'll be back.**”（戻って来ますよ）。この言葉は慣れたから英語で聞きとれそうですね。ではこれはどうでしょう。**I'll be right back.**あれ？ right って右？ それとも正しい、の意味？ いいえ、「すぐに」という意味が

あるんですね。**I'll be right back.**（すぐに戻ってきます）。日常会話ではこちらの方がよく使われますので覚えておくと便利です。I'll be right with you.（すぐにお相手します）も同様の使い方ですね。ではまた次回。**I'll be back!**（また戻ってきますよ）

Good. “ああ、そう”

日本語の「はい」は相手に同意している yes ではありませんね。I hear you.（あなたのお話を聞いていますよ）くらいの意味ですね。「はい＝yes ではない」ことを伝えておくのは誤解を招かない為に大切なことです。逆に日本人が誤解しやすいのが「good＝とっても良い」

と理解してしまうことです。何かを説明して相手が **Good.** と言ったからといって「とても気に入ってくれた」とは思わない方がいいですよ。「なるほどね」くらいの軽い感じで使われることがよくあります。この言葉 good は他にも便利な使い方が出来ます。



How are you? への返事として Fine. よりもっと軽く **Good.** と使うのも日常的ですよ。参考になりましたか? **Good!** (じゃあね)

Hello, Tom. “トム、こんにちは”

言葉の知識よりもっと大切な、会話をする時の心がけを覚えよう。

Hello, Tom. Nice to meet you, Tom. Thanks, Tom. It's OK, Tom.

わかりますか? いつも相手の名前を呼んであげてください。

私が初めて海外勤務をした時、こういう注意をされました。「君はいつも Thank you. と言うけど、それは失礼だよ。ちゃんと Thanks, Mary. Thanks, Mike. と名前を呼んであげなくちゃ」。まさにカルチャーショックでしたね。でも確かにそうされると会話の際に何度も名前を呼んでいます。そして自分も名前を呼ばれて悪い気はしません。(ああ、自分の名前を覚えていてくれるんだ、と)。



実は日本語の会話でも同じなんです。名前を呼ぶことで相手を認識してあげることは、語学以前のコミュニケーションのマナーかもしれませんね。

Have a good time. “楽しむ”

パーティーの席で Are you **having a good time**? (楽しんでいますか) と聞かれたら Yes, this is great. (はい、とても楽しいです) のように答えましょう。同様にあいさつで Have a nice day! (良い1日を)、Have a nice week-end! (良い週末を) など Have a ~は、色々な場面で重宝する表現です。もっと単純に Enjoy your holiday! (休日を楽しんでね) でも良いですね。親しい会話表現では Have a good one! な



んて挨拶もありますが、状況に応じて (良い1日を、良い休日を、など) 解釈して Thanks, you too. (有難う、君もね) くらいに答えておけば良いでしょう。Have a good one! (楽しんでね)

go to bed “寝る”

What time do you **go to bed**? と聞かれて (うーん、ふとんで寝てる、ってどう言えばいいんだろう) と悩まないで下さいね。I go to bed at 10 p.m. と普通に答えればいいんです。なぜでしょう? bed に a も the も付いていませんね。これは物としてのベッドではなく「寝るべき場所」という意味の概念だからです。だからハンモックでも寝袋でも (?) 寝るなら **Go to bed**. で構わないわけです。同様に Go to school. は「通学する」という意味と考えましょう (school は学ぶべき場所)。公園に集まって先生が教えてくれるなら、やはり I go to school. でいいのです。Let's go to school! (学校に行こう)



flu “インフルエンザ”

正しい英語を覚えても日常会話では「略語」が多く使われることは覚えておきたいものです。Did you get the **flu**? (インフルエンザにかかった?)。flu でなくて influenza と言ってくれば良いのですが、ちょうど農業協同組合を農協と略して使うようなものでしょうか。冷蔵庫 refrigerator は fridge と言われることが多いですね。略語ではないのですが、親しい間柄ではお金 (1ドル) のことを buck と言うことがあります。How much do you have? (いくら持ってる?) Only a few bucks. (ほんの2、3ドルだよ)。



語源は先住民が buckskin (シカ皮) を通貨代わりに使ったからという説があります。しかし私の友人から聞いた説の方が信憑性がありそうです。「あのね、お金は buck (鹿) のように跳ねて逃げて行くからだよ」。

Oh, my bucks! (ああ、鹿さんよ!)

Hi, Guys! “やあ、皆”

日本語では礼儀正しさが尊重されますが、英語文化では親しみやすさも大切です。

Hi, Guys! は相手の性別に関係なくよく使われる「やあ、皆」くらいの意味の表現です。アメリカの社内会議でインテリ風の司会者が言いました。Hi, Folks! これを「やあ、村人達!」と訳しては変ですね。やはり「やあ、皆」のニュアンスです。次の会議の時は Hi, Gangs! これにもビックリしたけど、更に次の時は (出席者は全員男性の会議で)



Hi, Girls! そういえばアメリカの NBA (プロバスケットボール) を舞台にした映画で主演女優のウーピー・ゴールドバーグが身長 2 m の選手達に向かって Hi, Girls! と言ってたのが、例え冗談と分かっているも笑えたものです。See you, girls! (皆、またね)

a kind of “～みたいな”

いくら英語が得意な人でも、例えば全ての日本名の魚を英語に訳すのは不可能ですね。そんな時に便利な表現です。It's **a kind of** mackerel. (鯖の一種ですよ) という具合に。ちょっとニュアンスは違いますが He is **a kind of** gentleman. (一応の紳士だね) という風にぼかした表現にも使えます。多用しすぎると女子高生言葉の「～みたいなあ」のような印象を受けるかもしれません。しかし適切な訳が浮かばない時には便利な表現ですので、是非使ってみて下さいね。It's **a kind of** cool! (なんだかいいよね)



secretary “秘書、長官”

昔、副社長の代筆の手紙を書いたら、肩書きの表現について「Vice President は英語では部長程度だよ」と教えられました。Senior Executive Director (上級執行取締役) と書き直しました。確かに Vice President が多い会社であります。日本で言えば支店長代理、

という感覚でしょうか。例えば President でも、社長ではなく部門長の場合もあります。外国人にも意外に役職タイトルを気にする人がいます。ロンドン支店にいた時に管理部門の長をしていたイギリス



人が、どうしても名刺に **Secretary** と入れさせて欲しい、とこだわりました。**Secretary** とは「秘書」の意味もありますが、例えばアメリカの国務長官は the **Secretary** of State というように、長官や次官という意味もあることも覚えておくといいですね。

Time flies. “光陰矢のごとし”

「時を駆ける少女」という映画がありましたね。time は何時という意味の他に「時」という意味でよく使われます。Time is money. (時は金なり)、Time will tell. (時がたてば分かるよ) など日本語と同じ感覚の表現があります。スポーツで監督や審判が休憩 (タイム) を指示する時に両手で「T」の形のジェスチャーをするのは time out の T の形を表しているんですね。英和辞典の time をひいてみると色々な表現が載っていて楽しいですよ。

さあ、もう終わりの時間ですね。It's time to go! (もう行かなくちゃ)



Leave me alone. “そっとしておいて”

英国のチャールズ皇太子の再婚は論議を呼びました。美しいダイアナ妃の最期の言葉は **Leave me alone**. だったという説があります。

leave は出発するの意味で覚えることが多いかと思いますが「置いていく」が語源と考えた方が幅広く理解しやすいですよ。Leave your message. (伝言を残して下さい)、Leave the window open. (窓を開けたままにしておいてね)。その他にも面白い表現としては Take it



or leave it! (どっちかにしてよ)。これは恋愛につかえるかも?
これからも英語のことならまかせてね。Leave it to me! (まかせてね)

Let it be. “あるがままに”

ビートルズが来日した時の騒ぎは幼心に忘れられません。歌詞の意味が分からなくても心に響く音楽って、なんて素晴らしいのでしょうか。会話では「放っておきな

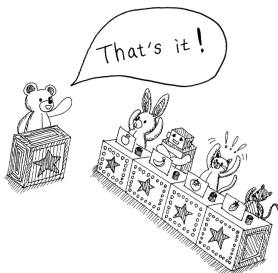


よ」の意味でも使われますね。He stole my idea! (彼はぼくの考えを盗んだよ) **Let it be.** (放っておきなよ)。基本的に let は許すという意味があり、Let me ~ (~させて) と言えば I will ~ (~しましょう) よりも丁寧な表現になるので重宝します。Let me give you a hand. (手伝わせてね)。Let me know what to do. (何をしたらいいか教えて下さい)。このように色々な場面で使えますので、是非試してみてくださいね。Let me help you! (お手伝いさせてね)

That's it! “そう、それだよ”

これは会話でよく耳にする表現です。Isn't this a good idea? (これいい考えじゃない?) **That's it!** (そう、それだよ)。しかし状況によっては「それでおしまい」という意味もあるので注意しましょう。

Mom, I want to play more. (もっと遊びたいよ) That's it! (もうおしまい)。同様の表現で That's right. (その通り)、That's all. (これで終わりです) なども覚えておくと良いでしょう。That's all for today! (今日はこれでおしまいです)



column : 01

台湾のシーさん

海外の一人暮らしで1番困るのは食事でした。毎回外食ではお金がいくらあっても足りません。あ、それよりも問題は、レストランに来るお客さんは「ひとりで食事」なんて皆無なんですね。日本の定食屋さんのように素早く食事を出してくれたらいいのですが、ベルギーでは食事時の会話を大切に作るから「すぐに出すのは失礼」なんですよ。手持ち無沙汰で待つ時間が長くて辛かったこと。

日本食レストランはわずかにありましたが「うどん ¥1500」とか高い！だからスーパーのファーストフードのようなお店やカフェテリアはよく行ったものです。やはり家族連ればかりで肩身は狭いけど、でも待ち時間に煩わされないだけマシでした。

そんな時に偶然入った中華のお店。小さな小さな家庭的な雰囲気のお店。メガネをかけた元気なおバサンが一人で切り盛りしています。

フランス語で注文をとったおバサンでしたが、一人で黙々と食事をし終えた私に話しかけてくれました。流暢な日本語で！！

「あなた日本から？」

「一人で苦労してるみたいだね」

それから沢山お話をしました。おバサンは台湾から来た人でお名前はシーさんです。シーさんはこう言ってくれました。

「いいよシーさんにまかせなさいよ」

「その日あるもので適当に作ってあげるから」

シーさんは本当にバカみたいに安い値段で、時には和風のを混ぜながら作ってくれました。シーさんの気遣いにそのまま甘え、毎日シーさんのお店に通いました。気がついたら1ヶ月も日本語を話していない、そんな寂しい生活の中でシーさんのお店は心のオアシスでした。海外での人情はひときわ身にしみます。シーさんは私の心の恩人、命の恩人と言っているかもしれません。その後出張で何度か台湾に行きましたが、素敵なお人達ばかりでした。

日本と日本人を好きで私を本当の息子のように面倒をみてくれたシーさん。シーさんへの感謝の気持ちを忘れたら人でなしです。私は一生台湾が好きで応援したい気持ちでいっぱいです。

便利な一言

文法

語源

〈付録〉エッセイ

Never mind! “気にしないで”



never は「決して～しない」、**mind** は「気にする」という意味ですね。注意が必要なのは次のような場合です。Do you mind if I smoke? (タバコをすってもいいですか) の問いに対して、すっても良いのなら Yes. ではなく No, not at all. が正解なのです。Yes. ならば Yes, I do.

(はい、あなたがタバコを吸うのは嫌です) の意味になってしまいます。日本人は何でも「はい」と答える習慣から、つつい Yes. と言いがちになるようです。答えに迷ったら Yes. でも No. でもなく OK. と単純に答えるのも一つの手ですね。mind には名詞で心とか気持ちの意味もありますので、read one's mind (人の気持ちを読み取る) の意味もありますよ。Have you read my mind? (私の心が読めましたか)

I got it! “まかせて”

英語で「get」を使った表現は山ほどあり、それだけで1冊の本が書けることでしょう。基本的な意味の「得る」から熟語が派生したと考えると

良いかもしれません。又「理解する」という意味もありますので I don't get it. (貴方の言っていることが分からない) という口語表現もあります。又「行く」という感覚もありますので get back (戻る)、get away (立ち去る)、get out (出て行く) のような表現もあります。その他にもたくさんの表現がありますので、是非英和辞典の get のページを開いてみて下さいね。Did you get it? (分かりましたか)



Hands up! “手をあげろ”

以前アメリカで日本人留学生が Freeze! (動くな) と言われたのに近寄った為に撃たれたとされる悲しい事件がありました。フリーズをブリーズと聞き違えたという説もありますが、言葉の意味にとらわれず周囲の状況から判断することが大切です。私も経験がありますが、警察に車を停止させられたら免許証を取り出そうとしてポケットに手を入れたりしないことです。拳銃を取り出そうとしている、と誤解される恐れがあるからです。手をあげて相手の指示に従って行動するようにしましょう。



Do in Rome as the Romans do. (郷に入りては郷に従え)

Good question! “良い質問だ”

日本語でも同様の表現をしますね。相手が的確な問いを発したのに対して「良い質問です」とも言いますし、とんでもない質問に対しても皮肉を交えて「良い質問だ」と答えることもあります。そう、同じフレーズでもその場の状況で意味は異なります。How can we improve the situation? (どうしたら現状を改善出来るでしょうか) **Good question!** (的確な質問です)。

How old are you? (あなたは何才ですか) **Good question!** (答えたくないよ)。あるいは答えるのに窮した時に **Good question!** つまり場をつなぐ言葉として使うのにも便利です。単純な言葉ですが、good は様々な場面で使われるものですね。Have a good day! (すてきな1日を)



Take five! “5分休憩しよう”

take という単語の語感基本的には「とる」と考えれば応用がききます。「取る・撮る・捕る・受け取る」など。覚えておくと便利なのが「休憩や休暇をとる」という意味。take a holiday (休暇をとる)、take a day off (1日休む)、take a break (休憩する) など。他にも時間を「とる」意味で It takes time. (時間がかかる)。場所を「とる」⇒ This table takes much room. (このテーブルは場所をとる)。席を「とる」⇒ Take a seat. 行動を「とる」⇒ Take action. 忠告を受け取る⇒ Take advice. など枚挙に暇がありません。熟語を一つずつ覚えるのは大変ですが、単語の基本的語感を大切に意味を推測する習慣を身につけると便利です。あせらず、時間をかけてゆっくりいきましょう。Take your time! (ゆっくりとね)



Go on! “そのまま続けて”

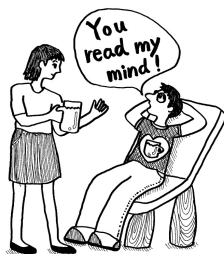
go の語感「前進する、なる」と解釈すると応用がききます。例えば go well (順調だ)、My face went pale. (顔が真っ青になった) など。又 go には「行き去る」くらいの強い語感があり The pain has gone. (痛みがなくなった)、He has gone. (立ち去った、あるいは亡くなった) などの例があります。注意すべきは「行く」「来る」が話し手を中心にしていない場合があります。Come down, please. (降りてきて) に対して「今行くよ」は go で



はなく Yes, I'm coming. という返事になります。このあたりのニュアンスは海外生活では自然に身につくと思いますので、間違いを気にせずどんどん前進していきましょう。Let's go for it! (さあ、前進しよう)

「You read my mind! “どうして分かったの”

直訳すれば「あなたは私の心を読んだ」になりますね。自分もそう考えていた、というような場合に使われます。例えば Shall we go fishing? (魚釣りに行こうよ) **You read my mind.** (ほくもそう思っていたんだよ) という具合に。そう言えば「行間を読む」(隠れた意味をくみとる) は英語で read between the lines と言いますが、このように日本語と意味が重なる表現を覚えていくと英語にも親しみがわいてきますよ。そして声に出して読む (read out) すると表現が身につくことも覚えておきましょう。Let's read out! (声に出して読んでみよう)



「This is on me! “ここはほくがおごるよ”



海外でも親しい同士で食事などをおごることはありますね。あまりにもシンプルな表現ですが It's my treat. (ほくがおごるよ) も聞き取れると便利です。逆に割り勘にしようという場合には Let's split the bill. (go Dutch という表現もありますが、オランダ人もいる席では微妙な空気が生じたことがありますので、個人的にはあまりお断

め出来ません)。食べ残しが生じたら持ち帰り袋 (doggy bag) を頼みましょう。おなかがいっぱいの時には率直に I'm full. (もう満腹です) と伝えた方がいいですね。Are you full? (お腹いっぱいですか)

May I try it on? “試着していいですか”

私は通販が大好きですが、服などはサイズがありますからお店に行きます。海外で高価な服を買うならば、なおさら試着が大切です。遠慮なく fitting room (試着室) を利用させてもらいましょう。put on は「着用する」、という意味でネクタイにも靴にも使えます。同様に take off は「脱ぐ」、という意味。on

と off は対比して使われ、例えばスイッチを入れるは turn on、スイッチを切るは turn off。今はテレビなどのスイッチはリモコンか押しボタンが常識ですが、昔はカチッと回して (turn) スイッチを入れたのが語源という説もあります。Let's try! (試してみましょう)



Just looking! “見ていただけです”



お店ではゆっくり買い物をしたいものです。最近は「ご用の際にはお声をかけて下さい」という店が増えてきましたね。海外でも様々なお店があります。案内を必要としているのでなければ、はっきり **Just looking.** と断りましょう。just は「ただ単に」という意味で、他にも Just

checking. という言い方があります。少しおちゃめに「ちょっと聞い

てみただけ」という表現です。Why do you ask my age? (なぜ年を聞くの) Just checking. (聞いてみただけ)。他にも just はよく使われていますね。Just a moment. (ちょっと待って下さい) はよく聞きますよね。Just have a look! (ちょっと見てごらん) など、是非使ってみて下さい。Just try it! (とにかくやってみよう)

Let's see... “えーと”

日本語でも即答には困る時がありますね。じつと沈黙というのは気まずいものです。このような時に Let me see. あるいは **Let's see.** を使うと便利です。あるいは Well... let me think about it. (うーん、ちょっと考えさせて) と時間を稼ぐ(?) のもいいでしょう。「ちょっと待って下さい」は、よく知られている Just a moment. も良いですが、電話では Hang on a second. もよく使われますので覚えておくと良いでしょう。You see? (分かりましたか)



Be quiet... “静かに！”

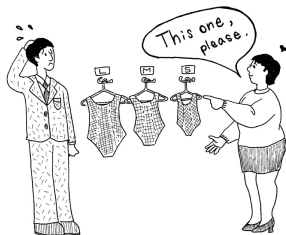


「命令形は動詞の原型で始まる」という規則は中学校で習いましたね。be + 形容詞 (又は名詞) はよく使われます。Be a good boy! (良い子にしてください)、Don't be silly. (バカなことは言うな) など覚えておけば他にも色々応用がききますね。クラーク博士が 1877 年に北海道大学を去る時に学生達に

残した “Boys, Be ambitious!” (少年よ、大志を抱け) という言葉はあまりにも有名ですね。Be smart! (頭を使ってみよう)

「This one, please. “これを下さい”

海外でもスーパーで買い物をするのはカゴに品物を入れてレジで払うだけです。しかしどれが欲しいか言う必要がある、でも単語が分からない、という場合があります。そんな時に便利なのが **This one, please.** です。親しい間柄では頼みごとをする時に please を省略する場



合がよくあります。しかしそれを真似しないで出来るだけ丁寧に、例えば Sit down. ではなく Sit down, please. (どうぞおかけ下さい) と表現することをお勧めします。例えば相手にゆっくり話してもらいたければ Will you speak slowly? よりも Will you please speak slowly? の方が、より心が伝わるでしょう。丁寧に美徳とする日本人の風習を英語に取り入れることは、何ら恥ずかしいことではないと思います。Study hard, please! (どうぞ頑張って勉強して下さい)

「I miss you! “あなたがいなくて寂しい”

ラブレターを書くのに I love you. だけじゃ物足りないですね。I need you. (君が必要だ) **I miss you.** は歌詞にもよく使われる決り文句です。miss は「失う、逃してしまう」という語感があります。I missed the train. (電車に乗り遅れたよ)、You can't miss it. (見逃す筈がない⇒きっと分かりますよ) なども便利な表現でしょう。話は変わりますが以前は未婚女性には Miss、既婚女性には

Mrs. をつけたものですが、最近は両方につかえる Ms. (発音は [miz] ミズ) がよく使われることも覚えておきましょう。I miss you for a week! (来週までお会い出来なくて残念です)



A.S.A.P. ! “出来るだけ早く”

A.S.A.P. は as soon as possible の略ですが、自分で話す時は丁寧に略さずに言うことをお勧めします。L.A. (エルエー) はロサンゼルス (Los Angeles) の略語です。常識として覚えましょう。おもしろい所では J.L.O (ジェイロー) は有名女優ジェニファー・ロペスの代名詞なんですね。事件で日本でも有名になったアメリカンフットボールの元



スーパースターの O.J.Simpson は皆が O.J. と呼びますね。DJ = Disk Jockey であることは皆さんご存知でしょう。WHO = 世界保健機構とは覚えにくいですが World Health Organization の頭文字という意味を理解すれば忘れないものです。ふだんから略語の意味に興味をもって調べると勉強も楽しくなりますよ。See you soon! (ではまた近いうちに)

Just kidding ! “ほんの冗談です”

親しくなるとキツイ冗談も交わされますが、その冗談が通じないと人間関係にも影響がありますね。そんな時にはニッコリ **Just kidding!** が便利です。冗談というよりも tease (からかう) に近いニュアンスとも言えるでしょう。通じなかつたら I was trying to be funny. (面

白がらせようとしたんだ)と言ってみるのも良いでしょう。No kidding! (冗談でしょ?、まさか)も聞き取れた方が良いでしょう。もちろん Kid は子どもという意味がありますが、



kidnapping と言えば誘拐のこと。海外では決してお子様から目を離さないようにしましょうね。Take care! (気をつけてね)

I'm on a diet! “ダイエット中です”



アメリカの映画館でポップコーンのMを頼んだら私には超巨大サイズでびっくり! よほど食欲旺盛 (have a good appetite) でなければ小さいサイズを選びましょう。ダイエット中であっても菜食主義者 (vegetarian) の人もいますからお客様に

は事前に確認した方が良いでしょう。食事に招かれておいしかったら It's DELICIOUS. と心を込めて言いましょう。おなかがいっぱいなら I'm full. でもデザートは別腹 (You always have room for dessert.) という表現も覚えておくと便利です。

Take your time. “ゆっくりね”

時間は大切ですね。そう Time is money (時は金なり)。待ち合わせは定刻に (on time)、その方が楽しくすごす (have a good time) ことが出来ますね。time には時代という意味もあります。He was the president in my time. (私の時代には彼が社長だった)。スポーツで一時中断のタイムは time out の略ですね。time には何倍という意味も

あります。Five times three is fifteen.
($5 \times 3 = 15$) など。おっとそろそろ時間
ですね。Just in time! (時間ぴったり)



You did it! “やったね!”



誰かが何かを達成した時にかける言葉「やったね!」は You made it! でもいいですね。逆に自分が成し遂げた時には I did it! あるいは I made it! と言えます (こういう場合の it は代名詞というよりも一般的な事象と考えましょう)。又頼んだことをきちんとやってくれた時には Good job! (よくやった) と褒めてあげましょう。どちらの場合にも使える「すばらしい!」は Excellent! Wonderful! などがお勧めです。さあ、早速試してみましようね。You can make it! (やれば出来るよ!)

Bless you! “お大事に”

くしゃみって止まらないものですね。そして (God) **Bless you!** と言われたら Thank you. と答えましょう。これは「魂がくしゃみと一緒に脱け出さないように願って」という説などがあります。God **bless you.** と言えば、あなたに神の祝福があらんことを、という意味が元ですね。それと注意すべきなのはくしゃみをする前には (せわしないですが) Excuse me. と断るようにしましょう。もし言えなかったら、ごめんなさい、I'm sorry. ですね。God **bless you!** (皆様に神の祝福を)



column : 02

バイリンガル

大好きなジョーク♪

2ヶ国語を話す人は？ Bilingual! 3ヶ国語を話す人は？ Trilingual! では1ヶ国語は？ …正解は…アメリカ人!! American! いやぁ楽しい♪ これは他言語を覚えようとしないう American を茶化したんですね。

ベルギーのブリュッセルはオランダ語圏とフランス語圏の境界になります。ブリュッセルはEU（欧州連合）とNATO（北大西洋条約機構）の本拠地もあり観光客も多く訪れる国際都市です。

観光と言えばゴディバのチョコやベルギーワッフル、ムール貝の料理、レース編みなどが有名ですね♪

そうそう！ フランダースの犬、小便小僧、そして忘れてならないのが北のベニスと称される運河と風車のお伽の街「ブルージュ」!! そしてベルギーと日本の皇室同士の交流も有名ですね。

まだありました！ F1レースで有名で、温泉を表す英語の元にもなった街スパ（Spa）。ダイヤモンドの精製と言えば港町アントワープ。あぁ話がどんどんそれちゃいましたね。でも皆さんベルギーに是非行ってみて下さいね。

本題に戻しましょう。そうそうベルギーのオランダ語圏の人達は3ヶ国語を普通に話すのです！ オランダ語、フランス語、そして英語。

オランダ語は母国語。フランス語は街で生活するのに必要。英語は良い仕事につくのに必要。だから「秘書」の資格を取るには当然のこととして4番目の言語をマスターしなければなりません。

ドイツ語を選ぶ人が多かったかと思えますよ。でも4ヶ国語でも「普通」の secretary なんです。驚くには値しないのです。やはり各国からの電話に対応出来るには、イタリア語かスペイン語のどちらかが欲しい所です。

そんなにいっぱい覚えたら、一つひとつがいい加減かと言えば…さにあらず！ 英語だけでも日本でなら十分に講師が勤まりそうな人がゴロゴロいます。ショックでした。だってたったの1ヶ国語の英語でさえかなわないのだから落ち込みました。

しかし!! 全く逆なんです。4ヶ国語話せても「あぁそう」という反応です。「英語が下手だから…」と言っても「別にいいんじゃない」。

そう！言葉なんか関係ないんです。中身なんです。仕事ができるかどうか
かが評価の対象なんです♪

学んだこと、そして今でも心がけていること、それは「英語くらいで偉
そうにしない」ということです。一生忘れないでいたいと心に誓っていま
す。I love Belgium!

ベルギー大好き♥

Watch out ! “気をつけて”

オリンピックを皆さん目をこらしてテ
レビで watch したことでしょ
う。watch には他にも「番をする」とい
う意味があります。Watch the baby
while I am out. (外出している間、赤
ちゃんを見ていて下さい)。watch-



dog には番犬の意味があります。他にも「気をつける」という意味が
ありますので Watch your step! (足元に注意) と言いますね。もちろ
ん腕時計も watch ですね。watcher は watch する人、つまり番人、
監視員のような意味がありますよ。See you later! (ではまた後で)

Speak up ! “大きい声で話して”

電話で相手の声が小さくて聞き取れない時に使いますが、丁寧な表現
で Could you please **speak up**? と言った方がいいですね。同じく
電話で使える表現 Can I speak to Mike? (マイクはいますか) は覚えて
おきたいですね。Speaking of ~ は会話の頭につけて「そういえば
~ と言えば」の意味。Speaking of Judy, have you seen her

recently? (そういえば最近 Judy を見かけましたか) という風に使える便利な表現です。もう一つ電話で Is Nancy there?

(もしもしナンシー?) Speaking! (わたしよ) という表現も是非覚えておきましょう。Let's speak English! (英語を話してみましよう)



Hangover! “二日酔い”

I have a **hangover** today. (今日は二日酔いなんだ) というふうに使います。ちなみに迎え酒は the hair of the dog と表現するのもおもしろいですね。気分が悪くなったら素直に I feel sick. と伝えましょう。I'm sober now. (しらふである (酔いがさめた)), Will you make a toast? (乾杯の音頭をとってくれますか)、Cheers! (乾杯)。Let's

have a quick drink! (ちよつと一杯やっていかないか?) というのも便利で使えそうな表現ですね。

Don't drink too much! (飲み過ぎに注意しましょう)



How come? “なぜ?”

「なぜ」は Why? で良いのですが、口語的な表現、あるいは驚きの気持ちで How come? とも言います。how come のあとに主語・述語がつながることもあります。**How come** you are here so early today? (どうして今日はこんなに早いのだ)。

How は感嘆文としてもよく使われますね。How kind of you! (まあ、なんてご親切に)。又 How are you? の代わりにくだ



けた表現で How is it going? (調子はどう?) という口語表現もあります。How are you doing? (ご機嫌いかがですか)

Give me a break! “勘弁してよ”



直訳すると「休憩を下さい」の意味になりますが、実際には「ちょっといい加減にしてよ」という意味で使われます。breakは「破る」という語感がありますね。約束 (promise) や法律

(law) を破る、あるいはテニスで相手のサービスゲームを破る、など。難関や現状を破るのは break through。タレントなどが「ブレイク」するのは、正に壁を打ち破ったのですね。ビジネス英語では損得半々は break even と言いますので覚えておくと便利でしょう。もちろん「休憩」の意味も忘れないで下さいね。Let's break for coffee! (コーヒー休憩にしましょう)

Who's it? “どなた?”

Who are you? は直接的すぎて失礼な表現なので、使うことは避けるようにしましょう。使うのは不審者を見たような場合ですね。Who are you? (おまえは誰だ) What are you doing here? (ここで何をしているんだ)。同様に電話で「どちら様ですか」と尋ねる場合も Who are you? ではなく Who's calling? と聞くのが適切です。ちなみに名詞で who's who と言えば「紳士録」の意味であることも覚えておくと便利でしょう。Who's it? (だれ?) It's me! (ほくだよ)。



ex～ “もと～”

日本以上にアメリカでは離婚が多いですね。元ダンナ、元奥さんのことを **ex-husband**, **ex-wife** と呼びます。使う必要がない方がいいですが、相手に使われたら聞き取れるようにしましょう。発音はイクスでなくエクスです。



ところで **ex** で始まる単語は「外へ」の意味を持つ場合が多いですよ。**exit** (出口)、**export** (輸出する)、**except** (除外した)、**expand** (拡大する) など他にも多くあります。単語の意味を推測する一つのヒントとして覚えておくとう便利でしょう。You got it? **Excellent!** (分かりましたか? 素晴らしい!)

rain check “雨天順延券”

ゴルフと言えば日本では雨が降っても (次はいつか分からないから) と頑張ってプレーしますが、雷に打たれないように気を付けたいですね。アメリカでは **rain check** をくれますので是非それを利用しましょう。これはデートなどの誘いをやわらかく断るのにも使えるんですよ。Can I take a **rain check**? (また今度お願いしますね)



ちなみにどしゃ降りのは It rains cats and dogs. と表現出来ます。ネコがどしゃぶりの、イヌが強風のシンボルという説があります。決してネコやイヌが降ってはきませんよ。A rain of kisses! (たくさんのキスをあなたに)

Smoke Free “禁煙”

愛煙家の人は気をつけて下さいね。free だから「自由に煙草を吸っていいんだ」と思ったら全く逆の意味なんですよ。free には「～から免れた」という意味があるので Duty Free Shop と言えば免税店、sugar free gum は砂糖のっていないガム、という意味です。free of charge（無料）も同様の語源ですね。

もちろん「自由な」や「ヒマな」という意味がありますので I'm free in the morning.（午前は時間があいています）のように使われます。feel free to ～は「遠慮なく～してね」という便利な表現ですので、是非覚えておきましょう。Feel free to drop by.（気軽に立ち寄ってね）。Feel free to give me a call!（遠慮なくお電話下さい）



Close! “おいしい!”

クロー「ズ」の発音ですと「閉じる」の意味ですが、クロー「ス」の発音で「すぐ近く」という意味になりますので発音に注意して下さい。「密接な」という意味もありますので We are very **close**.（私達は仲良しです）、**close** relationship（親密な関係）のようにも使われます。**close** to ～で「～のすぐ近くで」という表現がよく使われます。He sat **close** to her.（彼は彼女のすぐ近くに座った）。**Close** to me!（どうぞそばにいてね）



I'm coming! “今行くよ!”

「come = 来る」ですが「相手の視点に移動する」と考えれば柔軟に理解出来ます。だから May I come to your house? (おじゃましていいですか) のような表現が可能です。ちなみに Come on! は「おいで」



もありますが「がんばれ」「いい加減にしてよ」の意味でもよく使われますので、状況で判断するようにしましょう。How come? は Why? のように「なぜ?」の意味で使われます。どうでしたか。舌をカムことのないようにね。Wait! I'm coming! (待って! 今行きます)

No way! “いやだ!”

ちょっときつい表現ですが幼い子が使うのは可愛いですね。文章では There is **no way** to be in time. (とても間に合わない) のようにも使われます。way は道のほかに「方法、あり方」という意味があります。ビリー・ジョエルの名曲の題名『I just like the way you are.』(素顔のまま) にも使われていますね。そういえばフランク・シナトラの名曲『My way』もありました。高速道路は expressway あるいは motorway というのも覚えておくといいでしょう。By the way, see you later! (では、また後ほど)



Keep the change. “おつりはとっておいて”

1 円をばかにすると 1 円に泣きますね。I have no change with me.

(小銭がありません)。change は動詞では「変わる、変える」の意味が基本です。He has changed a lot! (彼はすごく変わったね)、I won't change my mind. (決心は変えませんよ)。他にも意味を間違えやすい例をあげておきましょう。



Change a baby. (赤ちゃんのおむつをかえる)、change a bed (ベッドのシーツを替える)。おつりがある時は必ず相手に渡すようにしましょうね。Here is your change! (はい、おつりをどうぞ)

column : 03

中国という体制

ブリュッセルの街には千年の歴史がありますが、ベルギーという国家は数百年だけです。なぜでしょうか。「分断の歴史」だったからです。ある時はナポレオンに跪き、ある時はヒトラーに侵略され、ある時はオランダ領となり、今でもオランダ系とフランス系の国民が半数ずつ暮らし、微妙なバランスで成り立っています。国会の議長がオランダ系なら副議長はフランス系という具合に。ベルギーがユーゴスラビアのように分断された国家になっても驚きません。むしろ「その方が自然」くらいに感じます。

中国南部の工業地帯。そこでは日本の多くの企業が工場を操業しています。ほとんどが大陸奥地からの出稼ぎである工員さん達を見て、初めて分かった真実があります。中国とは「人種のるつぼ」ということです。肌が透き通るように白い人達もいれば、東南アジアかと思える褐色の人達もいます。言語までが異なる（作業指示は同じ漢字を使うから何とかなっていますが）。そう言えば香港のTV番組では北京語を広東語に訳す通訳がいる場面を見ました。大規模な社員食堂では食事の種類を分けてさえました。我々は「中国人」ととらえますが、そんな人はいないのではないのでしょうか。中国という「体制」にたまたま属しているだけのこと。歴史を紐解いても侵略と戦争の繰り返しではないのでしょうか。その中で「互いに信じあえるのは親族のみ」というのは当然のことなのかもしれませんね。

便利な一言

文法

語源

(付録) エッセイ

Pass me the salt. “塩をとって”

もちろん please をつければ更に丁寧な表現になりますね。pass は「渡す」の他に「通過する」の意味があります。The train passed the station. (電車が駅を通過した)、Time passes quickly. (時がたつのは速い)、The bill did not pass. (法案は通過しなかった)。英語検定などの試験に合格するのも pass ですよ。Do your best to pass the exam! (試験合格の為に全力を尽くしてね)



Catch you later! “また後でね!”

catch と言っても逮捕されるわけじゃないですよ。それに必死で探すわけでもありません。急いでいる時に「また後で会えたらね」くらいの軽いあいさつです。catch は他にもこんな使い方がありますね。catch a cold (風邪をひく)、catch the last train (終電に間に合う)、あるいは単純に何かを投げて Catch! (受け取って!) という具合にも使われます。Catch me! (つかまえてごらん)



Can you hear me? “聞こえる?”

hear は「物理的に聞こえる」ですが listen は「意志を持って耳を傾ける」です。従って「私の話を聞きなさい」ならば Listen! になるわけです。このように似た意味の言葉はペアで覚えるように心がけましょ



う。ちなみに Do you hear me? は、例えば子どもをしかって「ねえ、ちゃんと聞いているの?」のような場合に多く使われますよ。I hear you! (聞こえていますよ)

minutes “議事録”

The **minutes** of the meeting (議事録) は、ビジネス英語では常識で使われる言葉ですので覚えておきましょう。日付 (date)、出席者 (attendee)、要約 (summary)、そして行動計画 (action items) を忘れずに書きましょう。そして次回の会議日程と議題 (agenda) を決めておくことが大切です。特に海外との電話会議を行った場合は、必ず実行しなければ誤解の元になるので注意しましょう。Action! (行動を起こそう)



night owl “夜ふかしの人”

直訳は「夜のふくろう」ですが、口語で夜型人間のことを指します。その逆は early bird、日本語でも朝早い人を「早起き鳥だね」と言ったりしますよね。朝まで飲むよりも軽く寝酒 (night cap) にした方が



悪夢 (nightmare) も見ないですみそうですね。早起きは三文の徳 (The early bird catches the worm.) と言いますものね。Don't stay up too late! (夜ふかしをし過ぎないようにね)

T.B.D. “未決定”

T.B.D.とは to be determined (decided) の略語で、ビジネス英語でよく使われます。会議では action items (行動計画) を決定することが大切です。誰が (who) 何を (what) いつまでの期限内に (due date) を明確にすることでプロジェクトの進行状態を後日見直し (review) 出来ますね。しかしどうしても決められない時には **T.B.D.** とせざるを得ません。Shall we dance? (踊りませんか) **T.B.D.!** (考えておきます)。



my turn “わたしの番”



It's **my turn** to pay. といえば「今度は私がお金を払う番です」という意味で、日本ではよく見かける光景ですね。もちろん逆に your turn と言えば「あなたの番」となります。Whose turn is it next? (次は誰の番ですか) の表現も覚えておくと良いでしょう。Your turn to study! (あなたが勉強する番ですよ)

That's new to me ! “初耳だよ”

new は「新しい」以外にも「なじみがない」という意味もあります。I'm new to the job (私はまだ仕事に不慣れです)。new は「今までと違って新しい」に対して fresh は「出来立て、新鮮」の意味です。Let me make you some fresh coffee (出来立てのコーヒーを入れましょう)。

Fresh Paint (ペンキ塗りたて) などのように使われます。new dress は新しく買った服、これが fresh dress ならば仕立ておろしの服になります。What's new?! (最近どう?)



Watch your step! “足元注意”

街でよく見かける表示ですね。Watch your head. (頭上注意) は天井が低くて頭をぶつけそうな場合。では Watch your language. はどう



でしょうか。これは「口のきき方に気をつけなさい」という意味になります。watch は見るというより「注意して見る」意味ですので、watchdog (番犬) あるいは親しみやすい言葉で bird watching (野鳥観察) がありますね。Watch your speed! (運転スピードに注意しましょう)

Drop in anytime! “いつでも立ち寄ってね”

気軽な呼びかけの表現ですね。drop は落ちるが基本的な意味ですが「突発的に落ちる」感覚。Drop me a line. (便りを待っていますよ) という表現も覚えておくと良いでしょう。それに対して fall は「垂れて落ちる」という感覚。Snow was falling. (雪が降っていた)。fall には秋という意味もありますが、秋に木の葉が舞い落ちる



ことから来ているとも言います。Drop by! (また立ち寄ってね)

see a doctor “お医者さんにかかる”

これは「お医者さんを見る」ではないですよ。ちなみにお医者さんと呼ぶのは send for a doctor です。

獣医さんは veterinarian ですが vet と短縮する (ちょうど refrigerator (冷蔵庫) を fridge というように) ことも多いようです。具合が悪い時には Go to the doctor. (お医者さんに行く) ようにしましょうね。See you around! (ではまた!)



Here you go! “はい、どうぞ!”

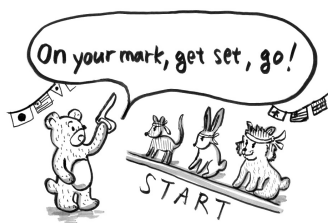


Here you are. のくだけた表現としてよく使われます。here で始まる表現には Here we go. (さあ行くぞ)、Here we are. (さあ着いた) などもありますね。又点呼の返事の「はい」という意味で Here! とすることも出来ます。Come over here! (こっちにおいでよ)

On your mark, get set, go! “位置について、よーい、どん!”

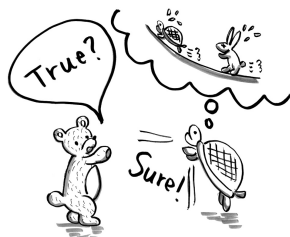
set は「あるべき位置に置く、設定する」という語感があります。I've set the alarm at 5. (目覚ましを5時に合わせた)、set the table (食卓を用意する)。日本語の日常会話にも日付をセッティングする (set

a date)、ビデオをセットする (set the video) など、いつの間にか使っているものですね。Are you all set? (準備万端ですか?)



Sure! “もちろん!”

何でも Yes. だけではおもしろくないですね。Can I ask you something? (ちょっと質問してもいいかな) **Sure!** (いいよ) のように使えます。くだけた表現で、日常会話にはよく出てきますから使ってみると親しみが増えますよ。又例えば相手に飲み物を勧めたけど遠慮しているような時 Are you sure? (ほんとにいいですか) と聞くのは気遣いのある表現ですね。Thanks! (有難う) **Sure!** (どういたしまして)。



Why not? “賛成!”

Yes. や Sure. でもいいのですが、より積極的な感じがしますね。是非そうしようよ、というニュアンス。Let's play tennis. (テニスをしよう) **Why not?** (うん、やろう)。ただし文脈によっては文字通り「なぜそうでないの」という意味にもなりますよ。I can't go shopping. (買い物に行けないんだ) **Why not?** (え、どうして?)、Let's study! (さあ勉強しよう) **Why not?** (賛成!)



I hope so. “だったらいいね”

明日晴れたらいいね? と言われて Yes. だけではつまらないですね。そんな時に使える便利な表現ではないでしょうか。逆に Will it rain tomorrow? (明日は雨だろうか) I hope not. (そうでなかったらいいね) と言うことも出来ます。hope

は希望という意味もあって明るい響きがしますね。I hope you have a nice week-end. (楽しい週末を祈っています)、I hope to see you again. (またお目にかかれることを願っています) など上品な表現に感じられます。



Are you OK? “大丈夫?”



OK. は日本語とも言えるくらい馴染んでいる言葉ですね。Are you all right? でもいいのですが、**Are you OK?** の方が言いやすくないですか。How are you? (元気ですか) I'm OK. (まあまあだよ) のようにも使えますし、Thank you. (有難う)

It's OK. (いいよ) くらいの軽い受け答えにも使えます。I'm sorry. (ごめんね) That's OK. (だいじょうぶ) など便利ですね。親しい間での簡単な会話にはもってこいですね。OK. See you next week! (はい、ではまた来週)

Come on! “がんばれ!”

もちろん「こっちにおいで」という意味でも使われますが、状況によって「がんばれ」あるいは「いかげんにしてよ」というニュアンスにもなります。We have to cancel our trip. (旅行をキャンセルしなくちゃいけないよ) Oh, **come on!** (え? うそでしょう!). Your dream will come true! (夢はきつとかないますよ)



What's new? “やあ元気?”



真剣に「何か目新しいことを言わなきゃ」と深く悩まないで下さいね。これは Hi! や Hello! の代わりに「こんにちは」くらいの軽い呼びかけです。しかし何か話す話題をさがしているとも言えますから、I went fishing last Sunday. What about you? (日曜日に釣りに行ったよ。君はどうだい) のように身近な話題を入れて返事が出来たらいいですね。Let's make new friends! (新しい友達を作りましょう)

He never learns! “こりない人だ!”

learn の意味を「学ぶ」というよりも「身につける」ととらえれば理解しやすいですよ。You never learn! (君もこりないねえ) と言うのも可能ですが、よほど親しい間柄だけにし



の方が良さそうですね。learn to + (動詞) は「～するようになる」という意味です。He learned to be patient. (彼は忍耐強くなった)、You're never too old to learn! (学ぶのに年齢は関係ないですよ)。

I can't wait! “待ち遠しい!”

「待つのは不可能だ」ではなく「待ちきれないほどの思い」という意味でよく使われます。I can hardly wait. と言うことも出来ます。Wait and see. は「成り行きを見守ろう」という意味になります。Wait a minute,

please. (ちょっと待って下さい) は馴染み深い表現ですね。I can't wait to see you all! (皆さんにお会いしたくてたまりません)



Take me to the zoo! “動物園に連れてって!”



take ~ to ... は「～を…に連れて行く」という表現ですので、是非覚えて下さいね。

We took him to the hospital. (彼を病院に連れて行った) のように使えます。その他にも I took my dog for a walk. (犬を散歩に連れて行った) あるいは「持っていく」という意味で You should take an umbrella with you. (傘を持っていった方がいいよ) など様々な場面で take という単語は使われますよ。Let's take a break! (ちょっと休憩しましょう)

you know “あのね”

人によっては会話で大変よく使う表現です。皆さん1度は耳にしたことがあるのではないのでしょうか。You know?!

を直訳して「あなたは知っていますか？」

の意味にとらえて身構えないようにして下さいね。話の合間に「それでね」「えっとね」という、つなぎ言葉くらいに理解すれば良いでしょう。You know, enjoy yourself! (ほら、楽しんでね)



A piece of cake! “朝めし前だよ”

外国のケーキはサイズが大きいですから我々には一口では…という話はさておき、お安い御用、という慣用語ですね。食べ物を使った表現は色々ありますね。An apple a day keeps the doctor away. (1日1



個のりんごで医者いらず)、There are plenty more fish in the sea. (海には他にいっぱい魚がいるよ)。これは失恋をした人にぴったりの言葉ですね。Let's go fishing! (さあ、釣りに行こう)

You see what I mean? “言いたいこと分かる?”

これは You know what I mean? も同じ意味でよく使われます。「mean = 意味する」という動詞で会話に頻繁に出てきます。What do you mean? (どういう意味ですか)、I mean it! (本気だよ)、I



mean. (つまりね)。他にもたくさんあるので、是非辞書で調べてみて下さいね。You see? (分かりましたか)

watchdog “番犬”

watch は「注意をしてみる」ととらえると分かりやすいですね。

Please watch my suitcase for a few minutes. (ちょっとスーツケースを見張っていて下さい) あるいは Watch your step! (足元注意) など



どはよく目にしますし Watch out! (気をつける) と言われたら、頭上とか背後に危険が迫っているかもしれませんから、注意をしましょう。

Watch your weight! (体重に気をつけてね)

Speaking! “ほくだよ!”

電話で例えば Mr.Smith と話したい時には Can I speak to Mr.Smith? というのが丁寧な表現です。あるいは親しい友人なら

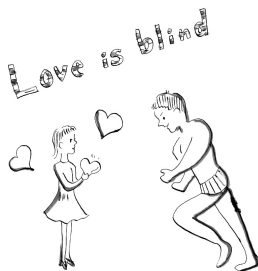
Hello. Is Tom there? (もしもし、トムはいますか)。それに対してトムが自分自身であるなら **Speaking!** あるいは That's me! (ほくだよ) などと答えます。電話ではよく使われますので、是非覚えておきましょう。Who's **speaking**? (どちらさまですか)



Love is blind. “恋は盲目”

あばたもエクボ、と言った方が適切でしょうか。恋に落ちる (fall in

love) というのはそういう場合が多いですね。love は男女間の愛情だけではなく「大好き」の意味ですので、I love my mother. (お母さんが大好きです) というのも自然な表現です。あるいは She loves to go shopping. (彼女は買い物に行くのが大好きだ)、手紙の最後に With love. (愛を込めて) と書くのは女性らしい表現ですが、男性が書く場合は Best wishes. などにししましょう。I love you all! (大好きな皆さんへ！)



column : 04

女子ゴルフ LPGA

女子プロゴルファーの宮里藍、頑張っていますね。LPGA のウエグマンズオープン、場所はピッツフォードになっていますが、NY 州ロチェスター市内(私が駐在していた所)にあるんですよ) とっても懐かしいです。かつて岡本綾子が LPGA で優勝したコースでもあり、彼女の写真もクラブハウスに飾ってあります。

知人が会員になっていて(会員になるには紹介が必要で、順番待ちになっています) ビジターで何度かプレーしたことがあります。アメリカにしてはプレーフィーが高くて \$40 くらいしました。大体のコースは \$20 ~ \$25 とか、安い所はハーフで \$9 もありましたね。だからゴルフは日本では取引先の招待で 1 度プレーしたことがあるだけで、ゴルフ道具はロチェスターの友人の家に置きっぱなしです。

ところでスポンサーのウエグマンズというのは、ロチェスター地区で 1 番の巨大な 24 時間オープンのスーパーです。市内で 10 店舗以上はあったと思います。大小ありますが 1 番大きいのは野球場の半分くらいのサイズだったと思います。日本人は「ウエグマン」と呼ぶ人も多かったですが、正式には Wegmans つまり複数形の S を忘れちゃいけないんですよ。ちょうど「マクドナルド」が McDonald's (英語の発音はマクダーナルズ) であるように。

便利な一言

文法

語源

〈付録〉
エッセイ

Time is money! “時は金なり”

日本語のことわざと同じですね。時間は大切だから無駄にすごすべきでない、という意味で直接的に言えば Don't waste time. (時間を浪費するな) とも言えますね。time と言えば Time flies! (光陰矢の如し) という表現も久しぶりに旧友に会った時などによく使われます。あるいは It's been a long time since I saw you last. (お久しぶりですね)。

Have a good time! (楽しいひとときを!)



quite a few “かなりたくさん”

a few と言えば「少数の」という意味ですね。ところが **quite a few** になると逆の意味になりますし、意外によく使われる表現ですので覚



えておきましょう。又「a few = 少数の」、「few = ほとんどない (かなりの少数)」という違いも大切です。I have a few friends. (数人の友だちがいます)、I have few friends. (ほとんど友だちがいません)。

Knock on wood. “くわばらくわばら”

自分の幸運を自慢したあとで幸運が逃げないようにするおまじないと言われます。しかし単に幸運を祈る場合にも使われるようです。木に

は精霊が宿っているという迷信からとも言われています。May God bless you. (神があなたを祝福下さいますように) というのは丁寧に祈りをささげる表現になります。Good luck! (幸運を!)



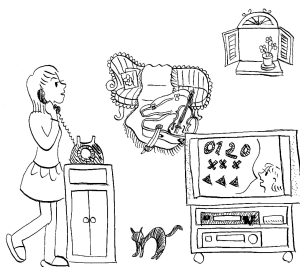
Give me a ride! “乗せてって”

ride は「乗る」という動詞、あるいは名詞で（例えば遊園地の）乗り物のことを ride と言います。仮面ライダーは乗り手 (rider) になるわけですね。遊園地の出し物一般は attraction (アトラクション) になります。ちなみに遊園地は (amusement park) と覚えておきましょう。



toll free “フリーダイヤル”

いわゆるフリーダイヤルは和製英語ですので、**toll free** で覚えておきましょう。toll は有料道路の料金の意味もあります。発音はトウルであり、tall (背が高い) はトールですので区別しましょう。海外では高速道路は無料の場合が多いですが、有料の場合もありますので事前に調べて適切な小銭を用意しておくといいですね。



feel like “～したい気分”

例えば I **feel like** a cup of coffee.

たとえば「コーヒーを飲みたい気分」になります。しかしそのまま「～のように感じる」でも使われま
すから注意が必要です。

I **feel like** a fool. (自分がバカ
じゃないかと思うよ)あるいは It

feels like rain. (雨みたいだね)のように。言葉は生き物ですから、
文脈で意味を判断するようにしましょうね。



Help yourself. “ご自由にお取り下さい”



Help yourself to the wine. (ワインを自由に召し上がって下さい)の
ように使います。ホームパーティー
ではバイキング形式がよくあり、そ
ういう時の決まり文句として覚えて
おきましょう。又お客さんに向かっ
て Make yourself comfortable.

(どうぞくつろいで) というのもよく使われる表現です。

Let's keep in touch ! “連絡をとりあおうね”

春は別れと出会いの季節ですね。しばらく会えなくなる時の言葉が
Keep in touch. です。keepは「保つ」の意味です。Keep your room
clean! (部屋をきれいにしておきなさい)、Can you keep the secret?

(約束を守ってくれますか) のように使われます。日本語でも「彼氏をキープしておくわ」のように使われていますが Keep Out (立ち入り禁止) にならないようにうまくキープして下さいね。



You never know! “分からないよ”



「やってみなくちゃ分からないよ」のような場面で使われます。似たような表現に Who knows? (ひょっとするとね)、God knows. (神のみぞ知る) があります。as you know ~ (ご存知のように)、you know (あのね) のように、know は日常でたくさん使われていますよ。

Take a chance! “一か八か挑戦する”

ABBA の曲の題名にもなっていますね。歌詞の中では Take a chance on me! 一か八か私にかけてみてよ (つきあってよ) という意味で使われています。chance は「良い機会」という意味で日本語化していますね。しかし偶然という意味もありますよ。I met her by chance. (私は彼女に偶然会いました)、by any chance (ひょっとしたら) という表現もよく使われます。



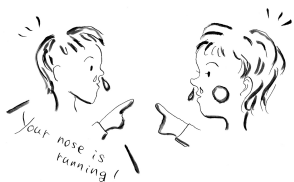
I cannot help (~ing) “~せずにいられない”

イラストの **I cannot help loving him!** は「彼を愛さずにはいられない」という意味になります。help は基本的に助かるという意味ですが、**cannot help** で「せずにいられない」になるので注意しましょう。I **could not help** laughing. (笑わずにはいられなかった) あるいは単純に **I can't help** it. (しかたがない) のように使われます。



Your nose is running! “鼻水が流れてるよ”

run は走る以外に「のびる、のばす」という語感があります。そこから転じて運営・経営するという意味でよく使われますよ。He runs a small business. (彼は小さい事業をやっています)、I run things here. (私がここで全てをしきります)。又 run out で、たくわえなどが尽きることを表現しますので覚えておきましょう。The gas is running out. (ガソリンがなくなってきた)



How would you like your steak? “焼き加減は”

海外のステーキはサイズも大きいですね。そして焼き加減を尋ねる決まり文句ですから覚えておきましょう。

生っぽいのがよければ Rare, please. よく焼いたものがよければ well-

done、その中間ならば medium。
私は medium と rare の中間の
medium rare が好きですが、国に
よって焼き加減も違いますので人
のをよく見てから決めることをお
勧めします。

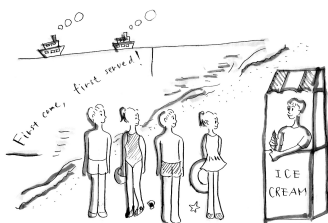


First come, first served! “先着順”

first は最初という意味から「優先して」にもなります。

Women and children first. (女性と子ども優先(男性は後で))、

Safety first. (安全第一)。安全第
一という表現にこういうものもあ
りますよ。Safer than sorry. (あ
とで後悔するよりも最初から安全
に進めよう)



Cheer up! “頑張って!”

まさにチアガールの cheer です。 「乾杯」の音頭は Cheers! という
のはご存知の方も多いでしょう。形容
詞の cheerful も覚えておきましょう。
a cheerful boy (快活な少年)、a
cheerful song (楽しい歌)、a cheer-
ful day (気持ちの良い日)。
どれも元気が出る表現ですね。



No news is good news! “便りが無いのは良い便り!”

まさに日本のことわざと全く同じですね。もう一つ似たものをご紹介します。Bad news travels fast. (悪い知らせはすぐ伝わる)。日本語の「悪事千里を走る」は悪い評判などを指しますが、この場合は悪い知らせがすぐに広まるという意味になります。



accept credit cards “クレジットカードで払える”

accept は、受け入れるという意味です。「クレジットカードで払えますか？」ならば Do you **accept credit cards**? と言えますね。クレジットカードで支払う場合、チップを乗せた金額を書くか、あるいはチップを現金でテーブルに置くようにしましょう。



split the bill “割り勘にする”

split は割るとか分けるという意味で、ボーリングの第1投でピンが割れて残ることをスプリットと言いますね。支払いについて「僕がおごるよ」という表現は It's on me. あるいは It's my treat. といった表現があります。「店のおごりです」ならば It's on the house. となります。



column : 05

誰が背が高い？

ブリュッセルの事務所は支社長がオランダ系の為、採用された社員はほとんどがオランダ系でした。

彼らの1番の特徴は、やたら背が高いこと。平均1m85cmくらいはあったでしょう（フランス系のベルギー人は小柄な人が多かったですが）。

その中でも背が高かったのは2m05cmのJan-Luc。彼と日本に出張に行った時には、新宿の夜の人ごみでも見つけるのがやさしかったですよ。

さてそこにイギリスから新入社員のGaryが研修で来ました。びよびよびよ〜んと異様に足が長い!! 背の高さをメートル法に換算すると2m04cmだといいます！（大陸のヨーロッパはメートル法なんですが、アメリカとイギリスはいまだに古臭い？ YardとかFootとかを使うんです）。

当然ながらベルギー対イギリスの戦い？ 勃発！ 2m05cm vs 2m04cm、見たって分からないんですよ。Jan-LucとGary。いったいどっちの方が背が高いんだ、ということになりました。

下から見上げるとわけが分からないんですよね。1m80cmの小柄な(!) Dannyが椅子に乗って物差しをふたりの頭にあてて比べようとしてました。

ところが！ どちらかがズルをして背伸びをするんです。しかも困ったことに背が高すぎて、我々の視線では頭と足元をいつべんにとらえることが出来ないんですよ。

「おれの方が高い」「ほくの方がだ」。まあ結局「どうでもいいかあ」ということに落ち着きました。

ところでブリュッセル事務所にはイタリア系の20才の可愛いお姫様のようなMelinaがいました。彼女は1m40cmくらい。

せっかくだから記念写真を、ということで2mを超える2人の間にメリーナを入れて「はい、チーズ！」とはいきませんでした。60cm以上も背の高さが違うとピントの合わせようがないのです。2人がしゃがんで、やっとで撮影出来て楽しいお笑い劇場は終わりました。

日本では背の高さを気にする人がいますが、オランダに行けばアホらしくなりますよ。1m40cmでも2mを超えても関係ない。言葉が1ヶ国語でも5ヶ国語でも関係ない。とにかくスケールがでかい！ いか人間らしくてステキな人が、それだけのことなんですね。

便利な一言

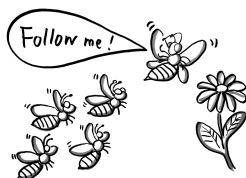
文法

語源

（付録）
エッセイ

Follow me ! “ついてきて”

松田聖子の歌に「I will follow you. あなたについて行きたい」という歌詞がありましたね。follow はついて行くあるいは従うという意味があります。話についてきてる? という意味で Are you **following me**? という表現もあります。すでに日本語になっているフォローアップ (follow up) と言えば、何かを追いかけて調査していくことですね。

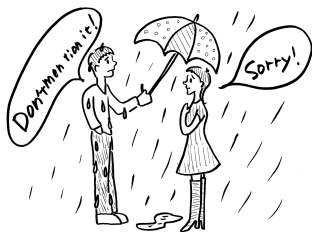


It all depends ! “状況によるよ”



all は省略して It depends. あるいは That depends. でも同じです。やってみなければ分からない、というニュアンスを含むと言っていいでしょう。depend は依存する、頼る、という意味があります。Japan depends on foreign oil. (日本は石油を外国に依存している)。independent は独立しているという意味で、アメリカの独立記念日を Independence Day と言います。

Don't mention it ! “気にしないで”



I'm sorry to be late. (遅れてごめんね) **Don't mention it!** (気にしないで)。日本語で直訳して「そんなことは言わないで」でもピッタリですね。有難うに対しての「どうい

たしまして」の意味でも使われます。Thank you! (有難う) **Don't mention it!** (どういたしまして)

I hope you like it! “気に入るといいのですが”

日本語でプレゼントを渡す時に卑下した言い方で「お気に召さないとありますが」と言ったりしますが、英語では逆の **I hope you like it.** (あなたが好むことを願う) という表現になります。又「つまらないものですが」とは言いませんが This is a small gift for you. (ささやかな贈り物です) というのが日本人の心情に合っているでしょう。



Be careful! “気をつけて!”

be ~という命令文を覚えましょう。

Be quiet. (静かに)、Be kind to old people. (お年寄りには親切に)、Be a good boy. (いい子になさい)

あるいは否定の命令もあります。

Don't be noisy. (騒がしくしては

いけません)、Don't be late. (遅れてはだめだよ)。



Keep off! “立ち入り禁止!”

off は「離れて」という意味の前置詞・副詞です。The arrow was off the mark. (矢は的をはずれた (的から離れて))、I'm off duty today.

(今日は仕事が休みだ(仕事から離れている))、I'm off cigarettes. (タバコをやめている(タバコから離れている))。飛行機が離陸するのは take off ですね。地面から離れるという感覚ですね。



a couple of ~ “2、3の~”

「2、3の~」というのは a few で表現してもいいのですが、ただけた口語ではよく **a couple of** ~と言います。eat **a couple of** boiled eggs (ゆで卵を数個食べる)。又 **couple** は男女一組あるいは「夫婦」の意味でよく使われます。a young couple (若夫婦)、The old couple has a 15-year-old son Tony. (その老夫婦にはトニーという15才の息子がいる)。



No doubt about it! “間違いない!”

トランプのゲームにダウト (doubt) がありますね。相手の出したカードを「疑う」時にダウトと言います。従って without doubt (疑いなしに(確かに))という熟語もあります。I doubt his word. (彼の言うことは疑わしい)、I doubt if he will come. (彼が来るかどうか疑問だ)。



feel like ~ “~を望む”

feel like ~で「~な気がする」という意味になります。I don't **feel like** eating. (なんだか食べたくない)、Do you **feel like** a cup of coffee? (コーヒーはどう?)。あるいは「~のような手触りがする」という意味もあります。It **feels like** leather. (それは革のような手触りだ)。それぞれ文脈で意味を推測・理解しましょう。



Don't give up! “あきらめるな!”

ギブアップと言えばプロレスの「参った」の合図で馴染み深いですね。他にも give up smoking (タバコをやめる)、give up hope (希望を捨てる) のように使えます。他にも give を使った口語では Give me a call. (電話を下さい)、Give me a ride. (車に乗せて行って) はよく使われるので覚えておくと良いでしょう。



proud of ~ “~を誇りに思う”

プライド (pride) は「誇り」という意味で皆さん分かりますね。華原朋美のアイムプラウド (I'm proud) という曲は有名ですね。上品な表現ですので覚えておくと便利でしょう。I'm **proud of** my son. (私は息子を誇りに思っています)、We are proud to have you here. (あなたをここにお迎え出来て光栄です)。

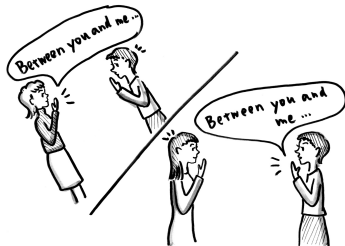


Between you and me... “ナイショだけど…”

between A and Bで「AとBの間」という使い方をします。Call me between 2:30 and 3:00. (2時半から3時の間に電話をかけて下さい)、

Between you and me. と言えば(あなたと私の間)ということから

「内緒だけ」という意味で使われています。between ourselves, between usも同じです。ただし秘密がバレるかどうかは God knows! (神のみぞ知る⇒誰も分からない) ですね。They got divorced. Don't tell anybody. (彼らは離婚したのよ、誰にも言わないで) OK. It's **between you and me.** (分かった、ここだけの話ね)。



honor “光栄”

発音は「アナー」又は「オナー」ですので注意して下さい。口語というよりも、大変に改まった表現と考えましょう。例えばヒラリー・クリントン国務長官が来日した時に使った表現です。

It is a great **honor** to be here today. (今日ここにいる機会を大変光栄に思います)。「会えて嬉しいです」は口語で Nice to meet you! の

ように言えばいいですね。これを改まった表現にすると I'm very **honored** to meet you. (お目にかけて光栄の至りです) というわけで、時と場合に応じて使い分けるようにしましょう。



on the street “街で”

I met him **on the street**. (彼に街で出会った)。street を道と訳しても間違いではありません。しかし「街」の意味で使われることがよくありますよ。Wall Street (ウォール街) もそうですし、a shopping street (商店街) もあります。



日本では〇〇町というブロックが基本ですが、欧米の多くでは street が住所になっています。車社会でもあり street の片側が奇数番号、片側が偶数番号で続いています。

column : 06

鹿に注意！

私が駐在した英国事務所は、初めはロンドンのピカデリーサーカス (Piccadilly Circus) という等地にオープンしました。日本なら東京の銀座 4 丁目にあたるような目抜き通りです。しかし日本の NTT にあたる BT (British Telecom) との巨額ビジネスの立ち上げが遅れたので、郊外 (東京で言えば八王子?) のレディング (Reading) という町に移転しました。

しかし！ その後更に財政緊縮の為に、ハンブシャー郡 (Hampshire County) のアンドーバー (Andover) という、ロンドンから車で 1 時間以上かかる田舎町 (筑波山辺り?) に都落ち? したのです。

正に何も無い草原の、築 110 年! の一軒家に同僚の Gary との同居生活が始まりました (その後この家は火事でなくなったとか)。街に 1 軒だけのバブで交わすビールとビリヤードだけが唯一の娯楽でした。この街アンドーバーは、アルゼンチンとのフォークランド紛争の時に英国軍が集結した場所とも言われています。

…その通りだったのです！ 道路標識の「鹿に注意」なんて当たり前過ぎる (!) 風景なのですが、更にビックリしたのは「戦車に注意」の標識まであったことです。(大変な所に来たなあ…)。

便利な一言

文法

語源

(付録) エッセイ

ある日のこと、通勤の小径をいつものように運転していました。すると突然、小さな黒い影が一瞬の間に草村から目の前に飛び出して来ました。(え? ここ通学路?) なんて思う間もなく「ドスツ」という衝撃波。そして何かがボンネットに跳ね上がり、そして視界から消えました…。

(やっでもうた。命を奪った。おらの人生ここまでだったのか。お父ちゃんお母ちゃん、ごめんなあ)

心臓の鼓動が、どつきどつきと身体中に響き渡り、低血圧なのに頭の血管が破裂しそうで、視界も消えていく…。で、後ろを振り返ると…。

かわいい小鹿さんがびよんびよんと、ピッコもひかずに草村に跳ねて消えていきました(汗)

はああ。ほっとした、というよりも、とにかくしばらくは心臓の鼓動がおさまるまで身動き出来ませんでした。その後その小径を通る時には細心の注意をはらったことは言うまでもありません。

平和に過ぎる日々が続いた数ヶ月後のある日のこと。小径の先にある大きい交差点に、不穏にうごめく大きい物体が2つ。

(何だろう、一般道なのに…まさか…)

そう! そのまさかだったのです。

(せ、戦車だあ!)

前方およそ500mで気づいたのを幸い、路肩に車を寄せました。

(早く通り過ぎてくれよお。頼むよお)

(だいたい軍隊が一般の公道をふさぐなよなあ)

しかし! 予想外の動き! なんと、象の長い鼻のような砲門を動かし始めたのです! 周囲の行動を真似しようにも、

(田舎だよおおお)

という場所なので、人も車もいやしない…。

(ちょっと待ってよ! あ! 軍隊だからエスパーがいて心を読んじゃうかも。

ご、ごめんなさい! 公道をどうぞお使いいただいて全く構いません!! だからあ! だからあ…。「さっさと行けや」

じゃなかった (>_<) 行って下さいませえ)

ま、それから10分ほどで、戦車はノロノロと道を横断なさって基地の方に消えて下さいました。下手によつちゃんが停車したから「こいつアヤシイ」と思って威嚇したのかなあ。

英 良 話
旅 券



文 法

{ grammar }

grammar>>001

英語は主語＋動詞、日本語はオシリが結論

高校生の時にこういう出題がありました。「次の文章は SVOC か SVOO か答えよ」。私はこう感じました。「え？ そんなことは、どっちでもいいんじゃない？」。その思いは今でも変わりません。私にとって、文法はたった一つだけです。

Q ▶ 英語の順番は？

A ▶ 「主語＋動詞」

Q ▶ 日本語は？

A ▶ 「オシリが結論」

ではまず、英語を理解しようとする前に「日本語」を分析してみましょ。具体的な例文で見えていきます。次の文の「主語」「結論」を考えていきましょう。

『私は太郎です』

分かりますね？ 正解は、

主語 ▶ 私は

結論 ▶ 太郎です

『私はこの花が好きです』

この文の「主語」を答えましょう。

主語 ▶ この花が

う～ん…残念！ 不正解です。主語を見分けるコツがあります。先ず文のオシリを見ましょ。日本語の結論（述語）は必ずオシリにあります。例えば次の文章を見比べてみましょ。

「私はこの花が好きです」

「私はこの花が好きでした」

「私はこの花が好きでない」

分かりますね。「です」「でした」「でない」という**オシリで結論が変わる**んです。

では今回の例文「私はこの花が好きです」の結論は何でしょうか。結論はオシリにありますから正解は「好きです」。では「好きです」に対する主語は何でしょうか。もう分かりますね。正解は、

主語 ▶ 私は

結論 ▶ 好きです

では「私はこの花が好きです」を英語にしたらどうなりますか？

I this flower like.

…惜しい！でも会話では通じるかもしれませんが。黙っていても何も伝わりませんから、間違っていると思っても言葉を口に出してみましよう。でも出来れば次のように言えた方がいいですね。

■ I like this flower.

あは♪ 英語はあわてんぼさんだから「**私は好きです**」という結論が先なんですね。つまり「私は好きです」⇒I like を先に言ってしまう方がいいのです。後は残りの部分 (this flower) をくつつけるだけでI like this flower. という文章が完成します。

『私が愛した男性はよっちゃんです』

これを英語にすると、

■ I love Yocchan! 私はよっちゃんを愛しています。

やったあ！有難う♪ いや…残念ながらこれでは話の趣旨が変わってしまいますね。

思い出して下さい。ポイントは「オシリを見る」でしたね。**例文のオシリ=結論は「よっちゃんです**」で間違いないですね。では主語は何でしょうか。主語が「私が」ならば「私がよっちゃんです」となっておかしいですね。そうではなく**主語は「男性は」**であり、この文は「**男性はよっちゃんです**」が1番言いたいことですね。これを英語にすると、

■ The man is Yocchan.

ほら！これなら意味が通じますね。そして主語は正確に言うと「私が愛した男性」= the man I loved ですから、完成した正解の文章は、

■ The man I loved is Yocchan.

POINT 英作文のコツ

英作文は決して恐れることはありません。ただし以下の手順を忘れないようにしましょう。

【日本語のオシリ（結論）を見る⇒主語を決定する⇒主語＋結論を英文の最初に持ってくる】

例 『「私は」この花が「好きです」』

○ ▶ I like this flower.

× ▶ I this flower like.

grammar>>002

3 人称とは何？

ブタさんはイヌくんから誕生日にケーキをもらいました。そして大喜びでブヒブヒ食べていました。すると突然そこに警察官が現れました！

警察官 ブタさん逮捕だ！

ブタさん 何で？

警察官 そのケーキは、イヌくんがネコさんから奪い取ったものだよ！

ブタさん もらっただけだよ

警察官 ネコさん泣いてるぞ！

ブタさん (>_<) でもそんなの関係ない、そんなの関係ない！

警察官 ギャグが古いからタイホだ！

ブタさん え〜ん。° (>_<) °。

ブタさん…かわいそうですね。でも、大丈夫！現実にはブタさんは逮捕されないんです。だってケーキを盗んだことと「関係ない」人だから。

こういう人を「第3者」と言います。そして文法で言えば「3人称」になるんですよ！

ところでブタさんは自転車が好きで、自転車の名前はキムタクです。
「キムタク素敵！」

イヌくんも自転車が好きで、自転車の名前はスザンヌです。
「スザンヌかわいい！」

イヌくん それ素敵な自転車だね。

ブタさん 「それ」って何よ！彼に失礼よ！キムタクよ！

イヌくん ごめんね、キムタク素敵だね。

ブタさん この自転車かわいいわね。

イヌくん 「この」って何？スザンヌちゃんだよ！

ブタさん ごめんなさい！スザンヌちゃん、かわいい！

皆さんも同じですよ。自転車はさておき、可愛いペットならば漫画の『めぞん一刻』のように「惣一郎さん♪」と話しかけたりしませんか。英語では動物などの「人間以外は」それ (it) と言いますが、飼い主によっては彼 (he) 彼女 (she) と呼ぶこともあります。

そして **it, he, she** のことを「**3人称単数**」と言って、とっても注意しておくことが必要なんです。「**一つの物、あるいは一人の人物**」は3人称単数と覚えておいて下さいね。

POINT 3人称単数のS

3人称単数の現在形の文章には「動詞にSをつける」ことを忘れないようにしましょう。

例 『「彼は」テニスをする』

○ ▶ He plays tennis.

× ▶ He play tennis.

grammar>>003

代名詞とは何？

ブタさん 田中と佐藤と鈴木、遅いね。

イヌくん 田中と佐藤と鈴木からメールだ！

ブタさん 田中と佐藤と鈴木、どこ？

イヌくん 田中と佐藤と鈴木、コンビニだあ。

よくありそうな会話ですね。え？ どこか変？ 日本語としては間違っていないですよ。でも、普通はこんな風に言うかもしれないですね。

ブタさん 田中と佐藤と鈴木、遅いね。

イヌくん あいつらからメールだ！

ブタさん あいつら、どこ？

イヌくん あいつら、コンビニだあ。

たしかにこの会話の方が自然ですね。「田中と佐藤と鈴木」と繰り返すのも妙ですね。この「あいつら」のように**実際の「名」の「代わり」に使う言葉を「代名詞」と言うんですよ**。英語は特にあわてんぼさんだから代名詞ばかり使います。

Where are Tom and Mike? トムとマイクはどこ？

They are in the park. あいつら公園にいるよ。

ほらね！「あいつら」だって！でも、なんだか日本語と同じですね♪

ところで、日本語では代名詞は実際にはあまり使わない傾向があります。以下の会話を見て下さい。

例 - ①

ブタさん 愛ちゃんが今日遊びにくるよ。

お母さん お母さんも愛ちゃん大好きよ。

ブタさん この前は愛ちゃんちに遊びに行ったよ。

お母さん あら、愛ちゃんのお母さんにお礼言っておくわね。

例 - 2

ブタさん 愛ちゃんが今日遊びにくるよ。

お母さん お母さんも彼女大好きよ。

ブタさん この前は彼女んちに遊びに行ったよ。

お母さん あら、彼女のお母さんにお礼言っておくわね。

いかがですか？①の方が自然で暖かく感じませんか？

②は冷たい無機質な感じがしませんか？

英語では代名詞にどんどん置きかえてしまうことが多いですね。しかし意外に日本語では代名詞を使っていないと思いますよ。

POINT 和訳のコツ

上の会話例でも分かるように、英文を和訳する時に代名詞（彼、彼女など）で直訳すると「わけが分からない」ことになるケースもしばしばです。だからあえて代名詞ではない「元の言葉を使う」（会話例では愛ちゃん）工夫を柔軟に取り入れることをお勧めします。

grammar>>004

冠詞 the は特定、a は不特定

a = 一つの、という意味ですね。しかし a の根底の意味は「たくさんある中のどれでもいい一つ」になります。the = それ、という意味で覚えてきたと思います。しかし the は「会話主の間で特定されたもの」と理解しましょう。では a と the をどのように使い分けるのかを実際の事例で考えてみましょう。

例 - 1

高速道路のパーキングに着きました。お子さんがトイレに行きたくてたまりません。さて、次のどちらを使いますか。

A Let's find a bathroom!

B Let's find the bathroom!

正解は、

■ **A** Let's find a bathroom.

この場合は「**どれでもいいから**」トイレを見つけたい状況ですね。公衆トイレでなくても喫茶店でコーヒー代を払ってでも「**どれでもいい**」不特定のトイレを探しています。従って特定のトイレ (the bathroom) ではなく、**どれでもいい**トイレ (a bathroom) が適切です。

例 - 2

麻薬捜査官の人達がアジトに搜索に乗り込みました。3階の奥にあるトイレに麻薬が隠されている筈だと分かっています。では、この場合はどちらを使いますか？

■ **A** Let's find a bathroom!

■ **B** Let's find the bathroom!

正解は、

■ **B** Let's find the bathroom.

この場合は**どれでもいい**というトイレではないですね。「**特定の**」トイレを探しているのですから the bathroom であるべきなのです。捜査官の間では「the bathroom と言えば3階の奥のトイレ」と特定出来ているのです。

POINT the は特定出来る場合

図書館でお友達と待ち合わせをします。この場合には、

■ Let's meet at **the** library.

になります。何故か分かりますか？ もしも a を使うと「**どれでもいい**図書館」になりますので、市内に図書館が5つもあつたら会えなくなってしまいます。

しかし注意が必要です。この会話の場合は会話主の間では「**図書館** と言えば**中央図書館**」という**特定が出来ている**ことが前提です。従つ

て初対面の人に the library と言ったら「Which library? (どの図書館?)」と尋ねられることになりますよ。

grammar>>005

冠詞 the と a の使い分け

the = 特定、a = 不特定、と覚えましたね。しかし、実際の会話では「a も the も使える」場合があつて迷うことがあると思います。そういう場合にどう使い分けかを見てみましょう。

■ 彼は少年です。⇒ He is a boy.

これは問題ないですね。では！「彼は私が昨日あつた少年です」ならば a と the のどちらを使いますか？ 正解は「文脈次第」でどちらも (a も the も) 使えるのです。敢えて違いを強調して意識しますので比べてみて下さい。

■ He is **a boy** I met yesterday.

■ 彼「**は**」私があつた少年 (の一人) です。

■ He is **the boy** I met yesterday.

■ 彼「**が**」私があつた少年です。

分かりますか？ a = たくさんのうちの一つ、言い換えれば one of ~ から「軽い存在」と言えます。それに対して the = 特定しているから「重い存在」になるのです。だからテレビ CM のキャッチコピーならば the が主に使われることになります。

ではペンの CM のコピーを作ってみましょう。どちらがいいですか。

■ This is **a pen** you need.

■ これはあなたが必要とする**ペン** (のうちの一つ) です。

■ This is **the pen** you need.

■ **これこそ**あなたが必要とする**ペン**です。

分かりますね。CM であれば the pen の方がよさそうですね。

いかがですか、a と the の違いの感覚がなんとなくつかめてきましたか？

grammar>>006

冠詞 (a や the) を使わない場合

『I go to bed at 10.』

これはどういう意味でしょうか。「ベッドに行く」と訳したくなりますが、10時に「寝る」が正解です。注意してみたいのは、

- a bed
- the bed
- beds

ではなく単に「bed」になっていることです。このように冠詞がつかない名詞は基本的に「もの」でなく「概念」であると理解すると分かりやすいでしょう。つまり bed は「寝るべき場所」という概念です。ですから洋風のベッドでなく和風の布団でも、キャンプで寝袋で寝る場合でも I go to bed. で表現されるわけです。

「概念」と考えれば次の訳も理解出来ますね。

例 『I was sick in bed.』

- ▶ 病気で寝ていた。
- × ▶ 病気でベッドにいた。

「寝るべき場所」にいたのですから、実際には布団で寝ていても in bed なのです。

ではこれはどう訳しますか？

『I go to school by bus.』

「学校に行く」で×とは言えません。しかしやはり school には冠詞がありませんから「学ぶべき場所」という概念です。従って「バスで通学する」が適切な和訳と言えるでしょう。概念ですから、校舎が存在しないサマースクールという野外実習 (I go to summer school.) でもいいわけですね。

grammar>>007

冠詞、名詞の見分け方(数えられるか否か)

名詞には数えられる名詞と数えられない名詞があります。例えばペンは数えられますね (a pen, 2 pens, some pens, etc.)。しかし水は数えられません (a glass of water, 2 glasses of water, etc.)。

数えられるか否か、それを辞書で確認出来ますよ。例えば中級者以上向けの辞書で music や tennis をひいてみてください。発音記号の後に「U」という文字がありませんか？ **U = uncountable (数えられない)** を示しています。

ちなみに I like tennis. とは言いますが I like (a) tennis. や I like (the) tennis. とは言いませんね。「あのテニス」「このテニス」などがあって選ぶわけではなく、テニス=テニスですね。もちろん次のような場合は異なります。

■ I like the tennis player. そのテニス選手が好きです。

■ It's a nice tennis racket. 素敵なテニスラケットですね。

これに対して発音記号の後に「C」という文字がついている場合があります。**C = countable (数えられる)** を示しています。

では次に song を見て下さい。一つの例ですが、

- ① **C** a popular song 歌
- ② **UC** the song of a canary 鳥などのさえずり
- ③ **U** The castle is renowned in song. 詩文

の様に説明や例示があると思います。この場合、

- ①の意味(歌)では数えられる。
- ②の意味(さえずり)では数えられる、数えられない両方の場合がある。
- ③の意味(詩文)では数えられない。

こういう意味を単語一つひとつについて全て「暗記」するのは不可能

なことですね。しかし文脈からその場にあてはまる意味を「理解」すれば推測出来る場合が多いと思います。

尚、初級者向けの辞典ではC、Uのように分けていない場合も多いかと思えます（出版社によってクセがありますので自分の辞書に慣れて下さいね）。

一つの例ですが music（a をつけず、複数形なし）のように説明が書かれています。あるいは museam（複 museams）のように複数形が示されています。

私は悪い辞書は存在しないと思っています。お手持ちの辞書の巻頭にある説明文をしっかり読み、その辞書のクセをつかんで使いこなして下さいね。

POINT 一つの英単語には複数の意味

例えば minute には「分」（発音はミニットウ）、又は「詳しい」（発音はマイニュート）という複数の発音・意味があります。発音が同じでも paper（紙、新聞、論文、etc.）の様に複数の意味を持つのはよくあることです。辞書をひいたら複数の意味を把握しようとすると言語能力が飛躍的にアップしていきますよ。

grammar>>008

前置詞 on = くっつき続ける

「on = ~の上に」と中学校で最初に習いましたね。そして次に a picture on the wall（壁にかけてある絵）のように「上」でなくて「接している = on」であると応用しましたね。更に発展させて、このように感覚的に捉えてみてください。「on = 接している⇒くっつき続ける⇒し続ける」という感覚です。具体例を見てみましょう。

■ read on 読み続ける

■ talk on 話し続ける

■ go on 進み続ける

「動詞+前置詞」の熟語を覚えることはとても大切なことなです。しかし全てを覚えることは不可能ですし、暗記しただけでは応用がきかなくなります。むしろ「**on の感覚**」を捉えることで推測力がつきます。その対義語もペアで覚えるとなお良いでしょう。

■ on ⇔ off (on = ずっと続ける、off = ぱつと離れる)

飛行機が離陸することを take off と言います。地面から「ぱつと離れる」イメージですね。例えばTVのスイッチを

■ turn on 入れる

■ turn off 消す

ほら画面が「ぱつと消える」イメージが思い浮かびませんか。

そして「**言葉を繰り返すことには強調の効果**」があります。

■ It's very, very hot today. 今日は本当にとても暑いね。

■ on and on どんどん~する。

■ She talked on and on. 彼女はずっと話し続けた。

繰り返しますが「イメージを持つ」ことが大切です。

grammar>>009

前置詞 off = ふわっと離れる

飛行機には何度も乗りましたが飽きないですね。搭乗してから出発までの緊張感。滑走を始めて窓外の景色が流れるように速度を上げ…ふわあ~つと地面を離れた時の爽快感！ 離陸= Take Off! そう、この感覚「**ふわっと離れる**」のが off ですね。on ⇒ ずっとついているの対義語だから、熟語もペアで覚えるといいでしょう。

■ get on the bus バスに乗る。⇔ get off the bus バスから降りる。

■ put on a coat コートを着る。⇔ take off a coat コートを脱ぐ。

物理的に離れるばかりじゃないですよ。こんな例も見てみましょう。

I am **off duty** today.

今日は非番だ。(仕事から離れている)

His remarks are **off the point**.

発言が見当違いだ。(要点から離れている)

場所的に離れる

■ The bird flew off. 鳥は飛んで行った。

■ I must be off. もうおいとましなければなりません。

時間的に離れる

■ My vacation is a week off. 休暇は1週間先だ。

■ We put our trip off for a week. 旅行を1週間先に延ばした。

仕事から離れる

■ I took a day off. 1日休暇をとった。

■ We are off Saturdays. 土曜日はお休みです。

いかがですか。なんとなく off の感覚がつかめてきましたね。It's just an idea off my head! (これは私の頭からふわあっと出てきたアイデアですよ)

grammar>>010

前置詞 of = 一体感

前置詞の of は「～の」と覚えましたね。しかし「of = 一体感」というイメージを持つと更に応用がきくようになりますよ。of と from の違いから見てみましょう。

of ⇒ 一体感

from ⇒ 単なる起点

■ The desk is made of wood. その机は木から出来ている。

■ Wine is made from grapes. ワインは葡萄から出来ている。

上の文では「机=木」つまり机は木そのものですね。それに対してワインは葡萄そのものではなく、加工して固体から液体に変化していま

す。つまり「ワイン＝葡萄」という一体ではなく、葡萄という起点からワインが作られていったのです。

では別のケースも見て、更に感覚を磨いてみましょう。

■ It's **kind of you**. ご親切に。

あなた＝親切、正に一体ですね。

■ the **leg of a table** テーブルの脚

「脚はテーブルの一部」であり一体ですね。

次の例は興味深いですよ。

例 『ドアの鍵』

○ ▶ a key to the door

× ▶ a key of the door

鍵は「ドアの一部ではない」ですね、だから of the door は適しません。しかし鍵はドアに面している「to the door」存在だから a key to the door になるわけです。

grammar>>011

接続詞 since = ～以来ずっと

since が使われるのは大半が「現在完了」の場合と考えていいでしょう。

■ We have lived here since 1980.

1980 年から「ずっと」ここに住んでいる。

「～から」という日本語だけを捉えると from もありますね。しかし **from** は「単なる始まりの時点を示す」のに対し、**since** は「現在まで続けていることを示す」のが大きな違いです。

■ He works from 9 to 5. 彼は 9 時から 5 時まで働く。

これではまだ分かりにくいかもしれませんが、次の文はいかがでしょうか。

■ Where do you come from? どちらからいらしたのですか。

明らかに「起点」を訪ねていますから from が適切であり、since では

妙ですね。

ところで現在完了に関連して「私があなたに最後に会ってから5年に
なります」の様々な英語表現を見てみましょう。

- A : It has been 5 years since I saw you last.
- B : It is 5 years since I saw you last.
- C : 5 years have past since I saw you last.
- D : I haven't seen you for 5 years.

Aはアメリカ英語。Bはイギリス英語。Cは堅苦しい表現。私のお勧めはDです。何故ならABCはおしゃれな間接的な表現ですが、Dのように「私は」という主語を持つてくる**直接表現が文章を1番作りやすい**からです。

column : 07

アメリカの国土

アメリカはヨーロッパに比べると車の流れがゆったりしている感じがします。都会の中心を除くと、広大な自然の中をあまりにも真っ直ぐな道が淡々と続いていきます。オートパイロット機能を使えばアクセルを踏む必要もなく睡魔との闘いです。NY州ロチェスターからシカゴまで1100kmを休憩を入れて13時間かけてドライブしたのが最長距離です。

しかしアメリカ人は車好きが多く、キャンピングカーで何千kmも移動する人がいます。私の仕事仲間にはバス(!)を持っている人間もいてぶったまげました。ところがね。それだけじゃないんです。課長クラスの男なのですが、なんと自宅の敷地に滑走路！そして二人乗りの飛行機を持っている人がいました！

アメリカの広大な田園上空には農業をまくヘリや飛行機が舞い踊り、幅100mはあろうかという耕作機械が鎮座し、そして巨大な牧草地に牛馬が遊ぶ。家は平屋が多いですね。だって敷地が広いから無理に家を高くする必要もないから。こんな広大な土地と資源に恵まれた国と戦争をしようとした国は…なんて愚かだったのでしょね。

grammar>>012

接続詞 since, as, for ⇒ ~だから

~だからという理由を表す接続詞は because と覚えていますね。ところが実は他にも3つもあるのです。つまり理由を表す接続詞は **because, for, since, as の4つ**です。

for

for は「ふわぁん」という感覚でしたね。その感覚をよく思い出しましょう。

It will rain, for the barometer is falling.

雨が降るだろう、というのは晴雨計が下がっているから。

この文の場合には because を使うことは出来ません。もし because を使ってしまうと、「晴雨計が下がっていることが原因で」雨が降るだろう、という意味になってしまいます。

because は「強い」はっきりした原因、因果関係を表します。for を使うのは、このように「**とってつけた**」感じの説明で、**だから大抵は後に来ること**になります。

It is morning, for the birds are singing.

朝だ、鳥が鳴いている所からすると。

ただしこれは文章としての表現で、実際の会話では2文に分けてしましましょう。

It is morning. The birds are singing. 朝だ。鳥が鳴いている。

このように短い文章をつなげるのが会話の一つのコツと言えます。

ただし高校・大学入試の文章で for が接続詞として使われていたら、それが（理由を表しているかもしれない）と意識するようにしましょう。

since as

基本的に since 又は as を使うのは「**文の最初に**」来るのが原則です。because と since, as の使い分けには、こういう説明の方法があります。

because は相手にとって新たな事実、since, as は周知の事実。

Since you feel tired, you should rest.

君は疲れているから休むべきだ

しかし原則が厳密に適用されているかと言えば、そうでもありません。上の文例でも because を使って構わないのです。

では since, as はどう使い分けるのでしょうか？「sinceの方がasより強い」と言う説があります。しかしこの説も以下の実情によって否定されます。「since はアメリカ英語で好まれ、as はイギリス英語で好まれる」。ではアメリカ人は皆が since を好むかと言うと、そうでもないのです。例えば日本人でも「たぶん」を多用する人もいれば「きっと」ばかりを使う人など、正に人それぞれですね。言葉は流動的で、常に変化する生き物と考えましょう。

grammar>>013

接続詞 because = ~だから

会話に関しては「because だけで十分」と言っていていいでしょう。歌詞にはよく 'cause (発音はコーズ) という表現を目にします。つまり会話ではコーズの発音でよく使われるんですね。because が多用されるのは「since, as を使うとカタイ」からが一つの理由とも言われています。

では我々は会話でどんどん because を使うのが良いのでしょうか。はい、いいですよ。しかし次の文を見てみましょう。

He is loved by everybody because he is honest.

彼は正直なので皆に愛されている。

これを口語的に言い換えると、

He is honest. So he is loved by everybody.

彼は正直だ。だから皆に愛されている。

どちらが分かりやすいですか？ 後の方ですよ。[短文を重ねる] 方が

「分りやすく言いやすい」と思いませんか。

我々が英語の会話で詰まってしまうのは「完璧な文を作ろうとする」ことが一つの原因です。そして文を考えている間に…会話がどんどん先に進んでしまいますね。それを解決するには、頭に浮かんだこと「1点のみ」に絞って「短い文」を口に出してしまうことです。例えばこんな具合に、

He is loved by everybody. 皆に好かれてるね。

'Cause he is honest. 正直だものね。

いかがですか？長い文章を作るよりも「短い方が楽」ですよ！

POINT 会話では短い文を重ねる

上の例のように接続詞があっても2文に短く切ってしまうと会話が楽です。我々が苦手とする関係代名詞も同様です。

I met a boy who helped me a lot.

たくさん手助けしてくれた少年に会った。

これも短く分けると楽ですよ。

I met a boy. He helped me a lot.

少年に会ったよ。たくさん手助けしてくれたんだ。

grammar>>014

as のイメージ⇒天秤でバランスがとれている

as を辞書でひくと山ほど意味があり、目が回ってしまいそうですね。逆に言えば as はそれほど便利で使い勝手がいい単語ですので、是非イメージをつかむようにしましょう。as のイメージは天秤のように「前と後のバランスがとれている状態」と理解するといいですよ。

He is as old as Tom.

彼とトムは同じ年だ。(He と Tom が天秤)

He can't talk to you now as he is busy.

■ 彼は忙しいので君と今話せない。(can't talk と is busy が天秤)

Young as he is, he is quite smart.

■ 彼は若いけれど大変賢い。(young と smart が天秤)

He arrived just as I was leaving.

■ 私が去る時彼が着いた。(arrived と was leaving が天秤)

He is famous as a pianist.

■ ピアニストとして有名だ。(he と pianist が天秤)

いかがですか。こんなにたくさんの意味があるのに「**as**の前後は天秤」と捉えることで全てが理解出来ますね。どういう日本語に訳せるかはその文脈で決まります。

逆に言えば、だから as を because の代用にすることは(意味が不明確になる場合が多いので)あまりお勧め出来ません。やはり理由を表すには because を使しましょう。

grammar>>015

助動詞 should = した方がいいよ

『Kyoto is a place to visit.』

この文をどう訳しますか？ ポイントは

■ place to visit = 訪れるべき場所

言い換えると、

■ place to visit = place you should visit

の意味なのです。では直訳します。

「京都はあなたが訪れるべき場所です」

文法的に何ら間違いはないですが、思い切った意識をしてみましょう。

■ 「京都を是非訪問してごらんよ」

この感覚を是非つかんで下さい。

「should = すべき」と学校で習ってきましたね。日本語では「すべき=命令」に近い感覚です。しかし「**should = お勧めします**」が実

際のニュアンスと考えるようにしましょう。そう捉えれば、

■ Kyoto is a place to visit. 京都を訪れるといいですよ。

がしっかりと感じられますよね。

ただし「言葉は生き物」ですから**文脈・言い方・強弱でニュアンスが変わってきます**。

■ **普通に** You should see a doctor. 医者に診てもらえば。

■ **強い調子** You SHOULD see a doctor! 医者に行かなきゃダメだよ！
「～したらどう？」の表現について以下を参考にして下さい。上から下に行くほどニュアンスが強くなりますよ（日本語は違いを強調するように意識しました）。

■ You could take the bus. 出来たらバスにすれば。

■ You should take the bus. バスがいいんじゃない。

■ You ought to take the bus. バスにしときなよ。

■ You had better take the bus. バスでなきゃまずいよ。

■ You have to take the bus. 絶対バスにすべきだぜ。

■ You must take the bus. バスにきなさい！

grammar>>016

助動詞 would = したものだっ

歌詞に非常によく出てくる表現です。

■ I would listen to the radio. よくラジオに耳を傾けたものだっ。わ。
「～ したものだっ」には used to という言い方もあります。この2つの違いは何なのでしょう。

would は基本的に「**繰り返し行う**」ことが**可能な動作**です。それに対して used to は現在との対比（かつてしていたが今はしていない）です。だから、

■ I used to live in NY. かつて NY に住んでいました。

とは言いますが、

I would live in NY.

とは言わないんですね (I would live in NY.を訳すと「NYに住めたらなあ」になります)。

じゃあ「絶対にそう？」と言われると…言い訳のようで申し訳ないですが、飽くまでも原則であり、日本人でも全て原則に沿って話してはいいように柔軟に考えて下さいね。

would と used to の違いは、こう考えた方が実際のかもかもしれません。

would = 主體的

used to = 客觀的

I would walk in the park with her.

その公園を彼女と散歩したものだったよ。

…ロマンチックな思い出、という感じがしませんか。それに対して、

I used to walk in the park with her.

かつて彼女とその公園を歩いたものだ。

…義務的な習慣だったのか、なんだか冷たい感じがしませんか？

何故 would ならば主體的な感じがすると思いますか。would は will の過去形でしたね。そして will = 意志なのです。

■ He has a strong will. 彼は強い意志を持っている。

だから上の文例で would ならば「彼女と散歩したくて」散歩したわけですね。would は歌詞で過去の恋愛を思い起こす場面にはよく使われています。ちょっと注意をして歌詞に耳を傾けると興味深いと思いますよ。

grammar>>017

助動詞 must = に違いない

must = 「しなければならない」ですね。

You must clean your room.

部屋を掃除しなくちゃいけないよ。

そこから派生した表現「～に違いない」を是非覚えておきましょう。
次の文をどう訳しますか。

『It must be true.』

It is true. ならば「それは真実である」ですから、must を意識して直訳すると「それは真実であらなければならない」になりますね。

これを滑らかに意識すると「それは真実に違いない」になります。

「**must be = に違いない**」は大変よく使われる表現ですので、身につけておきましょう。そして must be の反意語は can't be になります。では次の文を訳してみましょう。

『It can't be true.』

直訳すれば「それは真実であることは不可能だ」になりますね。滑らかな日本語に意識すれば「それは真実では有り得ない」になります。

「**can't be = 有り得ない**」も意外によく使われる表現です。

尚、must が「しなければならない」なのか「に違いない」なのかは文脈で判断するようにしましょう。

■ I must walk to school today.

■ 今日は学校まで歩いていかなければならない。

これを「私は歩いて行くに違いない」と訳すと妙ですよ。

■ Your dream must come true. 君の夢はかなうに違いない。

これも「夢がかなわなければならない」ではおかしいですね。

常に頭を柔らかくして意味を幅広く考える習慣を身につけるようにしましょう。

grammar>>018

助動詞 do = 強調の意味を加える

英語の順番と言えば？ 主語＋動詞でした。

■ He plays tennis. (he が主語、play が動詞)

あるいは主語＋助動詞＋動詞になります。

He can play tennis.

(he が主語、can が出来るという意味を加える助動詞、play が動詞)
では次の文章はどういう構造になるのでしょうか？

『The heart does go on.』

主語 = the heart + 動詞 = does。

あれ？ おかしいですね。動詞の go が余ってしまいますね。この場合は主語 + (助動詞) + 動詞と考えればすんなり理解出来ます。つまり「主語 = the heart、助動詞 = does、動詞 = go」ですね。

では、こういう「**助動詞としての do (あるいは does)**」は、どういう意味を持つのでしょうか。答えは「**強調の意味を加える**」のです。従って次の様に訳し分けることになります。

■ The heart goes on. 愛は続いていくの。

■ The heart **does go on**. 愛は**本当に**続いていくの。

尚、助動詞は普通は弱く発声しますが、この場合は強いアクセントにして下さい。

■ I agree with you. 賛成だよ。

■ I **DO** agree with you. **本当に**賛成だよ。

又、注意していただきたいのは do が助動詞の場合、**助動詞の後は「動詞の原型」**になることです。従って現在の話でも 3 人称単数の S はつきませんし、過去の話でも動詞は過去形ではなく原型を使います。

例 『彼は本当にテニスをする』

○ ▶ He **does play** tennis.

× ▶ He does plays tennis.

例 『本当に彼に会ったよ』

○ ▶ I **did meet** him.

× ▶ I did met him.

column : 08

ビジネスの手紙

英国ではまだ「身分制度が残っている」かのごとく感じます。中学を出て15才で働く者も珍しくありません。ロンドンオフィスはオープンしたばかりで利益も出せない為、賃金の安い15才の青年も雇っていました(経験不足に一抹の不安を感じました)。受付の女性も16才でした。派手な化粧で20才にしか見えませんでした…。正社員僅か10名の内の一人で、倉庫の配送管理を担当していたのが15才のトム。人手不足なのでお客さんとの対応も生じます。

マネージャーのピーターから頼まれました。

「トムの英語の手紙を添削してやってくれよ」

(ムリ!! 冗談でしょ)

「見れば分かるって。お前なら出来るから頼むよ」

(ネイティブの英語を直す? 出来る訳ないよ)

ともかくトムの手紙を見た所、(ひ、ひどい)。それはこんな感じ。

Thanks your letter. I send you price.

訳: 手紙有難う。値段を送ります。

はああ…。お説教じゃないけど、先ずビジネスの基本からお話をしてあげることにしました。その前に私が添削した文はこんな感じです。

Thank you very much for your request for quotation dated April 25, 2007. Enclosed please find our price list on the spare parts for the Cordless Phone P/N GCR523T.

Sincerely looking forward to hearing from you soon.

Best regards,

訳: 2007年4月25日付けの見積もり依頼を頂き有難うございます。私共のコードレス電話モデル番号GCR523Tの補修部品の価格表を同封しました。早急なご返信を楽しみにお待ちしております。敬具

ここからトムへの説明(皆さんにもきつとご参考になるでしょう)。

「あのねえ、友達への手紙じゃないんだから Thanks your letter. はないよね」

「文法的にも Thanks の後に for を入れた方がいいよね」

「ビジネスでは相手もたくさん手紙を出しているから、具体的な"日付"を

便利な一言

文法

語源

(付録) エッセイ

入れてあげると親切なんだよ」

「単に"値段を送ります"だけじゃダメなんだよ。我々の"具体例な"製品番号も入れてあげなくちゃね。行き違いの生じないように」

「そして回答を待っていることと最後の簡単な挨拶を入れるのがマナーだよね」

トムは目を丸くして、「そんな風を書くんですね」とひたすら感心していました。ピーターとこの件を話した結果「この種の手紙は私が書き、若いスタッフの文章も必ず目を通す」という結論になりました。

このことから皆さんは何を感じましたか。「言葉以前」の知識がビジネスでは大切なんですね。

grammar>>019

形容詞 some = 具体的、any = 何らかの

映画を見ていたらこんな場面がありました。主人公が殺人犯に追われています（私の訳をよく見て下さいね）。

Help! **Somebody!** Help! Help! **Anybody!!**

助けて！ **誰か!** 助けて！ 助けて！ **誰でもいいから!**

感じとれますか？ SOMEbody と ANYbody の違いがポイントです。

some と any の違いについて「some は肯定文、any は否定と疑問文」と習いましたね。しかし実際は some は疑問文でも使われます。

「**SOME = 具体的イメージ**」であり「**ANY = 何らかの**」と捉えてみましょう。

例えば転んでケガをした人がいて「お助けしましょうか」と声をかけるとします。以下の文は思い切った意識をしましたので、違いを比べてみて下さい。

■ Do you need some help? お助けします！

■ Do you need any help? 大丈夫ですか？

この場合 some は「具体的イメージ」として助ける必要を感じていま

すが、any は「もし何かあるなら」お手伝いしましょうと申し出ています。従って次の文ならば疑問文だけれども some が適切であることが分かりますね。

■ Would you like **some coffee**? コーヒーはいかがですか。

some と any は混乱しやすいので、もう少し例文で補足しますね。「**any = いかなる**」と理解すれば、どの訳文もしっくりくる筈ですよ。

■ I like some music. 好きな音楽がある。

■ I like any music. どんな音楽も好きだ。

■ I don't like some music. 好きでない音楽もある。

■ I don't like any music. どんな音楽も好きでない。

■ Do you have some money? 少しばかりお金持つてる？

■ Do you have any money? ちょっとでもいいからお金ある？

grammar>>020

形容詞 文頭の some = そういう場合もある

形容詞としての some は「幾つかの」という意味が基本ですね。

■ I have some pens. 私は何本かのペンを持っています。

しかしそれでは意味が通じない場合があります。次の文章はどう訳しますか？

『Some students in Australia study Japanese.』

some = 幾つかの、と考えると「オーストラリアの数人の生徒は日本語を勉強する」という訳になりますね。数人しかいないなら「ほとんど誰も日本語を勉強しない」という意味に受け取れてしまいますね。実際にはこういう意味です。

■ 「オーストラリアには日本語を勉強する生徒もいる」

覚えておいていただきたいのは **some** が文頭にあると「**そういう場合もある** (そういう人もいる)」という一般論を表現することが多いのです。

もう少し別の例文も見て感覚を養いましょう。

Some people stay home and others go out.

外出する人もいれば家にいる人もいる。

Some people die young.

若死にする人もいる。

Some flowers are blue and others are red.

青い花もあれば赤い花もある。

分かりますか？ 確率は1%か50%か、そういうことは問題にしていないのです。そういう場合もある、そういう人もいる、ということ表現しています。someが文頭にある場合には注意を心がけるようにしましょう。

grammar>>021

形容詞 few, Little =ほとんどない

someで取り上げた例文をもう1度見てみましょう。

Some students in Australia study Japanese.

日本語を勉強する生徒もいる。

では、もしも日本語を勉強する生徒が「ほとんどいない」場合にはどう表現すればいいのでしょうか。それは以下のように言います。

Few students in Australia study Japanese.

日本語を勉強する生徒は**ほとんどいない**。

a few (数えられるもの) と a little (数えられないもの) は「少しの」という意味で、こういう風に使いましたね。

I have a few pens. 数本のペンを持っている。

It rains a little. 少しだけ雨が降っている。

しかし僅かの違いのようですが a のない few, little は「ほとんど～ない」という意味になります。

I have **little** time. **ほとんど時間がない**。

■ **Few** of the answers were correct. 正しい答はほとんどなかった。
ただし「quite a few = かなりたくさん」です。口語でよく使われま
すので注意をして下さい。

■ There are quite a few students in this school.
この学校にはかなりたくさん生徒がいる。

grammar>>022

形容詞 **such a** = 感嘆文的な表現

いわゆる感嘆文は、こういう表現になりますね。

■ How cute she is! 彼女はなんて可愛いんだ！

■ What a cute girl she is! なんて可愛い娘なんだ！

文法的に感嘆文ではないのですが、こういう風にも言えるんですよ。

■ **Such a cute girl!** (なんて可愛い娘だ！)

では cute の様な形容詞がない場合にはどうしたらいいのでしょうか。
次の文を見て下さい。

■ Such a feeling is coming over me.

文脈にもよりますが「なんて素敵な気分が訪れたんでしょ」と考え
られます。つまり「such a ~ (名詞)」で「とても良い(悪い) ~だ」
という感嘆文的な表現になるのです。意味が想像出来る文をあげてみ
ましょう。それぞれの文の () 内は省略されることもある単語です。

■ We had such a (good) time. とても楽しい時間を過ごした。

■ (I felt) such a (terrible) pain. ひどい痛みを感じた。

■ (He is) such a liar. ひどいウソつきだ。

では次の文はどうでしょうか。

『**Such a boy!**』なんて子どもだ！

この場合には「**文脈で**」意味が決まります。大抵の場合には「なんて
素晴らしい子ども」で使われるでしょう。しかし「なんてとんでもな
い子ども」という意味で使われる場合も考えられます。

grammar>>023

進行形 ~ing = 生きた表現

おなじみのあいさつ How are you? (元気ですか) いい言葉ですね。ところでこれは少しカタイ感じもします。友だち同士でも使いますが、どちらかと言えば、How's going? (どう?) とか How are you doing? (元気にしてる?) のほうが親しく**生き生きした**感じがします。両方に共通しているのは「ing」が**ついた表現**ということですね。ところで現在形というのは、今というよりも「一般的」なことを表現します。

■ He plays tennis well. 彼は上手にテニスをする。

この文章で表現しているのは「彼はテニスが上手な人だ」という事実で、今テニスをしている必要はないわけです。これに対して、

■ He is playing tennis.

ならば正に今テニスをしていることになります。

実は我々の日本語でも会話は進行形を主に使っていると思いますよ。

何をするの⇒何をしているの、TVを見るよ⇒TVを見ているよ

ほら! 「している」という進行形の方が会話が生き生きしていますよね。英語の会話にも進行形がたくさん使われていますし、皆さんも使ってみるようにしましょう。

さて、そうは言うものの進行形に馴染まない表現というのもあります。例えば次の文、

■ What sport do you like? 何のスポーツが好きですか。

これを What sport are you liking? と言うのはおかしいのは分かりませんか。

それは「好く」と言うのは行為というよりも継続的な感情だからです。「今から5分間好きになって、今夜は休憩しよう」という類のものではないですね。だから進行形には馴染みません。

ところが！言葉は生き物です。CMで次のセリフを耳にしたことはありませんよね。

■ I'm loving it! ハンバーガー大好き！

そう、マクドナルドのCMです。おかしいですね、愛する愛さないは進行形に馴染まない苦でしたね。しかし！文法はずれの表現ですが、やはりこの方が「生き生きした表現」になるので敢えて使うことで印象深いコピーになったんですね。

column : 09

ナイアガラの滝

アメリカ五大湖のエリー湖とオンタリオ湖をつなぐナイアガラの滝。私のいたNY州ロチェスター市はオンタリオ湖に面した田舎の地方都市。アメリカを代表する企業KODAKとXEROX本社のある企業城下町でもありました。しかしこれと言って観光する所ありません。だから日本からの来客があると、必ずと言っていいほど車で1時間半かけてナイアガラの滝に観光にお連れしたものです。その数50回位かな。

滝はアメリカ側とカナダ側に分かれています。美しく一望出来るのはカナダ側なのでアメリカから行く時はパスポートを忘れないで下さいね。

滝につくとエレベーターで50m降りて滝の裏側の洞窟から膨大な降水を体感出来ます。また船で滝のすぐそばまで近づけますが、カッパを全身にまともせず濡れになって楽しいですよ！

街中には大橋巨泉のお店があつて（このおっちゃん儲けてんなあ）というのはちと余談ですね。

ナイアガラの滝 (Niagara Falls)。滝は英語でfallですね。ではなぜ秋=fallなのでしょう。秋になると木の葉がハラハラと舞い落ちますね（ポテッと落ちないね）。その様子からという説があります。滝もポテ！じゃなくて流れて落ちる様子を思い浮かべましょう。

だから同じ「落ちる」でも「drop =ポテッ」「fall =はらはら～」という違いですね。ちなみにfall in loveは「恋に落ちる♥」そりゃまあポテッと落ちる恋もあるかもしれないけど。皆さん最近恋に落ちていますか？

grammar>>024

未来形 will と be going to

未来を表す助動詞は will = be going to と習ったと思います。間違っているのではないですが完全にイコールではありません。**will = 意志**でしたね。それに対して **be going to は予定**と考えましょう。

■ I'll go to NY next year.

■ 来年ニューヨークに行くつもりです。

■ I'm going to NY next year.

■ 来年ニューヨークに行く手はずが整えてあります。

しかし will は少しカタイ印象があることから、実際の会話には be going to あるいは寧ろそれを短縮した gonna という表現がよく使われます。I'll stay in Kyoto. よりも I'm gonna stay in Kyoto.の方がくだけた感じでよく使われると思います。

では次の文章を見てみましょう。

■ I really thought we were going to lose Nancy.

■ 本当にナンシーを失う（死んでしまう運命）かと思った。

ここでは would (will の過去) ではなく be going to (そういう方向に進んでいる) が使われることで「より切実な」思いが感じられますね。では最後に「進行形を使った未来表現」を見てみましょう。

「明日カナダに出発します」を英語にすると、このように表現出来ますね。

■ I'll leave for Canada tomorrow.

あるいは、

■ I'm going to leave for Canada tomorrow.

どちらも 100% 正解なのですが、次の表現も可能です。

■ I'm leaving for Canada tomorrow.

どうですか、この進行形の方が「心はもう既にカナダに向かっている」という生き生きした印象を受けませんか？

grammar>>025

部分否定 not really = あまり～でない

息子がガールフレンドを連れてきました。ところが、あまり印象がよくありませんでした。このような場合に以下のどちらで表現するのが適切でしょうか。

- ① I really don't like her.
- ② I **don't really** like her.

上の文は「本当に彼女のことを嫌い」下の文は「あまり彼女のことを好きでない」になりますから、例え親子の間でも下の文（**あまり好きでない**）を選んだ方が良さそうですね。

ポイントは一つです。「not は直後を否定する」と覚えましょう。①の文は like を否定することで「好きでない」ということを意味し②の文は really を否定することで「それほどには」という意味になります。not really の様な表現を部分否定といいます。日本人の好む「曖昧な表現」に通じる面がありますので、活用してみてもはどうでしょうか。

He is not always late for school.

彼はいつも学校に遅刻するわけではありません。

実際にはちよくちよく遅刻しているのかもしれませんが、この表現なら柔らかくて当たり障りがない感じがしますね。

又よく使われるのが **not very あるいは not so** で「**あまり～でない**」という表現です。

I'm not so good at playing tennis.

あまりテニスが得意ではないです。

テニスが全くダメと言っているわけではないですね。それほどうまくないですよ、という謙遜した表現です。いかがですか、日本人にしくりくる表現に感じませんか。

grammar>>026

現在完了 have + 過去分詞 = 生き生きした表現

～ing という進行形は生き生きした表現になりましたね。同様に「**現在完了も生き生きした表現**」であり、会話では**現在形や過去形よりも頻繁に使われています**。

まず現在完了とは、現在につながる行為であり「**現在に重みがある**」ことをしっかり認識しておきましょう。以下の例文の状況を比較してみてください。

- I got sick yesterday. 昨日病気になった。(⇒過去の事実)
- I was sick yesterday. 昨日病気だった。(⇒今は分からない)
- I am sick. 病気だ。(⇒過去は分からない)

もし昨日から「今に至るまで」具合が悪い場合、単純な現在形や過去形では表現出来ず、それを表現するには次のように現在完了形にするしかありません。

- I have been sick since yesterday.
昨日からずっと病気だ。(⇒今に至るまで病気)

このように「昨日から今に至るまで」ということで、状況が明確に相手に伝わりますね。これはいわゆる「**継続の現在完了**」という形です。では次に「**完了の現在完了**」ですが、やはり今につながる「**現在に重みがある**」ことが特徴です。以下の例文の状況を比較しましょう。

- I came home. 帰宅した。(⇒単純な過去の事実)
- I am home now. 今家にいる。(⇒単純な現在の事実)

これを現在完了で結びつけると、

- I've just come home.
ちょうど帰宅した。(⇒そして今も家にいる)

どうですか。「**現在完了が1番生き生き**」と今に至る状況を表現していますよね。

はい、では以下の例を見てみましょう。

■ Did you watch the movie? あの映画観た？

■ Yes, I watched it yesterday. うん、昨日観たよ。

いかがですか。単に「過去の事実」ですから、会話がそこからはずみ
にくいと感じませんか。それに比べて以下の会話はいかがでしょうか。

■ Have you watched the movie yet? あの映画もう観た？

■ Yes, I've already watched it! うん、もう観たよ！

「もう」観たことで会話が生き生きしていると感じませんか。

grammar>>027

5W1H to + 動詞 = すべき

should の説明で使った例文を思い出しましょう。

■ Kyoto is a place to visit. 京都は訪問すべき場所

■ (Kyoto is a place you should visit. = 訪問するといひよ)

でしたね。

名詞 + to + 動詞 = ~すべき (名詞) は意外によく使われます。

■ It's time to go to bed. 寝るべき時間よ。(寝た方がいいわよ)

■ He is a guy to see. 彼は会うべき人物だ。(会ってごらんよ)

注意すべきは前置詞を伴う場合ですね。

■ He has no house to live in. 住むべき家

■ I have no friend to talk with. 話をする友人

■ Bring a chair to sit on. 座る椅子

さて今回は 5W1H + to + 動詞です。やはり「~すべき」というのが
適切な訳になります。理論で考えるより、実際の例文を見るのが理解
しやすいと思います。

■ I don't know **what to do**. = I don't know what I should do.

■ **何をすべきか**分からない。

■ Tell me **when to leave**. = Tell me when I should leave.

■ **いつ出発すべきか**教えて。

Show us **where to go**. = Show us where we should go.

■ **どこに行くべきか**教えて。

意識の方法は色々ありますが、全て「～すべき」が基本と考えれば理解しやすいですよ。

■ I don't know how to drive.

■ 運転の仕方（いかに運転すべきか）が分からない。

grammar>>028

5W1H + ever = たとえ～でも

5W1H (what, where など) + ever は「例え～でも」という表現で、愛を語る歌詞に大変よく使われます。次の愛の詩を見れば感覚がつかみやすいと思いますよ。

I love you 愛しているよ

wherever you go 君がどこに行こうとも

whatever you do 君が何をしようとも

whoever you are 君が誰であろうとも

もちろん愛の歌だけでなく、日常でもこんな風に使われますよ。

■ You may leave **whenever you like**.

■ いつでも**お好きな時**にお帰りになっていいですよ。

■ What would you like to drink? **Whatever**.

■ 何をお飲みになりますか。 **何でも**結構です。

この whatever は 1 単語ですが、正に「何であろうとも」という意味ですね。ちなみに実際には、

■ Whatever you recommend.

■ お勧めのものなら何でもいただきます。

と言った方が丁寧でいいかもしれませんね。

column : 10

ベルギーの高速道路

ベルギーの高速道路（当然だけど無料ね）の制限速度は時速 120km。しかし流れは 130 ~ 140km！ フォルクスワーゲンゴルフに乗っていましたが、固めのシートとハンドルが高速での安定感を生んでいました。（なるほど、生活が違くと車の設計の発想が異なるんだ）と感心しました。

ブリュッセルから花と水の都ブルージュまで何度も往復しました。しかしいい気分で時速 160km、時には 180km で飛ばしては、高速道路の監視カメラに捕まって罰金を払ったものです。ちゃんと失敗から学習すればいいのに、ついつい高速運転が快適で、懲りないやつでした。あなたの周りにそんな「懲りない人」がいた時の表現をご紹介します。

He never learns! (こりないやつちゃ！)

grammar>>029

5W1H 疑問文の作り方

疑問文の作り方の基本は「**5W1H の後ろに疑問文を持ってくる**」ということです。具体的な英作文で考えていきましょう。

① あなたはどこに行きますか

5W1H、つまりこの場合は when（どこ）が文の先頭に確定します。次に残りを肯定文（あなたは行きます）にすると you go になりますね。そしてそれを疑問文にすれば do you go これを when の後ろに持ってきて完成です。

■ 正解：Where do you go?

② あなたは何がしたいですか

5W1H、つまり what（何）が文の先頭に来ます。次に残りの肯定文（あなたはしたい）にすると you want to do ですね。これを疑問文にして do you want to do を what の後ろに持ってくれば完成です。

■ 正解：What do you want to do?

いかがですか？ 5W1H の後ろに主語・述語のある疑問文を持ってくれ

便利な一言

文法

語源

（付録）エッセイ

ばいいですね。しかし「主語がない」場合もありますので気をつけましょう。

③ 何が起きたのですか

5W1H、つまり what (何) が確定。しかし主語がないですね。従って「what が主語になり」 happened (起きた) をそのまま後ろに持ってくるしかありません。

■ 正解： What happened?

④ 誰が窓を割ったのですか

5W1H、つまり who (誰) が確定。しかし主語がありません。…と言うよりも主語が分からなくて尋ねている疑問文です。やはり③同様に「who を主語扱いにして」文を完成させます。

■ 正解： Who broke the window?

もっと複雑な形もありますが、まずは 5W1H の疑問文を作る基本的なルールをしっかりと身につけましょう。

column : 11

イタリアでスキー

ブリュッセル南駅 (Bruxelles-Midi (仏語)) を金曜日の夜 8 時に出発する夜行列車に乗る。真夜中にドイツでの検問を終えると、翌朝 6 時にはスイスに着く。憧れのスイスでのスキー。それはベルギーでの週末の最高の楽しみだった。スイスの美しい町ツェルマット。マッターホルンのふもとだ。登山列車に乗り換え、数十人を運ぶ大型のケーブルカーに乗る。富士はニッポンいちのやま♪ しかしその富士山の 3776m より高い 3800m を越す地点までケーブルカーで着く。それはマッターホルンまであと少しのクライネマッターホルン。マッターホルンのスキー場は「スイス側」と「イタリア側」チェルヴィーノに分かれている。私はイタリア側が好きだ。なぜならイタリア人が好きだから…。

20 才の時だった。バックバックでヨーロッパを電車で旅行していた。泊まるのはいつも 1 泊 2000 円前後のユースホテルだ。フィレンツェの

ユースでは高校生の集団と仲良くなった。言葉は通じないのに愉快的な連中だ。夜は一緒にディスコに繰り出した。夜の11時にユースに着くとユースは門限でもう閉まっている。彼らは迎えのバスで明るく去って行った。「チャオ!」。憎めないステキな連中だった。ナポリでは駅前の観光タクシーが客引きで集まってきた。3時間で15000円相当だという。値引きを頼むと半額でいいという。冗談で「10分の1の1500円ならいいよ」と言うと、笑顔で「よし決まりだ!」。…なんていい加減なんだ。笑えてきちゃう。

イタリアではお昼休みが長い。働かないやつらだ。でも底抜けに明るい。日本人のあくせくが嫌になる。いいかげんなやつら大好き。イタリア万歳!

そんな大好きなイタリア。スキー初心者だったからスキー教室に入った。お互いに中途半端なフランス語しか通じないのに、やたらと話しかけてくる。めんどくさいから、あつちはイタリア語、こっちは日本語で、見ようみまねで、とにかくコミュニケーションがとれる所がすごい。スキー教室の最後はクラス対抗でボーゲンで滑る100m競争だ。同じクラスの子達が、こんな見知らぬ日本人のおぼっちゃんに大声援をしてくれる。必死で滑った。そしてなんと「優勝」しちゃった! 握手はしてくるわ、抱きついてくるわ、キスしてくるわ。言葉なんて関係ないね。幸せの絶頂だ。その時の写真は今でも大切な宝物だ。じゃあね、チャオ!

便利
な
一
言文
法語
源〈付録〉
エッセイ

grammar>>030

5W1H whom と who の違いとその省略

先ず具体的な文例をお見せしましょう。最初が1番やわらかい実用的な口語、そして後になるほどカタイ文語になります。

『君が話していた男の子はトムです』

- ① The boy you spoke to is Tom.
- ② The boy who you spoke to is Tom.
- ③ The boy whom you spoke to is Tom.
- ④ The boy to whom you spoke is Tom.

① 会話のほとんど ② たまに使う程度 ③ 学校で習う文法 ④ 契約書で使う程度

別の例文も見てみましょう。

『誰と行ったの?』

- ① Who did you go with?
- ② With whom did you go?

いかがですか。①の方が明らかに単刀直入で分かりやすいですね。

以上、実用的な使い方について述べてきました。しかし今後英語のビジネスを使った世界にチャレンジを考えている人は、関係代名詞の正確な文法をしっかりとつかんでおきましょう。契約書を扱ったり、あるいは応用を必要とする場面には文法知識は欠かせないものですからね。

grammar>>031

ビジネス英語、通訳を目指す人に

「通訳」という一般的な仕事があるのでしょうか。Yes そして No でしょう。「観光通訳」「技術通訳」などの専門通訳はあっても、全ての分野を通訳するのは不可能ですね。私の一番の得意分野は技術通訳かもしれませんが。アメリカ・ヨーロッパとの共同開発（から製造・品質管理

まで)に主に関わり、技術者と旅をしてきました。不良品の修理の為にオランダでハンダごてを持って技術者と一緒に部品交換をしました。逆に苦手なのは、接待などの通訳。だから会食をして a kind of white-fish (白身魚の一種だよ) などとエエカゲンなことを言って逃げてしまうのは実話なんですよね。しかし技術の話は「好き」だから楽しい、それで一生懸命勉強するんですよね。実は「技術」と一言で片付けるのも大きな間違いなんです。主に関わった製品は、

- プリンター (inkjet, laser, thermal, dye sublimation)
- カメラ (optical, APS, digital, SUC)
- スキャナー (document, film)
- 無線通信 (cell phone, landmobile, marine, CB)
- 部品 (LCD, IC, motor, battery, lamp, etc.)

実はこれでも非常に大雑把な分類で、inkjet でも piezo (圧電) bubble など方式が異なり IC でも集積度が異なれば別世界。業界人には「常識」でも、学校では全く習わないような単語がたくさん出てきます。yield rate (生産歩留まり率) inertia (モータの慣性力) とか。そして当然ながら日本語で分からないことが英語に出来る苦がない!! 従って技術者との綿密な打ち合わせが生じます。thermal (熱転写) と dye sublimation (昇華型) の方式の違いは何か、などの基本知識や電氣的・機構的な設計の理解、専門技術用語の把握、技術的懸念事項の確認。仕事ではあつたけれど「好き」だから出来たことです。

私はバイリンガル家庭で育ったわけでもなく、公立中学校で生まれて初めてABCから覚えた、ごく普通の日本人です。だから発音も大したことないし、スラングも知らないし、苦手、覚えようもしない(でも技術用語は好き♥)。

では「バイリンガル=仕事出来る」のかと言えば、全く違うんですよね。こんなこともありました。

取引先の商社の完全なバイリンガルが通訳を買って出たのですが、技

術内容を理解していない為全く役にたたず。英語は下手だけど「中身は通じる」私にバトンタッチして無事に打ち合わせを終えられました（会議後のお食事会ではバイリンガルが大活躍、わたしは黙々と食べるだけ）。しかし世の中には「本当の通訳」っているんですよ。だが基本は同じ。そういう方は「打ち合わせ」「勉強」「準備」を繰り返して本番に臨みます。

結論、何が言いたい、っていうとね。学校の勉強で終わりじゃあない、っていうこと。社会に出てからもずっと勉強の連続。そして自分の「得意な分野」あるいは「好きな分野」を持つこと。何でも屋さん、結局何の役にも立たない。英語屋さんは便利屋さんで終わっちゃう。英語「+α」を持つ！+αは経理知識でもいい、音楽でもいい、スポーツでもいい、技術的興味でもいい、ファッションでもいい、何でもいいんですよ。学生時代に何でもいい（遊びでもいいんですよ）から何か好きなことを見つけて下さいね。きっとそれは将来の大きな財産になりますよ。



grammar>>032

ビジネス英語、契約書

ビジネスのお話です。技術に次いで大きく関わってきたのが「契約」です。新製品の共同開発には主に次の契約が伴いました。

- NDA = Non Disclosure Agreement 守秘義務契約
- Development Agreement 開発契約
- Supply Agreement 供給契約

日本の会社間でも同様の契約書は交わしますが、アメリカ企業との契約では何が一番違うと思いますか？ それは「ページ数が多い！」。日本の契約は「両者が誠意を持って協議する」のような漠然とした（なあなあの世界？）文言の羅列が多いのですが、英文では実に微にいり細にいり。供給契約書ではA4に40～50ページの契約がざらでした。「守秘義務」というのが又非常に大切なんですね。お互いに知り得た技術を他に転用しない、もしそれが生じた場合は米国△△州の法律によって裁定する、などの詳細を記載。（米国では転職もよくありますので、それが背景にあるのかも）。ちなみに日本企業は arbitration（仲裁条項）の方を好みます。しかし「仲裁」には法的強制力が生じないのでアメリカ企業の主張で Governing Law（準拠法条項）を定めることに落ち着く場合が多いでしょう。契約にはまた学校で習わない専門用語が出てきます。Force Majeure（不可抗力免責事項）（majeure はフランス語からきているのかと推測します。普通の辞書には載っていないですね）。例えば戦争・地震などの事態で生じた納期遅れは責任や賠償の対象外とする、という内容で、供給契約には必ず記載されます。AQL = Acceptable Quality Level 品質に完璧ということは有り得ないわけで、サンプル抽出で品質（不良品発生率）について major, minor のレベルを業界標準の規定で合意します。それに対して補修期間、代替品供給あるいは賠償について定めます。FCL = Full

便利な一言

文法

語源

（付録）エッセイ

Container Load、LCL = Less Container Load。コンテナ船に満載（FCL）、混載（LCL）の場合の積荷規定、運輸会社の特定など Logistics（物流）の規定。LC = Letter of Credit（支払い）について信用状取引の規定、TTB = Telegraph Transfer Buying、TTS = Telegraph Transfer Selling（通貨及び為替）についての規定。つまり契約の話を進めていくには法律知識だけではなく財務、物流、品質管理などの総合的な知識と理解が必要とされます。これらは学校で通常は習わないことですので、実務の中で学んでいくしかありません。要するに「ずっと勉強の連続」ということですね。

契約の話も好きでキリがないので、ここらにしておきますね。

Au Revoir!（オールポワール；フランス語）またね。



英 良 話
旅 弄



語 源

{ etymology }

語源は好奇心から

何でもそうですが、苦労しないで（勉強しないで）身についたら…これほど楽なことはないですね。ではどうして私達は日本語が身につけているのでしょうか？ 毎日使っているから、ですね。

輸入⇄輸出、入口⇄出口、入国⇄出国。つまり「入」は入ること、「出」は出ること！ あたりまえに感じて…それが「語感」なのです。

でも、英語でも自然と皆さん身につけているかもしれませんよ。

input ⇄ output、indoor ⇄ outdoor、inside ⇄ outside。

今さら言わなくても…というくらい当然に、in = 入 ⇄ out = 出、と感じていますね。これにプラスして、ほんのちよっぴり「好奇心」というスパイスを加えてみましょう。

入口は英語で entrance なのに出口は exit です。なぜ ex からなんだろう？ って疑問に思いませんか？ それは **ex = 外** へという感覚があるからです。例えば、内装 = Interior ⇄ 外装 = **EX**terior。収入 = Income ⇄ 支出 = **EX**penditure などたくさんあります。

これを知ったら…いや、「理解」したら、（わあ、面白い！）と無理やりにも？「感動」すると思うんです。出来れば好奇心を持って「自分で法則を見つける」と1番いいんです。さっき取り上げた **EN**trance = 入口。これはなぜ **IN**trance じゃないの？ 不思議に思いませんか？

EN にも「中に」という語感があるからじゃないかな？ …と試してみると **EN**close = 封「入」する、**EN**roll = 「入」会する（…やっぱりね！）。

そして「中に」という積極性から **EN**able = 可能にする。**EN**courage = 勇気づける、**EN**danger = 危険にさらず、という能動的な意味を加えることもある…と推測を広げていくことが出来ます。

一つずつを暗記するのは大変ですし忘れてしまいます。でも自分で関

連づけて「理解」したことから、ずっと覚えていることが可能です。では最後の問題です。英語で「遠足」は何と言うのでしょうか。正解は **OUTing** あるいは **EXcursion**。ほら!! 気づきましたか? 室内であれば遠足とは言わないですものね。やっぱり **Out** や **Ex** は「外」なんですわね。



【in = 内側 と ex = 外側】

いい天気のある日。犬さんと猫さんがお話をしています。

犬さん「外でサッカーしよ」

猫さん「内でTVがいいよ」

犬さん「アウトドアだよ」

猫さん「インドアがいい」

結局サッカーをTVで見ることにした仲良しの2人です。あれ? サッカーの話で盛り上がっていますよ。

犬さん「アウトサイドキックだね」

猫さん「インサイドキックだよ」

…なんだか似たような言葉が出てきましたね。**アウトドア**⇔**インドア**。**アウトサイド**⇔**インサイド**。どちらも共通してるのは **Out = 外**、**In = 内**。これはもう日本語みたいなものだから、皆さんもう知っていましたよね! 今日はもう一つ便利なのを覚えてみましょうか! **IN = 入**、**EX = 出**、です。

INternal = 内側⇔**EXternal** = 外側。**INclude** = 内に含む⇔**EXclude** = 除外する。ex から始まる言葉には **EXit** = 出口、**EXport** = 輸出する、**EXtract** = 抽出する。いかがですか。ex = 「出」を含む意味の言葉がたくさんありますね。ちなみに ex-wife = 元奥さん、ex-husband = 元旦那という使い方もあります。



〔EN 対 DE〕

EXは能動的というお話をしました。**EN**は更に能動的ですから、合わせて覚えておきましょう。**ENlarge** = 大きく (large) する。**ENrich** = 豊か (rich) にする。**ENcode** = 暗号 (code) にする。ちなみに encode の逆は **DEcode** = 非暗号化する。ではこの単語も「推測」出来ますね。**ENable** = able 「にする」、すなわち「可能にする」です。

en が直接的に「にする」という意味を持たなくても、能動的な意味をもった例として **ENhance** = 広げる、増加する、**ENdeavor** = 努力する、**ENergy** = エネルギー。こうして並べてみると、前向き・積極的な単語ばかりですね。

ちなみに **de** は受動的です。increase = 増やす ⇔ **DEcrease** = 減らす。offense = 攻撃 ⇔ **DEfense** = 防御。**DEbt** = 借金、負債、**DEath** = 死亡、**DEceive** = だます。受け身でネガティブな意味の単語が多いですね。ただし de で始まる = 消極的とは限らないので注意しましょう。**DEcontaminate** (汚染を de = 否定する) = 浄化する。**DEfrost** (霜 = frost を否定する) = 解凍する。



〔pre = 前〕

北京オリンピックは盛大に終わりましたね。上海、そして中国南部の香港に接したシンセンには取引先の工場があり、何度も訪問しました。上海の五つ星の最高級ホテルに宿泊した時のこと。朝に部屋を出たものの、忘れ物をして部屋に戻りました。既に清掃の人が入っていました。バスルームに入って驚きました！ コップと灰皿と一緒に洗面台で洗っているのです。ニコニコとして…当然のように。後で「消毒済」の紙に包装され、コップは部屋に鎮座するのでしょうか。まさか上海の、

それも五つ星のホテルまでがこんな衛生観念とは！

シンセンにはよく香港の人と一緒に出張しました。香港の人はシンセンで食事をする時には必ずコップをお湯で消毒(?)し、そして持参したハンカチでコップの周りを拭いてから使っていました。「なぜ?」「このくらいに気をつけなくちゃ病気になるよ」。…「安全」は人に頼らず自分で確保するものなんですね。例えばシンセンの田舎のトイレの様子とか…書かないでおきましょう。中国食品の中毒問題が起きた時…あまり驚きませんでした。きっとそういう事はあると想像出来たからです。プレオリンピックは親しみある言葉ですね。本番に備え「事前に」予行演習をするんですよ。英語では **Pre-Olympic**。pre が Olympic にくっついている、ということは想像出来ますね。pre = 前 という意味を表わしています (接頭辞と言います)。

私が高校生の時に素晴らしい英語の先生がいました。頭の語 (接頭辞) + お尻の語 (接尾辞) が大切。そして **英語力 = 単語力!** その大切さを徹底的に叩き込まれました。

今でも鮮明な思い出があります。クラス全員を起立させ順番に当てて、単語を答えられなかった生徒から座っていくというゲーム。次第に難しく、教科書にない単語になります。だから意味を「想像」しなければ分かりません。ついに私ともう一人の2名だけになりました。そして全く初耳の単語 **PREceded!** (分からない…) でも答えたのです。今までの教えから必死に推測して「先立った」と。そして…正解！なぜ分かった、というより当てたのでしょうか。pre = 先に、cede = 行く、それが語尾が ed という受け身だから「先に行ってしまった」。だから「先立った」という意味を推測したのです。

pre = 先、あるいは前。これを覚えるだけでも語彙力は飛躍的にアップするかもしれませんよ。**PREdict** (pre = 先に、dict = 話す) = 予測する。**PREjudge** (pre = 先、judice (judge) = 判断) = 先に判断、つまり先入観、偏見。ね！面白いですよ？

【pend =ぶらさがる】

「ペンダント」というアクセサリーがありますね。ブラブラとぶらさげますね。そう！ペンダント＝**PENDant**。ぶらさがるものなんですね。未解決の事項をペンディングと言います。**PENDING**＝宙に浮いて結論が定まらず、ブラブラした状態。付録のことをアペンディックスと言います。**apPENDix**＝後ろにぶらさがっている、というわけです。動詞も分かりやすいですよ。**dePEND**＝依存する⇒相手にぶらさがっている。**susPEND**＝中断、保留する⇒ブラブラした状態にする。ね！すべて **pend** = 「ぶらさがる」から理解出来ますね！

【manu =手】

おしゃれというのは人間の欲望や願望の一つなのでしょうね。首にリングをつけて、首が長いほど美人とされる有名な種族がありますね。あるいは舌に穴をあけて飾りをつけるとか。しかしそれを野蛮と言えるでしょうか。耳に穴をあけて飾りをつける、というピアス。最近はおしゃれでする人が増えてきたようですね。

でもね、オヘソにするのは気をつけた方がいいらしいですよ。朝起きてみたらフトンが真っ赤に…という書くもコワイ事態が起きることもあるらしいですからね。

さて、では質問です。「マニキュア」はどこにするものですか？おへそにしないですよ。あるいはおへそにしたらマニキュアじゃないですね。

MANicure (**MANI** =手、**cure** (care) =世話) =手の世話。だからマニキュアなんですね！

ところで車の免許はオートマ限定が増えてきましたが、オートマでないのは？**MANUal** = 「手」動でギアを切り換え、ですね。

「手」伝って！を日本語で「手を貸して」とも言いますね。つまり Give me a hand! しかし Give me a leg! …とは言わないですよ。そのくらい「手」というのは言語を問わず大切な存在なんです。

manage = 会社や事業を司る、は **MANage** = 「手」で御する⇒経営する、からきています。あるいは manuscript = 原稿、は **MANuscript** = 「手」で書かれたものからきています。どうでしたか？

manu = 手。この意味を含む言葉は意外に身近に多いですよ！



〔ped = 足〕

手にするのはマニキュア。では足にするのは？ はい、ご存知の人は多いですね。ペディキュア = **PEDicure** (**PEDi** = 足、cure (care) = 世話)。そう、足の世話をするんですね。

自転車の「足」でごくところと言えば？ そう、ペダル = **PEdAl** ですね。歩行者、つまり「足」で歩く人は？ **PEDestrian**。

ちなみに ped ではないですが、足専門のお医者さんは foot doctor あるいは **PODiatrist** と言います。アメリカでは専門化が進んでいて、足の専門医がいることにはびっくり仰天しました。PODiatrist の POD も ped と関連があるように推測します。あと分かりやすい例では、ムカデ = **centiPEDe** (centi = 100、**PEDe** = 足) だから百足 = ムカデ！ ぴつたりはまりますね。



〔mo = 動く〕

スローモーションってどういう意味ですか？ そう！ ゆっくりした動きですね。**MOtion** = 動き。引越し屋さんの車体にたまに書いてありますが **MOVer** = 動かす人、引越し屋さん。**MOvie** は「動」画のことで、携帯電話のことを **MObile phone** とも言います。動くことの

出来る（移動出来る）電話。**MO**tivation は「動」機づけ。**MO**tor = 「動」かす、原動機ですね。

はい！！ モーだいじゃうぶ？



【sub = 下に潜って】

地下鉄のことを何と言いますか？ イギリスでは tube。初めて見るとびっくりしますね。普通（というかアメリカ英語）は **SUB**way です。

sub = 下に潜っている。はい！ では海に潜って行く潜水艦は？ 分かりますね。**SUB**marine ですね。では心の潜在意識は？ **SUB**liminal ですね。そして日常用語で覚えておいて欲しいのが sub という単語です。これだけ (sub) でサブマリン・サンドイッチを意味するんですよ。



【pro = 前方へ】

皆さん英語のお勉強は順調に進んでいますか？ 英語でそういう「進み方」を何と言うのでしょうか。**PRO**gress ですね。その進んでいる過程は？ **PRO**cess ですね。例えば人事異動で昇進することを **PRO**motion と言います。又、販売を促進することもプロモーションです。宣伝活動のことを **PRO**paganda と言います。飛行機や船を「前に」進めるものは **PRO**peller。

PRO = 前方へ。これも今後応用がきくから頭に入れておきましょう。



【con(m) = 完全に、共に】

何かゲームを制覇した時など、皆さんこう言いませんか。「コンプ」したよ！ って。英語で言えば **COM**plete したんですね！ では結論を出す、完全に締めくくるのは？ **CON**clude ですね。何かを共にする

(結合する) のは **COMbine**、あるいは **CONnect**。意見を共にする (同意する) のは **CONsent**。共にいる仲間とか会社、共同体は **COMpany**、あるいは **COMmunity**。もっと単純に「共通の」なら **COMmon**。

大体の雰囲気はつかめましたか。ちなみに con が基本ですが b, m, p で始まる言葉の前にくる時が com になります。上に述べた単語の例で確認しておきましょう。



【ad = ~へ向かって (前進して)】

晴れやかな秋の空。そよ風にゆれる草。のどかな1日の始まり。こんな日はやすらぎの日。でも心に傷があれば、後ろ向きにもなりそう。上を向いて歩こう。前を向いて歩こう。友の助言に耳を傾けて。

ADvance = 前進する、進歩する。 **ADvise** = 勧める、助言する。

ADmit (ad = ~へ、mit = 送る) = 受け入れる、認める。 **ADdress** = 宛名、話しかける。 **ADjust** (ad = ~へ、just = 正しい) = 調整する。

ADapt = 適応、順応する。

ほらね! 「前向き」の言葉ばかりですね!



【ac = の方へ (近づいて)】

ネットへのつながり方が悪い日、あるいは混んでいて近づけない日がありますね。それを何と言いますか? **ACcess** (アクセス) = 接近ですね。近づいてくる人やものを受け入れることは **ACcept** (ac = の方へ、cept = 取る) = 受け取る、受け入れる。 **ACcompany** (ac = の方へ、company = 一緒) = ついて行く。 **ACcustom** (ac = の方へ、custom = 習慣) = 慣らす、慣れさせる。 **ACknowledge** (ac = の方へ、knowledge = 知識) = 認める、承認する。 **ACcord** (ac = の方

へ、cord = 心) = 一致する (心の方へ)。

ね! ACは近づいていきますね。代表例の **ACcess** で覚えておきましょうね。

【dis = 向こうへ離れて】

アメリカで驚いたことはディスポーザが普及していたこと。いわゆる生ゴミ処理機。しかし環境問題を考えると日本の下水道はディスポーザの普及を前提としていない為に問題が多そうですね。

DISpose (dis = 離して、pose = 置く) = 処理する。DIS は単語の冒頭にきて反意語を作るのは馴染み深いですね。Agree ⇔ **DISagree**、appear ⇔ **DISappear**、like ⇔ **DISlike**。

しかし「dis = 離れて」という意味から推測出来るものも **DISpose** 以外にも非常に多いです。 **DIScover** (dis = 離して、cover = 覆う) = 発見する。 **DISclose** (dis = 離して、close = 閉じる) = 明らかにする。 **DISmiss** (dis = 離して、miss = 失う) = 捨てる、退去させる。 **DISplace** (dis = 離して、place = 置く) = とってかわる。

DIScourage (dis = 離して、courage = 意欲) = 意欲を失わせる。

そう思って dis で始まる単語を見てみましょう。そうするとその特性になんとかなく気がつくと思いますよ。

【trans = 移す】

飛行機を利用して海外に行かれた人も多いことでしょう。近くの国あるいはロンドン・ニューヨークのような大都市ならば直行便でいけますね。そうでない場合「乗り換え」が必要になります。乗り換えはトランスファー (**TRANSfer**) ですね。

TRANSport = 輸送 (ものを移す)。 **TRANSlate** = 翻訳 (言葉に移

す)。TRANSmit = 送信（電波などを移す）。更に分かりやすい例です。TRANSplant（trans = 移、plant = 植） = 臓器移植。ほら！ぴったりですね。

[inter = 間の(相互間の)]

スポーツでも勉強でも根を詰めすぎないで、少し間をあける休憩は必要ですね。バスや電車でも、連続では来ないで「間をあけ」ますね。それがインターバル (INTERval)。

厳密に区別する必要はないですが inter には「～間の」と「相互の」の2つの意味があると考えるといいでしょう。

① ～間

INTERstate highway = 州「間」の高速道路。バスケットなどで敵の間に入ってボールを奪うことをインターセプトと言いますね。**INTERcept** (inter = 間、cept = 受ける) = 間で受ける⇒邪魔をして奪う。**INTERvene** = 間で便宜をはかる=仲介する。**INTERfere** = 間に入る⇒邪魔をする。**INTERpret** = 間で話す⇒通訳する。**INTERcultural** = 文化間の。

② 相互の

高校総体をインターハイ、大学ならばインカレと言いますね。インカレは **INTERcollegiate** games = 大学相互間の試合。**INTERNational** = 国相互の=国際的な。**INTERcom** (inter = 相互、com = 伝達) = インターホン。**INTERrelate** = 相互に関連する。**INTERplay** = 相互作用。

どうですか？「間の」「相互の」と分けるのが混乱するなら、まとめて一語で「相互間の」と理解してもいいですよ。大切なのは、この「感覚」を身につけて、初めて出会った単語を推測する能力を身につけることです。

では次の単語はどういう意味でしょうか？

『INTERact、INTERchangeability』

INTERact (inter = 相互に、act = 行動する) = 相互に影響 (作用) する。**INTERchangeability** (inter = 相互に、changeability = 交換可能) = 互換性。

皆さん推測が出来ましたか？ 辞書を丸暗記なんて決して出来ないことです。だから「推測力」を身につけるのが大切。その為には「語源」の知識がきっと助けになってくれるでしょう！

〔retro = さかのぼる〕

名優・緒形拳。巨星が墮ちましたね。どんなに演技をしても人柄の良さが滲み出るような、古きよき時代を体現した名優だったのではないのでしょうか。ところで日本語の「レトロ」って何でしょうか？ retro-spective (回顧) から来た言葉であり、懐古趣味のことを指すようです。

RETROspective (retro = 遡る、spect = 見る) = 回顧、追想。

RETROactive (retro = 遡る、active = 有効) = 遡及力のある。

RETROgrade (retro = 遡る、grade = 階級) = 退化、逆行する。

RETROfit (retro = 遡る、fit = 合わせる) = 改善する (遡って合わせる)。

retro に似た単語がありますね。それは **RETURN**。ほとんど同じ感覚です。retro を使って、これからまだまだ「新たな造語」も生まれてくることでしょう。それが正に接頭辞の役割とも言えるかもしれません。

〔uni = 単一の〕

伝説の一角獣というのがいますね。一つの角を持っている獣。英語では何と言うのでしょうか？ **UNicorn** (ユニコーン) です。

uni = 一つ、というよりも「単一の」と捉えた方がより幅広く理解出

来ますね。**UNiform** (uni = 単一の、form = 形) = 制服 (単一の形の服ですね)。uniform には形容詞で「均一の、一様な」という意味もあります。**UNit** = 単位。**UNite** = 一つにする。**UNion** = 結合、組合 (一つになったから)。**UNique** = 唯一の、特有の (他と異なる、一つだけ)。**UNisex** = 男女両用の (性別のない単一の服など)。

ほら！ uni から始まる言葉ってたくさんありますね。



[super = 上から (超)]

水泳の北島康介選手の名セリフ「超きもちいい」は有名ですね。He's super rich. (超金持ちだ) あるいは単に Super! (最高だ!)。しかし「超」だけでなく「上から」という感覚も持つと幅が広がりますよ。

SUPERvise (super = 上から、vis = 見る) = 監督する (上から見る人)。**SUPERior** = 上位の (より優れた)。**SUPERintendent** = 所長、教育長 (上の人)。**SUPERstructure** = 上部構造 (超構造ではないんですね)。**SUPERficial** = 表面上の (うわべの)。**SUPERb** = 素晴らしい。又馴染み深い言葉には **SUPERman**、**SUPERstar**、**SUPERmodel** など色々ありますね。

もちろん「超」の意味でこういう使い方もあります。

SUPERconductivity = 超伝導、**SUPERpower** = 超大国、**SUPERnatural** = 超自然の (神秘の)。

super = 超、上、極度という意味で、あらゆる言葉と結びついて合成語が作られていきます。だから文脈からどの意味になるのかを判断することが大切ですな。



[tele = 遠くの]

知らない街を 歩いてみたい どこか遠くを旅してみたい。

そんな歌がありましたね。カメラとかビデオカメラのズームスイッチの切り替えの所を見てみましょう。T/Wとなっていますね。T⇒TELE = 望遠モード、W⇒wide = 広角モード。それぞれの頭文字なのです。

TELEgraph (tele = 遠く、graph = 書く) = 電報。**TELEphone** (tele = 遠く、phone = 音) = 電話。**TELEscope** (tele = 遠く、scope = 範囲) = 望遠。**TELEvision** (tele = 遠く、vise = 見る) = テレビ。**TELEworker** (tele = 遠く、worker = 働く人) = 在宅勤務者。**TELEpathy** (tele = 遠く、pathy = 心) = テレパシー。

他にもこんな言葉がありますね。**TELEkinesis** = 念動。

TELEmetry = 遠隔測定法。やはり tele を使って合成語がどんどん出来ていくと思いますから、頭に入れておくと便利ですね。

例えばこれはどうでしょうか？『**TELEcommute** = 在宅勤務する (TELE = 遠く、commute = 通勤)』。ネット通信で仕事をする = 在宅勤務ですね。今から数十年前なら存在しなかった筈の単語ですね。



【syn = 同じ、共に】

オリンピックの花と言えばシンクロナイズドスイミングですね。選手が共に一糸乱れずぴったりと同じ息があった演技をする、その様は圧巻ですね。**SYNchronized swimming** の **syn** は同じ、共に、似たという意味です。ただし **sym** (b, m, p の前) や **syl** (l の前) にもなるから注意が必要です。

SYMpathy (sym = 共に、pathy = 感情) = 同情。**SYMphony** (sym = 共に、同時に、phony = 音) = 交響曲。**SYMmetric** (sym = 同じ、metric = 測定) = 同数の、左右対称の。**SYNDrome** = 症候群 (同じ症状)。**SYNDicate** = 企業連合、シンジケート (同時に供給する)。**SYNonym** = 同義語。**SYNthesizer** =

シンセサイザー（音の合成装置）。**SYLLabus** = 学期毎の講義概要、シラバス（同じ内容を教えるから）。

やはりシンクロ（**SYNchrozie** = 行為を同時にする、一致させる）が1番分かりやすいですね！



[tri = 3 (bi = 2)]

冬の競技の花と言えばフィギュアスケートですね。くるくる回るだけでもすごいのに、3回転ジャンプなんて目が回りそうですよね！「トリプルアクセル」の名前は親しみがわいてくるようになりました。

TRiple は、3重の、3倍の、という意味です。

2ヶ国語を話すのは？⇒ **Bilingual**。では3ヶ国語は？⇒ **TRilingual**。自転車（2輪車）は？⇒ **Bicycle**。3輪車は？⇒ **TRicycle**。

100万は million ですね。その千倍は？⇒ **Billion**（10億）。そのまた千倍は？⇒ **TRillion**（1兆）。2者間協議は？⇒ **Bilateral**。3者間協議は？⇒ **TRilateral**。**Bisect** = 2等分する。**TRisect** = 3等分する。3角形の打楽器は？⇒ **TRiangle**（トライアングル）。

では最後に、私が感動して未だに忘れられない単語です。カメラの3脚は何と言うのでしょうか？正解は **TRIpod**（tri = 3、pod = 脚（ped））= 3脚。ほら、ぴったりですね！！

ちなみに単語を覚える最大のコツは「感動する」ことだと思っています。皆さんも新たな意味を発見したら、思いっきり感動して胸に刻みつけるようにしてみましょう！



[fore = 前へ、前の]

サッカーの試合、勝てないと残念ですね。後ろでキーパーがしっかり守っても、前にいるフォワードが点を入れなければ引き分け止まり。

そう！ **FORward** は前にいますね。

皆さんゴルフはしますか？ 前がつかえていて、自分のボールが前に飛びすぎてぶつかりそうな時、大きい声で警告します。FORE !!!
フォア（前方注意）！！

FOREword (fore = 前、word = 言葉) = 序文。 **FOREsee** (fore = 前、see = 見る) = 予見する。 **FOREhead** (fore = 前、haed = 頭部) = ひたい。 **FOREcast** (fore = 前、cast = 投げる) = 予報。
さて「推測力」が大切でしたね。次の言葉を推測してみましょう。

『forename、forefinger、forefoot』

FOREname = 名 = first name。 **FOREfinger** = 人差し指。

FOREleg = (獣の) 前足。

皆さん推測出来ましたか！ ちなみにテニスや卓球で後ろ打ち (back-hand) じゃない方はフォアハンド (forehand) ですね。既に日本語になっている言葉ですね。

[kilo = 1000]

算数の問題を出しましょう！ 家から学校まで 1km あります。はい、何 m でしょうか？ 分かりますね！ 1km = 1000m ですね。

では次はいかがですか？ 1kg は何 g？ そう 1kg = 1000g ですね。

では、今度は難問です。1kA は何 A (アンペア)？ 出来ましたね？

1kA = 1000A。そう！ **K = kilo = 1000** なんです。

だから 1kHz = 1000Hz (ヘルツ)。1kt = 1000t (トン)。1kb = 1000b (バイト) という具合に応用出来ますね。

最後の問題です。1kcal は何 cal？ 正解は 1kcal = 1000cal (カロリー)。
cal = calorie。

はい！ 大丈夫ですね。もうどんな新しい単位が出てきてもへっちゃらですね！



[cent = 100, 1/100]

今日も算数からですよ！ 1mは何cm？ そう！ $1m = 100cm$ 。

では、1cmは何m？ 分数で答えて下さいね。正解は $1cm = 1 / 100m$ ですね。

次はお金の問題です。\$1は何¢（セント）？ そう！ $\$1 = 100¢$ 。

では、1¢は何\$？ 分数でね。正解は $1¢ = 1 / 100\$$ 。

あれ？ 何だか共通点がありそうですね。それは何でしょう？ そう！ cent (**centi**) = $1 / 100$ っていう意味なんですね！

ちなみに気温の摂氏「℃」を何と読むでしょう？ 正解は centigrade。
CENTgrade = 100 分度の、という意味なんですね（ただし実際は科学用語の celsius が一般的）。

でも **cent** = 「**100 縮み**」と覚えた方が応用がききます。今は何世紀ですか？ 21 世紀です。2009 年なのに何故でしょう。1 世紀 = 100 年！ だからですね。世紀 = **CENTury** = 100 年。そして、覚えていますか？ **CENT**ipede って何ですか？ 正解は **CENTI** = 100、pede = 足⇒百足⇒ムカデ。ぴったりですね！！

というわけで **CENT (CENTI)** は **100、1 / 100** つまり「**100 縮み**」と覚えておきましょう。

POINT 温度の単位

アメリカでは摂氏（℃）ではなく温度の単位は、華氏 = Fahrenheit（度 F）を使います。

「度 F」と「℃」の変換式は $(\text{度 F} - 32) \times 5 / 9 = \text{℃}$ 。つまり $32 \text{度 F} = 0 \text{℃}$ 。100 度 F と言えは $(100 - 32) \times 5 / 9 = \text{約 } 37.8 \text{℃}$ です。だからアメリカで「熱が 100 度あるんだ」と言われてもビックリしないで下さいね。

【mil = 1000, 1/1000 及び 1000K (100 万)】

さあ今回も算数教室です！ 皆さん牛乳とかジュースの 1l パックを買ったことはありますね。その箱に ml のサイズも書いてあります。質問！ 1l は何 ml？ 分かりますね。1l = 1000ml。では 1ml は何？ 分数で答えましょう。そう！ $1\text{ml} = 1 / 1000\text{l}$ 。要領が分かってきましたね。ではこれはどう？ 1m は何 mm？ $1\text{m} = 1000\text{mm}$ ですね。それなら 1mm は何 m？ 分かりましたか？ 素晴らしい！！ $1\text{mm} = 1 / 1000\text{m}$ 。

あれ？ また共通点があります！ **ミリ = 1 / 1000** ということ！！ 最後の問題です。1mA は何 A？ そう！ $1\text{mA} = 1 / 1000\text{A}$ ですね！

ところで cent と同様に **mill = 「1000 縮み」** と覚えた方がいいでしょう。西暦 2000 年になる時にコンピュータの誤作動を予期した「ミレニアム問題」というのが話題になりました。これは **millenium = 1000 年間**ということからなんです。

さて、話は変わってフジTVでクイズミリオネアという番組がありました。ミリオネア = millionaire とは何でしょう。「百万」長者という意味ですね。million = 100 万。せっかく $\text{mill} = 1 / 1000$ と覚えたのに困ってしまいますね。でもこじつけでこう考えたらどうでしょう？ とっても大きい数だから $\text{K} = 1000$ という単位で考えた。その K (1000) の千倍なんだ！ 何も根拠はないけど、理屈をつけてみたんですよ。いかがでしたか。数字シリーズ、楽しめましたか？



【a- = ~の方へ】

「あっ！」とビックリするとその方角を指しますね。その感覚が「a-」なのです。意外にたくさん使っています。海外に行くことを考えているとしましょう。travel abroad = 海外旅行をする。go ahead = 話を

前に進める。go aboard = 搭乗する。では分解してみましょう。

Aboard (a = の方へ、board = 乗船) = 船内に

Ashore (a = の方へ、shore = 岸) = 岸に

Ahead (a = の方へ、head = 前) = 前へ

Abroad (a = の方へ、broad = 広範囲) = 海外へ

Abridge (a = の方へ、bridge = 橋) = 短縮する〈橋を渡れば近いです〉

Away (a = の方へ、way = 道のり) = 離れて

Accuse (a (c) = の方へ、cuse = 理由) = 非難する(理由を求める)いいですか? 「あっ(と言ってその方角を向く)」という感覚ですよ!



【tend = 張る、広げる】

曇り空が続くと、皆さんテンション = tension が低くなりませんか。テンションが高い人というのは大きな声を出したり「張り詰めた」感じですよ。それが tend の語感です。

exTEND (ex = 外、tend = 広げる) = 引き伸ばす。extension = 延長〈ビザの有効期限を延ばすことをエクステンションと言いますね〉。

inTEND (in = 心の内、tend = 広げる) = 意図する。**preTEND** (pre = 前に、tend = 差し出す) = ふりをする。**atTEND** (a = の方へ、tend = 心を伸ばす) = 出席する。お客様の世話をするスチュワーデスのことを flight **atTENDant** と言いますね。正に相手に心配りをしますね。あるいはシンプルに tend = 世話をする、傾向がある〈その方向に広がるんですね〉。**TENDER** = 世話人、提出する〈広げて出すんですね〉。

テニスラケットのガットの「張り」具合のことをテンション (**TENSion**) と言います。こういう身近な所からイメージを広げると覚えやすいと思いますよ。

【fer = 運ぶ】

fer で 1 番馴染みのある言葉は、以前にも書きましたが飛行機の乗り換えの意味にも使われるトランスファー。**transFER** (trans = 越えて、fer = 運ぶ) = 移動、移転、乗り換え、あるいは「送金」の意味もあります。外国に行く時に両替の窓口で TTB Rate が表示されていますね。Telegraphic TRANSFER Buying の頭文字で TTB (電信買い相場)。買いがあれば売りがあり、それは TTS (S = Selling) Rate (電信売り相場) と言います。ちなみに売りと買いの間が「中値」、mean rate あるいは TTM Rate。mean には「中間」という意味があるんですね。数学で平均、中数という意味もありますよ。

他の FER がつく言葉を見てみましょう。今まで学んできた接頭辞の知識が生きてきますよ。会議のことをコンフェランス (**conFERence**) と言いますね。その元の動詞 **conFER** (con = 共に、fer = 運ぶ) = 相談・協議する。違いのことをディファランス (**difFERence**、dif = 離れて、fer = 運ぶ) = 異なる。優先して好むことをプリファー (**preFER** (pre = 前に、fer = 運ぶ)) = 優先して好む。何かを参照するのはリフェランス (**referrence** (**reFER**、re = 元へ、fer = 運ぶ)) = 言及する、参照する。こんなふうに普段何気なくよく使っている単語に fer は結構よく使われていますね。



【struct = 築き上げる】

バスケットボールや野球などで「オブストラクション」という反則があります。**obSTRUCtion** = 相手の進行を「邪魔」するという反則ですね。工事のことを Under **conSTRUCtion** と言います。struct を含んだ言葉は意外に身近にありますから、今日はそれを見てみましょう。struct = 築き上げる、という語感を持つとスッキリしますよ。「接

頭辞」との組み合わせも、だんだんと慣れてきましたね。

conSTRUCT (con = 一緒に、struct = 築き上げる) = 建設する。

deSTRUCTION (de = 逆、struct = 築き上げる) = 破壊すること (動詞 = 破壊するは destroy)。

InSTRUCT (in = 中に、struct = 築き上げる) = 教える (心の中に築く)。**obSTRUCT** (ob = 反対に、struct = 築き上げる) = さえぎる、邪魔する。**STRUCTure** = 構成。

ちなみに **conSTRUCTive** = 建設的というのは、とつても前向きな言葉で、こういう表現があります。constructive discussion = 建設的な討論 (意訳: 前向きな討論)。constructive suggestion = 建設的な提案 (意訳: 前向きな提案)。

そうそう、インストラクション = 指示、という言葉の響きは、それだけをとらえると「上から下に向かって命令」という感じがして (なんだかなあ) という気持ちになりますね。でも! in = 心の中に struct = 築き上げる。そう! **inSTRUCT = 心の中に築き上げる!** なんて素敵な響きなんでしょう。語源を知ると、一つの言葉でもこんな風に全く違う気持ちになれることもあるんですよ。



【up = あっぷっぷ (いっぱいいっぱい)】

うわあ! 浸水したあ。水が入ってきたぞお! だんだん上がってきた。もういっぱいいっぱいだあ、という感じで **up** をとらえることが出来るケースがよくあります。

もちろん **up down** が基本ではありますが Time is **up!** = 時間終了 (時間がいっぱいいっぱいになったんですね)。catch **up** = 追いつく (いっぱいいっぱいになるまで追いかけるんですね)。**update** = 最新にする (今日の日付までいっぱいいっぱいの状態にするんですね)。

次の2つの文はどちらも正しいけどニュアンスがちよっと異なります。

『He ate all cookies. He ate **up** all cookies.』

up がつくと「すっかり (いっぱいいっぱい) 平らげた」というのが強調される感じがしませんか。同様に、

『Hurry! Hurry **up!**』

up がつくと「いっぱいいっばいに急げ」という感情が入っている感じですね。

いっぱいいっぱいよりも「すっかり」の方が適切な場合もよくあります。dry = 乾燥する、dry **up** = 干上がる。burn = 燃える、burn **up** = 燃え尽きる。pay = 払う、pay **up** = 払いきる。tie = 結ぶ、tie **up** = しっかりくる (be tied **up** = 手が離せない)。pack = 荷物を入れる、pack **up** = すっかりまとめる。finish = 終わる、finish **up** = すっかり終わる、平らげる。

up の意味はたくさんありますし、動詞と up の組み合わせもたくさんあります。それを「記憶」するのは至難のわざですね。だけど **up = 上にプラスして「up = いっぱいいっぱい」という感覚を持つておくと、「なんとな〜」** 雰囲気がつかめる場合が多いですよ。今度 up が出てきたら、ちょっと気をつけて見てみて下さいね。



【vis(vid)=見る】

日本語で「ビジュアルがいい」と言えば「見た目がいい」という意味ですね。**VISual** = 視覚的な、という意味です。印象に残っている言葉があります。霧の中での視界のことを、**VISibility** と言います。いかに **VISible** (見ること) が出来るか、その度合いを表しています。このことから分かるように **VIS = 見る、見える** という語感なのです。**teleVISion** (tele = 遠くの、vision = 映像) = テレビ。**superVISE** (super = 上から、vise = 見る) = 監督する (**superVISor** = 上司)。**reVISE** (re = 再び、vise = 見る) = 見直す、改定する。**adVISE** (ad = の方へ、vise = 見る) = 助言する。**proVIDE** (pro = 前の、

vide = 見る) = 備える (供給する)。あるいはもっと単純に
VISION = 視野、展望。**VISit** = 訪れる (見に行くから)。**VISor** = 帽子のひさし (目をおおうね)。「vis = 見る」結構なじみ深いから分かりやすかったのではないですか。



【spect = 見る】

空港で荷物の検査をします。皆さんがよく知ってる言葉。そう！インスペクション (inspection)。これは何をすることでしょう？ そう、X線とかでカバンなどの「中身を」「見る」んですね。あ！！ in = 中ですよ。だったら… spect は？ 正に意味は見えみえですね！ spect = 見る。in = 中を spect = 見る。だから **inSPECT** = 中を見る = 検査、なんですね！

さて覚えていますか？ 「ex」の語感は？！ 復習していますよね…まさか…してない？ (>_<) in の反対！ ならば ex = 外ですね。

exPECT (ex = 外を、pect = 見る) = 予想する、期待する。

では **proSPECT** って知っていますか？ 見込みという意味なんです。

proSPECT (pro = 前を、spect = 見る) = 見込み、可能性 (前方、つまり将来を見るわけなんですね)。日本語でスペクタキュラーって言葉がありますね (壮大なという意味)。**SPECTacular** = 「見る」に値する⇒壮大な。他にも **reSPECT** (re = 後に、spect = 見る) = 振り返って見る⇒尊敬する。**retroSPECT** (retro = 後方へ、spect = 見る) = 回顧する。**suSPECT** (sus = 下、spect = 見る) = 疑う。

素晴らしいショーや光景のことをスペクタクルと言いますね。

SPECTacle ね！ spect も意外に身近ですね！



[dict = 言う]

学生時代。夜学の本格的な英語学校に通おうと思い、テストを受けました。大学受験で鍛えた英語力の自惚れがありました。部屋に通され「今からテープで言う英語を書き取って下さい」。音声が流れてきました……………全く…ほとんど…本当に聞き取れなかった。言っていることが分からない…。結果は、「はい、初級コースですね」。

プライドは引き裂かれ、そのまま立ち去りました…このテストって何？ 後で分かりました。ディクテーション (**DICT**ation)、「言う」言葉を書き取ること。なんて難しいことだったでしょう。ひとりよがりでも自分で「言う」人＝独裁者ですね。英語では **DICT**ator と言います。

接頭辞の知識を利用しましょう。**preDICT** (pre = 前、dict = 言う) = 予言する、予測する (前の、つまり将来のことを口にします)。**contraDICT** (contra = 反対の、dict = 言う) = 矛盾する (反対のことを言うから)。**verDICT** (ver = 真実の、dict = 言う) = 評決 (裁判の)。最後に… dict の付く実は 1 番おなじみの筈の言葉。**DICTION**ary = 辞書 (言うことを集めたもの)。自分の 1 番印象に残った言葉はどれですか？ それをキーにして意味を関連づけるようにしてみましょう。



[cord = 心]

『心』不思議なものです。くつついたと思えば、離れたり、又戻ったり。ずっと同じ方に向けていればいいのにな。

acCORD (ac = の方へ、cord = 心) = 一致する (心が同じ向きなんですね)。**disCORD** (dis = 反対、cord = 心) = 不一致 (心が反対向きなんですね)。**conCORD** (con = 共に、cord = 心) = 調和 (心が共にあるといいね)。**reCORD** (re = 再び、cord = 心) = 記録する

〈心に呼び戻す…何かステキな響き〉。**enCOURage** (en = 入れる、courage = 勇気) = 勇気づける。**disCOURage** (dis = 反対、courage = 勇気) = 落胆させる。

心 = 思いやりですね。**CORDial** = 心からあなたへ。



【spire = 吹き込む】

魂の触れあい、それは最初に会った時、分かるものですね。インスピレーション…それが全てかもしれないですね。**inSPIration** (in = 中に、spire = 吹き込む) = インスピレーション 〈魂に息を吹き込むんですね〉。**aSPIRE** (a = ~に、spire = 吹き込む) = 熱望する 〈熱い息を心に吹きかけるんですね〉。**conSPIRE** (con = 共に、spire = 吹き込む) = 共謀する 〈共に息をしますね〉。**exPIRE** (ex = 外に、spire = 吹き込む) = 期限が切れる 〈息を吐き出したんだ〉。

魂は呼吸しているものですね。常に生きているから、さまようこともあるでしょう。それは…**SPIRit** = 精神 (心)。



【press = 押す、圧す】

どんな時にプレッシャーを感じますか？心のうちに押さえこんだ時ではないでしょうか。外に出して開放してみましょう。

dePRESS (de = 下に、press = 抑える) = 気落ちする (気持ちが下がる)。**exPRESS** (ex = 外に、press = 押す) = 表現する (気持ちを外に出すんですね)。**imPRESS** (im (in) = 中に、press = 押す) = 印象づける (心の中に入るんですね)。**opPRESS** (op = の方へ、press = 押す) = 圧迫する (押しつけるんですね)。**supPRESS** (sup (sub) = 下へ、press = 押す) = 抑圧する (下へ押しつけたんですね)。**comPRESS** (com (con) = 共に、press = 押す) = 圧縮する

(**comPRESSor** は圧縮ポンプ)。

誰にでも訪れる **PRESSure** (プレッシャー)。心の内に…あるのなら
… ex**PRESS**、心の外 (ex**PRESS**) に表現してみましょう…。



【scribe, script = 書く】

手紙を書く時に、1 番読んでもらえるのはどこだと思いますか？ 本文ではなく『追伸』なんだそうです！ 英語では何と言うのでしょうか？ よく p.s. と書きますね。これは post**SCRIPT** の略語なんです。

postSCRIPT**** (post = 後、script = 書く) = 追伸、後記 (後で書きますね)。post-war は戦後ですね。新聞や雑誌を講読することを **sub**scription**** と言いますね。**sub**SCRIBE**** (sub = 下、scribe = 書く) = 予約購読する (申し込み用紙の下に名前を書きますね)。薬局で薬をもらう時の処方箋は prescription。**pre**SCRIBE**** (pre = 前もって、scribe = 書く) = 処方する、指示する (どの薬をもらうのか前もって書くんですね)。

記述は description。**de**SCRIBE**** (de = 下へ、scribe = 書く) = 記述する (ペンで下にありますね)。コンピュータの世界でプログラミングを「書いた」処理手順のことをスクリプト (**SCRIPT**) と言います。この script という単語には台本、筆跡、表記法などの意味もあります。全て「書く」に関連していますね！



【clude = 閉じる】

ドアを開けることは？ オープン (open) ですね。ドアを閉じることは？ クロウズ (close)。close と clude 似ていますね？ **似ていたら同じような意味を持つことが多いと覚えておきましょう！** clude = 閉じるという意味です。親しみのある言葉が多いですよ。

inCLUDE (in = 中へ、clude = 閉じる) = 含む〈中に閉じてあるんですね〉。**exCLUDE** (ex = 外へ、clude = 閉じる) = 除外する〈外へ閉じる、も変な日本語ですが、外へ追い出してしまうと考えればいいですね〉。**conCLUDE** (con = 全く、clude = 閉じる) = 結論を出す、終了する〈会議が終了したら全てを閉じていいですね〉。**seCLUDE** (se = 離す、clude = 閉じる) = 隔離する〈離して閉じる、正に読んで字のごとくですね〉。



【flu = 流れる】

受験生はテスト当日にゴホゴホと咳や熱が出てしまうと実力が発揮出来ません。だからインフルエンザの予防接種はしっかりしておきましょう。インフルエンザは英語では **inFLUenza**、あるいは口語では flu。日本語では？「流」行性感冒ですね。人から人に「流」行っていきます。そう！flu = 流れ、なんです！

英語を「流」暢に話すのは fluent ですね。

FLUent = 流暢な（流れるように）。**FLUid** = 流動性の（流れる状態の）。**superFLUous** (super = 上に、flu = 流れ) = 余分の（上に溢れて流れる）。

人から人への「影響」も一種の流れですね。**inFLUence** (in = 中へ、flu = 流れ) = 影響（心の中に流れて）いく。それが影響というもの…確かにそうかもしれないですね。



【spr = 飛び出る】

冬の間、植物はじつと身を潜め、飛躍するのを待っています。そして雪が溶けて、時が来れば、バネのように地中から「飛び出し」ます！バネのことを spring と言います。そして春のことは… spring です！

芽が飛び出す季節！それが **SPRing** = 春、ですね…。

では「芽」のことは何と言うのでしょうか？ 答えは **SPRout**。芽が「出る」と日本語でも言いますね。冬は乾燥するから火事に気をつけましょう。もしもの為に家についていますね…スプリンクラー (**SPRinkler**)。水が「飛び出し」てきますね。短距離競争！最初の「飛び出し」が大切です。 **SPRint** (全速で走る、短距離競争)。噂 (rumor)、それは内部から外部に「飛び出し」ていくものですね。 **SPRead** = 広がる、広まる。

【cap = 頭 (先頭)】

不景気になると企業では経費削減に励むようになります。あるいは…経費に制限を設け「頭」打ちにしようとしています。それを英語で **cap** すると言います。飲み物がこぼれないように頭に「キャップ」をしますね、それが cap。

CAPtain = 主将、船長、機長 (全て「頭」になる人ですね)。
CAPital = 首都、第一の (「先頭」に立つんですね)。
CAPe = 岬 (「先頭」というか「先端」ですね)。

【duce, duct = 導く】

水が詰まると困りますね。どこが詰まりますか？「ダクト」ですね。送水管あるいは「導」管とも言います。duct = 導く、なんですね！

introDUCE (intro = 中へ、duce = 導く) ⇒ 紹介する (心の中へ導くんですね)。
proDUCE (pro = 前へ、duce = 導く) = 生産する、上演する (前へ生み出していきますね)。
reDUCE (re = 後ろへ、duce = 導く) = 減らす (後退するんですね)。

馴染み深い言葉がありますよ。educate = 教育する。 **eDUCate** (e =

外へ、duc = 導く) = 能力を外に導く。そう！誰でも能力がある、でも内に隠れているだけ。それを外に出してあげること…それが「教育」なんです！なんだか、ステキな言葉ですね。



【gram = 書いたもの】

言葉は本来は話すものですね。赤ちゃんの時に、話すことよりも書くことから覚えた、という人はいないですね。先ず話ありきなんです。しかし話し方の「ルール」を見て分かるように「書いたもの」にしておく必要があったのです。それが文法、つまりグラマー。英語ではGRAMmarの**GRAM**は「書いたもの」という意味なんです。

proGRAM (pro = 前に、gram = 書いたもの) = 計画、番組 (計画は前もって書いておきますね)。**teleGRAM** (tele = 遠い、gram = 書いたもの) = 電報 (遠方に書いて送りますね)。**diaGRAM** (dia = 横切って、gram = 書いたもの) = 図形、図表 (線で横切って書いたもの)。

算数・数学で長方形の柱を並べたグラフ。これは柱状グラフ、あるいはヒスト「グラム」**histoGRAM** (histo = 組織、gram = 書いたもの) ですね、ヒストグラフとは言わないですね。



【pel = 押す】

今はジェット機が主流の時代です。しかし以前は飛行機が空を飛べたのはプロペラ (propeller) のおかげでした。プロペラのおかげで飛行機や船は前進が出来るんですね。プロペラの動詞は propel。

proPEL (pro = 前へ、pel = 押す) = 前進させる。そう！**pel = 押す** なんです。 **comPEL** (com = 完全に、pel = 押す) = 強制する (完全に押しやってしまうんですね)。**disPEL** (dis = 向こうへ、pel = 押

す) = 追い散らす (向こうへ追いやるんですね)。 **exPEL** (ex = 外へ、pel = 押す) = 追い出す (外へ押し出すんですね)。 **rePEL** (re = 後ろへ、pel = 押す) = 撃退する (後ろへ追いやるんですね)。



【tain = 保つ】

車でもパソコンでも、定期的に入入れをすることが大切です。手を入れて良い状態に「保って」あげること。それを何と言いますか？ メンテナンスですね。英語では maintenance。動詞は maintain。

mainTAIN (main = 手、tain = 保つ) = 維持する、整備する (手入れをして保つんですね)。エンタの神様、のエンタはエンターテイメント (娯楽) の略語ですね。 **enterTAIN** (enter = 間に、tain = 保つ) = 楽しませる (人と人の間を和やかに保ってくれるんですね)。

conTAIN (con = 共に、tain = 保つ) = 含む (共に保つから)。

obTAIN (ob = の方へ、tain = 保つ) = 得る、入手する (自分の方に保つんですね)。 **reTAIN** (re = 後ろへ、tain = 保つ) = 保持する (後ろに保っておくんですね)。 **susTAIN** (sus = 下から、tain = 保つ) = 支える (下から保ってあげるんですね)。



【re = 「再び」 & 「後ろへ」】

re という接頭辞は「再び」「後ろへ」という2つの異なる意味があるので、re がつく単語それぞれで判断する必要があります。でも例えば日本語の「便」という字も同じですね。「郵便・貨物便・宅配便」「便利・便宜・便益」「便意・便器・便所」。幾つかのグループに分かれますね。それと同じことではないでしょうか。幾つか代表例をあげてみましょう。

REvise (re = 再び、vise = 見る) = 見直す。 **REcycle** (re = 再び、

cycle = 回転させる) = 再利用する。 **REform** (re = 再び、form = 作る) = リフォーム、改修。 **REject** (re = 後ろへ、ject = 投げる) = 拒絶する。 **REtain** (re = 後ろへ、tain = 保つ) = 保持する。 **REpel** (re = 後ろへ、pel = 押す) = 撃退する。

大切なことは、これらを覚えようとか暗記しようとか思わないこと！
そうではなく普段から「考えて」そして「自分なりの解釈」を積み上げる。それが大切であり、頭の柔軟性を鍛えることになると思いますよ。



【liqu = 液】

ビールやワインなどの軽いものと違う、ブランデーやラムなどの強いお酒のことを何と言うでしょう？ 答えはリキュールですね。

LIQUor、発音はリカー (**LIQU = 液**)。 **LIQUid** = 液体の、流動性の。携帯電話の画面は「液晶」ですね。通称LCD。これは何の略でしょうか？ 答えは **LIQUid Crystal Display** (液晶ディスプレイ) です。

もしアメリカの自動車メーカー通称Big3の1社でも破産したら…縁起でもない話かもしれませんが、会社を清算することを **LIQUidation**、動詞は **LIQUidate**。つまりしっかりした固体状態ではなく、液化した状態に…流してしまうことに由来していると考えられますね。



【counter = 逆の】

カウンターパンチというものがありますね。相手の攻撃を受けておいて、それを「逆に」利用して攻める。サッカーにもカウンターアタックという言葉があります。コーナーキックなどで窮地に陥りながら「逆」襲する攻撃ですね。

clockwise = 時計回り ⇔ **COUNTERclockwise** = 反時計回り。
measure = 手段 ⇔ **COUNTERmeasure** = 対抗手段。

productive = 生産的な ⇨ **COUNTERproductive** = 非生産的な。

COUNTERpart = 対応するものや人。例えば He is my business counterpart. (彼は私のビジネスの相手 (交渉相手) です)。

COUNTERsign カウンターサイン、は是非覚えておきましょう。連署あるいは副署とも言います。トラベラーズチェックなどの小切手には事前にサインをしておきますね。そして実際に使用する時、相手の目の前でもう 1 度所定の場所に同じサインをする、これが **COUNTERsign** ですよ。



[over = ~過ぎる、過度の]

over には 2 つの意味があります。

一つは「上、越えて」。**OVERcoat** = オーバーコート 〈上に着ますね〉。

OVERseas (over = 越えて、seas = 海) = 海外へ 〈海を越えていきますね〉。

もう一つは「過度の」。**OVERsleep** (over = 過ぎて、sleep = 眠る) = 寝すぎる、寝坊する。**OVERflow** (over = 過ぎて、flow = 流れる) = 溢れる。**OVERweight** (over = 過ぎて、weight = 体重) = 太りすぎ。**OVERwork** (over = 過ぎて、work = 働く) = 働きすぎ。OVER + 動詞で色々な造語が存在しています。では OVERLOVE とはどのような意味でしょうか？ OVERLOVE = 愛し過ぎる…過度の愛…愛が深すぎると相手に負担になるのかもしれませんがね。しかし、適度にしようしたり、調整したりするのは… LOVE ではないかもしれませんが…。あなたはどうか？



[circ = 周囲]

ロンドンの中心にある広場を何と言うか知ってますか？ ピカデリー・

サーカス (Picadilly Circus) と言います。**CIRCus** には円形広場という意味があります。大学に入学すると皆さん大抵何かのサークルに入りますね。**CIRCle** = 円形のもの、仲間。自動車レースを行うのはサーキット (CIRCuit) ですね。

CIRCuit = 電気「回」路の意味もあります。スポーツ選手が世界を転戦するのもサーキット。ぐるっと世界を「周回」しますね。

CIRCulate = 血液などを「循環」させる。やはりぐるっと巡ること。

CIRCumsatance = 状況、環境「周囲」の様子。

en という接頭辞は「～させる」でしたね。**ENlarge** = 大きくする。

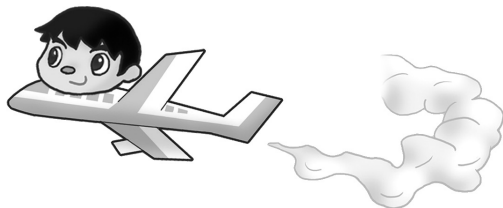
ENdanger = 危険にさらす。では… **ENCircle** は？そう、取り囲む、ですね。

便利な一言

文法

語源

(付録) エッセイ





付 録

エッセイ

{ essay }

夏子ちゃんの宝物

夏子ちゃんは小学校5年生のとっても元気な女の子。お勉強の成績は決してよくありません。でもお母さんが大好きな普通の子です。

お母さんはいつも忙しく、イライラすることだってあります。ちょっぴりおこりんぼうかもしれません。でもそんなお母さんが、そのままのお母さんが、夏子ちゃんは大好きです。

今日は学校で算数のテストが返されました。いつも40点だった夏子ちゃん。でも今日はいつもの倍の80点です。

(早くおかあさんに見せてあげよう！)

お母さんの喜ぶ顔が見たくって、おともだちの誘いも断わって、夏子ちゃんは駆け足でうちに着きました。

おかあさん！ ねえ、ほら見て！

あら、20点も間違えてるわよ。それにこのテスト、やさしかったんじゃない。

(おかあさんのばか！ ばか、ばか！)

玄関のチャイムが鳴りました。お父さんです。飛び切りの笑顔でおかえりです。

ほら！ 夏子の大好きなケーキ。おいしいぞ！

でも、どうしたことでしょう。箱をあけてみたら、べっちゃんこです。
お父さんは心配になりました。
(夏子おこるかなあ)

おとうさん、ありがとう！ だいすき！

夏子ちゃんはケーキよりお父さんの気持ち、それが嬉しかったので
す。

お母さんは気づきました。
(夏子、ごめんね)

ああもう！ ほんとにドジなお父さんなんだから！
ほら見てよ！ 夏子の成績をちょっとは見習ってよ！

あ、ほんとだあ！ お父さん、夏子を見習います！！

その夜、夏子ちゃんのおうちは、いつまでもいつまでも、笑いがた
えることはありませんでした。

あなたは
気づいて
いますか

おとうさんの宝物

小学校1年生の真理ちゃんには、お母さんがいません。交通事故で
3才の時に天国に行ってしまったのです。真理ちゃんは施設で暮らし

ています。大好きなお父さんには病気があり、真理ちゃんの面倒が見られないからです。

寂しくて駄々をこね、施設の先生をよく困らせる真理ちゃんでした。でも、お父さんが面会に来てくれる時は、可愛い笑顔が満面に花開く真理ちゃんでした。

お父さんにはお金がたくさんありません。おみやげもありません。でも、そんなことはどうでもいいんです。絵が上手なお父さんは、いつも真理ちゃんの似顔絵を描いてくれます。

お父さんは似顔絵を描きながら、いつも言ってくれました。

「真理、可愛いよ。亡くなったお母さんにそっくりだよ」

真理ちゃんは、お父さんの誕生日に、似顔絵を描いてあげました。下手くそで、ぐちゃぐちゃなのに、お父さんが大喜びしてくれるから。

その大切なお父さんが亡くなったのは、真理ちゃんが中学校を卒業する日でした。(馬鹿、お父さんのバカ、どうして真理が卒業するのを見られなかったのよ)

悲しみに浸ってばかりられません。眼の前には厳しい現実が迫っています。(お金がないから高校に行くのはやめなくちゃ。今から就職って、できるのかしら)

翌日、施設の人が告げました。「真理ちゃん、高校に行けるわよ！お父さんが生活保護のお金をためて、百万円を残してくれたのよ」

(お父さん、お金が全然無いて言ってくせに。おいしいものも食べなかつたくせに。無理するなんて。ぜんぶ真理の幸せのためなんて、ずるいよ。お父さんも幸せでなきゃ！ずるいよ！)

時は過ぎ、真理ちゃんは今すぐ18才になります。真理ちゃんは通信制の高校を卒業します。友達と一緒にディズニーランドに行ったり、バイトをしたり、青春ドラマのような3年間でした。

でも真理ちゃんの一つだけ悩みがありました。(私だけ幸せでいいの？ これってお父さんが命がけで生きてくれたおかげだよ。お父さんは家もお金も失って、なんにもなくて、それでよかったの？)

高校の卒業式の朝でした。突然お坊さんが施設を尋ねてきました。真理ちゃんに渡したいものがある、というのです。

「真理さん、お父さんに本当にそっくりですね」

「お父さんの知り合いなんですか？」

「はい、真理さんが高校を卒業する時に、と手紙を預かったのです」

真理、卒業おめでとう。お母さんと一緒に空から見ているよ。やさしい真理のことだから、お父さんが無理した、って心配してるだろうね。ううん、お父さんは世界で一番、間違いなく一番幸せだったよ。

お父さんの、一番大切なもの、見てごらん。

お坊さんが手紙と一緒にくれたもの。それは真理ちゃんが小学校1年生のときに描いたお父さんの似顔絵でした。しわくちやになって、下手ついで、絶対にお父さんになんか似てない絵なのに。

似顔絵に、ポツンと落ちる、それは真理ちゃんの涙でした。

あなたにとって

大切なものって

なんですか

コリー犬

兄貴は動物が大好きだった
今は獣医の仕事をしている

飼った動物は沢山

りす、ニワトリ、伝書鳩、熱帯魚、亀
他にもあったと思う

親父は船乗りで、会えるのは数ヶ月に1回だけ

兄貴は…

「動物がいれば寂しくないから」

と母に言ってたらしい…

横浜の港に面会に行った時

まだ幼稚園児だったがはっきり覚えている

小さなペットショップに小さな子犬

ちっちゃくて茶色くてミルクをペロペロなめてる赤ちゃん

(欲しい)

兄貴の輝く笑顔が忘れられない

島根まで帰る夜行寝台特急

ダンボール箱に入れた子犬がクンクン鳴いた

それに気づいた車掌さんはやさしく見逃してくれた



コリー犬の
フリーダー

新しい家族だった

どんどん大きくなって身長も抜かれた

一緒に犬小屋で寝たり闘牛ごっこをしたり
お散歩で引っ張られてついた膝の傷は今でも残っている
大切な大切な傷あと

毎日が幸せだった
何があってもフリーダーがいれば幸せだった

フリーダーは大きい声でほえた
大好きな子供達がいると遊びたくて余計にほえた

便利
な一
言

文
法

語
源

（付
録）
エッセ
イ

ある日

母が久しぶりに帰宅した父親と話しているのが聞こえた

(うるさいと近所から苦情があるから手放さないと…)

ウソだろ！！

聞こえなかったことにしよう

そんなことありえない！！

ある日

帰宅すると

フリーダーが軽トラックに乗せられていた

どうして！？

どうして！？

どうして！？

フリーダーだよ！！

フリーダーなんだよ！！

…それからは暗い数年間だった…

フリーダー

今でも膝に傷はあるよ
ずっと一緒だよ
心で一緒にいるからね

オイルタンカー

親父は船乗りでした
遠いペルシャ湾から
石油を積んで帰ってくる
オイルタンカー

日本に帰ってくるのは
3ヶ月か4ヶ月に
1度だけ

母に手をひかれ
夜行列車に乗り
新潟や神戸、横浜

大きな港や
石油コンビナート
のある町へ

お父ちゃんは
エアメールで
お話す人

便利
な
一
言文
法語
源(付
録)
エ
ッセ
イ

海外のおみやげ
 持ってかえてくれる人
 青い喋々の標本

イラン
 アフリカ
 ニューヨーク

写真で見る
 海外の国
 いつか行ってみたい

寂しくなんてなかった
 生まれた時から
 それが普通の生活

大きな船
 はしからはしまで 300m
 学校の校庭より大きい

いつか船乗りに
 なってみたい
 でも親父は言った

船乗りだけは
 なるんじゃないよ
 ひとりぼっちだよ

言葉が心に突き刺した
でも親父をこえたい
いつか世界をめぐるたい

死ぬほどの努力をした
夢はかなった
世界を駆け巡った
いつか親父がきた街

海がないと寂しい
ずっと海は
友達だったから

ALS (ルー・ゲーリック病)

24時間TVのドラマ「みゆうの足(あんよ) パパにあげる」の紹介を新聞で読み、てっきりALSかと思った。ALSとは、筋萎縮性側索硬化症。10万人に1人が発症するという難病。アメリカの有名な野球選手ルー・ゲーリックがかかったことで有名で、別名 Lou Gehrig's Disease とも言う。足の筋肉が萎縮して機能しなくなる。手も動かせなくなる。呼吸も出来なくなると人口呼吸器をつけるしかない。もちろん下の世話も出来ない。顔も動かせなくなる。筋肉は全て使えなくなる。最後に動かせるのは目玉だけ。

問題は筋肉だけが使えなくなることだ。「脳だけ正常」なのだ。死にたくても死ねない。何も出来ないまま意識だけは鮮明にあるのだ。だから最も残酷な病とも呼ばれている。10万人に1人。宝くじより確率が低い。だが親友が当たってしまった。

学生時代、西早稲田の木造のアパートに住んでいた。四畳半一間。共同トイレ。風呂はない。金のある時は歩いてすぐの銭湯に通った。神田川はすぐそばだった。朝 10 時の授業なら 9 時 50 分に起きて、ジャージーとサンダルで徒歩 3 分の校舎に間に合う至便な場所だった。

大学は現役で入学したら留年して 1 年遊ぼうと決めていた。そのくらい辛い受験勉強で高校時代を過ごしたから、青春を取り戻したかった。ドイツ語は予定外に 2 年連続落として、大学 3 年生なのに大学 1 年生の授業を受けることになった。さすがにばつが悪い。教室に入ると、見慣れた顔がいて驚いた。

「おい大介！」

「先輩！」

高校の後輩の大介がいた。1 年下だが彼は浪人しているので大学では 2 年下なのだ。1m85cm、体重 90kg の巨漢で、どこでも目立つやつだ。母子家庭で育ち、奨学金とバイトだけで大学に通う偉い男なのだが、品のないことこの上ない。この日も開口一番。

「皆さーん、大学 3 年生の先輩がいますよ〜」

「おいおい、ええかげんにせえや」

大介と一緒にひとりの男がいた。無精ひげをはやした品のなさそうな、見るからにひねくれた顔つきをした男だ。それにしても大学 1 年生には到底見えない。聞くと 3 浪 (!) して早稲田に入ったという。だから 1 年生なのに、3 年生の私より年齢は一つ上なのだった。「よろしゅう頼むわ」。こいつが三重県出身の哲也だった。こんな変人と親しくなるとは思ってもみなかったのだが。

四畳半の下宿は大学の目の前だったから当然ながらたまり場になっていた。大介は同じ下宿の「三畳」部屋に越してきた。体重 100kg まで肥えた男が漫画やティッシュが散乱した部屋で大の字で寝ている様子は豚小屋そのものだ。東大を目指して一浪した秀才とは誰も想像出

来ないだろう。その後哲也が近くの下宿に越してくるまで時間はかからなかった。大介、哲也と3人トリオで色々和下らないことばかりしていたものだ。毎晩のように徹マンをしていたのだが、雑誌で「6大学麻雀リーグ選手権」の記事を見て冗談半分で電話をした。すると早稲田からの申し込みは我々だけで、即座に代表チームとなってしまった（それが縁で週刊プレイボーイにまで「学生がプロ雀士に挑戦」という企画で1度載せてもらった）。渋谷の若手プロリーグにも参戦したが惨敗だった。やはり生活を賭けて打つプロは腕と気迫が違う。赤坂の東天紅という雀荘でバイトをしたが、動物好きにとっては憧れの存在のムツゴロウさん（畑正憲）が常連で、初めてコーヒーを淹れる時には、本当に震える程緊張した。早稲田祭では有名なプロ雀士を招く企画を開催し、これも雑誌に取り上げられた。金がなくて腹が減ってひもじい時には悪知恵を働かせた（良い子は真似をしないでね）。よく英会話教材のセールス（きれいなお姉さんが喫茶店で何十万円の教材を売りつけようとした）があったのだが、喫茶店代はおごってくれるので、高い食事を注文して、お話が終わると「考えときます。ごちそうさま！」と一目散に退散したものだ。これに味を占めて仕送り前で金がない時は、電話帳から教材会社を探してこちらから「興味があるんですが」とセールスのお姉さんを呼び出し、毎度お馴染みの食い逃げ？をした。

テレビ局を見たいな、という話からテレビ朝日に電話して「物真似サークルなんですが」と嘘っぱちを言って乗り込んだり、女の子が集まるだろうと目論んで「古都を旅する会」というサークルをでっち上げたら、本当にたくさん集まってしまう慌てふためいたり。

大介と哲也でそんなアホなことばかりしていたものだった。

哲也に聞いてみた。

「なんで3浪もしたかね」

「国立の医学部を受け取ったんよ。ワシ別に医者になんかなりとうなかつたけどな」

「なら、なんで」

「おじさんが医者やつとるもんでな、一人娘が医学部に行かんだけん。金を出すけん継いでくれって言うんよ」

「たまらんな」

「もうええわ、ちゆうて滑り止めの早稲田に受かったけん諦めてもらったわね」

…ところでこの会話で気付いたと思うけど、哲也は三重県出身のバリバリの関西弁だったのに、大介や私といつも一緒にいるせいで我々の出身地の島根県の言葉「出雲弁」が自然にできるようになっていた。関西の友だちを入れて麻雀をしても「どげだ！ だあずが！」（通訳？ すると、どうだ！ アンボンタン！ くらいの意味）という風に自然に出てきて、出雲弁ネイティブに近いくらいだった。哲也が東京で身につけたのは麻雀と出雲弁だけ、と断言してもいいくらいだろう。哲也とはよく喧嘩もした。合コンが元で言い合いとか「おまえは暗いなあ」と言い合いとか、実にレベルの低いこと極まりないことばかりであった。

哲也は確かに暗い浪人生活を強いられ、ひねくれた荒んだ初対面の印象だった。しかし大介や私とアホな活動ばかりしていくうちに明るくなっていくのが分かった。

学校帰りには私の部屋（下宿の部屋にはカギもかけていなかった）に勝手に入り込んでテレビを見ていて「おお、帰ったか」と平気な顔をしていた。部屋の電話を勝手に大介と長距離電話に使ったり、夜帰ってみると、大学の後輩が部活の歓迎コンパで酔いつぶれた新入生を何人も寝かせていたり、そりやもうグチャグチャの生活だった。他にも面白い話はあるけど、教育的配慮？ から、このくらいにしておこう。

そんなグータラな青春を送り、私が5年間（！）の大学生活を終え

便利
な
一
言文
法語
源〈付録〉
エッセイ

で就職しようとする時、4年生になる哲也は言った。

「ワシ、やっぱ医学部をもう1回受けることにしたけん」

「なんでかね」

「おじさんがどうしてもって泣いて頼むんよ。おっさん（私のこと）もおらんようになるし、東京も楽しんだけん、もうええわ」

「……………」

その後、哲也は本当に大学を中退し、田舎に帰り、予備校に通い始めた。

（また暗い生活を始めるのかよ）

翌年、哲也は見事に医学部に合格した。兵庫県の私立H医科大学だ。しばらくして関西まで遊びに行ったが、華やかな医学部生の生活を送っていると思いきや「勉強が大変なんや」と暗い顔でやせていて、あまり話もはずまないまま別れた。

その後私はヨーロッパの駐在になり、数年後に帰国してから、関西で勤務している大介と一緒に再び訪れた。えっちゃんという彼女が出

来ていた。哲也の部屋でおいしいたこ焼きを作ってくれた。哲也の顔はふっくらして元気そうだった。国家試験にも合格し、これから大学病院でまず働くという。同じ関西にいる大介が教えてくれた。

「哲也はえっちゃんに世話になりっぱなしで、それでなんとかやってこれただけん」

数年後、また遊びに行った時、えっちゃんと結婚して可愛い2人の子どももいた。滋賀県に家を見て、私立病院に勤務先が変わっていた。

「あれ？ おじさんの後をつく話は？ どげになった？」

「あれな、おじさんの娘が医者を婿さんにとることになったんだわ。だからワシはどっちかちゅうと邪魔なんよ」

「学費を出してくれたんだよな」

「何千万あるけど、これから返してやるわい」

（これで良かったんかい。いいよな。立派にえっちゃんと結婚して家も建てて、子どもも出来て、ようやった）

医薬品のセールスマンの接待で、えらく高級な食事に連れて行ってもらった。まるで医者は殿様のような扱いで（いやあ製薬会社に入社しなくて良かった）と思った。嵐はあったが、それを乗り越えて順風満帆な友の船出が嬉しかった。

ある晴れたのどかな日、おだやかな夕日がさす、そんなゆったりした時間だった。大介から突然に電話があった…。

いつもの大介とは全く違う声だった。

「哲也が難病で死にそうなんです」

「いったい何なんだ」

「筋萎縮云々…」

「何なに？」

「ALS っていう病気です。来週お見舞いに行きましょう」

「分かった、俺も調べてみる」

それから必死で調べた。調べれば調べるほど先の明かりが見えないことが分かった。一切の治療方法がない。原因不明。手立てなし。筋肉が衰えていき、足から手、呼吸器から全身に及び、最後は眼球しか動かせなくなる。ヨーロッパ・アメリカの知人にも調べてもらった。やはり同じだ。しかしアメリカでは、ある治験が実施されていることが分かった。残念ながら治す効果ではなく、副作用はあるが進行を遅らせる効果が人によっては見られる、という曖昧なものだ（だが、もし遅らせられたら、その間に治療薬が開発されるかもしれないじゃないか）。

サンフランシスコに駐在している後輩に調べてもらった。なんと知人の知人が担当の医師を知っているという。そして詳しくは直接電話をしてくれ、という所までたどり着いた。医学用語を付け焼刃ながら懸命に勉強し国際電話をかけた。中国系医師で、ゆっくりと分かりやすく話をしてくれた。幸か不幸か話は短く終わった。要するに「非常にプライバシーに関わることなので患者から直接詳細を尋ねて欲しい」ということだった（当然と言えば当然過ぎることかもしれない）。

しかし、（この先の明かりが全くないわけではなくなったんだ。よし、哲也を説得してみせるぞ）と、心に誓い、次の週末、大介と新幹線に乗り込んだ。

哲也の自宅に着いた。足をひきずりながらだが、家のあちこちに手すりをつけ、それにつかまって歩くことは出来ていた。

「もっと早く知らせろよ」

「最初は足がカクってなってな、どないしたんか思って精密検査してもらって ALS って分かったんや」

それから色々な話をした。そこには、現役バリバリの医師の姿はない。かつて哲也を取り巻いていた連中は潮が引くようにいなくなったという。今は寝巻きを着た病人のおっさんだ。こんなことを言っ

おかしいのだが、かつての学生時代の哲也のようで、距離が縮まった気がした。利害のある奴らはいなくなり、友達と家族だけが残ったんだ。幼い息子とファミコンで遊ぶことも出来ていた。

「最初は足だけ力が入らんで、キャッチボールなんかも出来たんやけどな。最近は手も力が入らんようになってきて、いつまでファミコンも出来るか分からんわ」

それから ALS について話をした。アメリカの治験を受けてみないか勧めた。

「おまえ、そんなとこまで調べてくれたんか」

何度も勧めたが、

「ワシええわ、治るなら別だけど死ぬのは日本の自宅で死にたいわ」

「そんな弱気なこと言うなよ」

「ワシ医者だけん、よう分かるとるんよ。不治の病とか言われとるガンだって、水虫だって、そのうち薬が出来るんよ。患者が世界中において皆が注目しとるさかいにな。でも ALS はあかんわ。患者が少なくてもそんなもん誰も知らんし、製薬会社だって儲けにならんよ」

哲也の説得力ある言葉に反論出来ない自分が情けなかった。大介ともうひとりの大学時代の友人を入れて、酒を飲みながら哲也と麻雀をした。哲也は本当に楽しそうだった。

「あほ！ ロン！ あ、すまん、チョンボだわ、がはは！」

西早稲田の四畳半の下宿のメンバーで、思い出話を語りながら、底抜けに明るい哲也がいた。午前0時を過ぎ、哲也とふたりで布団を並べて床についた。

「わしら、よう、こげなふうにしとったもんだが」

相変わらず出雲弁はネイティブ顔負けに流暢だ。哲也が疲れるだろうと思って寝させようとするのだが、次から次へと思い出話をする。びっくりするほど細かい所まで覚えている。走馬灯のように、とはこういうことを言うのだろうか。思い出話はどこまでも続いた。朝まで続

いた。哲也が何度も言う。

「西早稲田の 때가 1 番良かったな」

「結婚してからのほうが幸せだろう」

「いや、受験で、それも嫌々ながら医学部受けて浪人し続けて真っ暗だったのに、あの早稲田で過ごした数年が人生で 1 番楽しくて輝いていたんや」

話は続いた。いつまでも。いつまでも。いつまでも。まるでこれが最後の機会であるかのように。

「アホ、まだまだ来るし最後にさせんぞ。絶対に治療薬でも試験でも見つけてやるぞ。待ってろ！」

新聞が配達され、外では小鳥がさえずるころ、やっと哲也は眠ってくれた。帰りは玄関まで足をひきずりながら見送ってくれた。えっちゃん、そして幼い長男・長女と共に（闘いは始まったばかりだぞ）と、心に誓って哲也の家を後にした。一つだけ気になることがあった。足、そして手が動かなくなると、次は呼吸器に及んでくる。

「人口呼吸器？ つけらん。患者を診とったけん、どんなもんか分かつとるんよ」

「おまえ、生きる気をもてよ」

でも、知っていた。お互いに話した。全身が動かず、意識だけあるまま生き続けることが、どんなに辛いものであるかを。

その後、連絡をとろうとしても哲也は電話にも出ようとしなかった。ずっと奴のことが頭から離れたことはなかった。

1 年後、大介から電話があった。

「…哲也が死にました」

無理に休暇をとって、すぐに関西に向かった。死因は、痰がのどに詰まった為だという。人口呼吸器はつけていなかった。進行が早く、もう人口呼吸器が必要と言われても、拒んでいたようだ。

大介と俺は、えっちゃんに一つだけ聞いた。

「苦しまなかった？」

「ええ、苦しまないで眠りが続くように死んだ筈、と医師が言っていました」

不謹慎だが、全く不謹慎だが、それが1番の気がかりだった。諦めきれないが、一定の覚悟はしていた。せめて苦しまずに眠っていった、それだけが救いだった。えっちゃんは泣きながら言った。

「西早稲田が楽しかった、って。自分の人生で1番楽しかった、って。ずっと、ずっと、そう言っていました。大介さんと一緒に来てくださった時が1番嬉しそうでした。本当に有難うございました」

(同じだよ。お前とアホなことしていた時が、1番楽しかったよ。一つの青春が終わったよ。ええなあ、お前だけ年をとらないで。でもおっさん顔だからな。学生時代から。全然ふけてへんなあ。アホだわ)

涙は一つも出てこなかった。ずっと出なかった。信じられない。

葬儀が全て終わり、哲也の同僚だった医者ふたりと大介と4人で、暗い酒場で酒を飲んだ。弔い麻雀をした。皆がヘビースモーカーで大酒飲みで、不健康なことこの上ない。徹夜が明け、一人で朝食屋に入った。初めて身体が震えてきた。

(ひとりで食う飯って寂しいもんだよな。お前は天国でひとりで食ってるのか。いつか行つたるわ。麻雀の腕を鍛えとけや。ずっとずっと先のことだけどな。お前が生きれんかった分、よけいに生きたらないかんだろが。

でも。この駅に。生きてるお前に。会いに来るのは。もうないんだな) 哲也は拒んだ。苦しんで生き続けることを。

でも、良かった。苦しまないでくれて。よかった。ただそれだけが、それだけが救いだった。(友だちとして、当然だろ、そう思うのが…)

ALS。いつか治療法が、出てきて欲しい。生きることを、拒まなくて、すむように…。

ジョブ・ホッパー

ホップ、ステップ、ジャンプ！ hopper とはバッタなどのぴよんぴよん跳ぶ虫の総称、あるいは同じような場所を次々に移動する人のこと。例えば bar-hopper（酒場をはしごする人）。

「幸せの青い鳥」

どこにいるのでしょうか。

寓話の中だけでなく、あなたのそばにいるのかもしれないね。

Job Hopper それは仕事を転々と移り変わる人。青い鳥を追いかけて——私のそんな物語です。

4年間のヨーロッパ駐在を終え、日本に帰国した。浮かれた歓迎会など、夢うつつの日々は1週間くらいだったろうか。それから現実に打ちのめされるのに時間はかからなかった。

ヨーロッパでは、常に自分なりの決断を下さなければならなかった。辛いけれど、しかし生きがいに満ちた海外駐在だった。だが本社での仕事は本当に歯車の一部であり、社内の調整がほとんどだった。本当にダークな、決してここに書けない営業の仕事もあった。

（一体何の為に生きているのだろう。一生ワンマン社長の下でこの世界で生きていくのか？）

転職探しが始まった。想像以上に良い話があり、世界をリードするコンピュータ企業（アメリカ・外資）の面接に数十倍の倍率をこえて採用されることになった。

大好きなヨーロッパとお別れするのは寂しい。しかし、悔しいが世界をリードするのはアメリカだ。そのトップ大企業の研究所の所長補佐、これほどやりがいがある仕事はあるだろうか。

が、入社する1週間前、日本の小さな会社からのオファーがあった。そこは、鼻にもかけないような、町工場が発展しただけの会社だった。しかし、内容に心が引き付けられた。

「欧州に支社を置く、その支社長を求めている」

ロマンチスト？ の虫が騒いだ。(ヨーロッパ？！ また皆に会える。「新しい物を築き上げていく」。自分の求めているのはこれじゃなかったのか？！ アメリカの手先になることじゃ、なかったんじゃないのか？)

面接で気に入られ、即決してしまった。アメリカ企業は断った…。

入社した。すると、話が違っていた。最初の土曜日が出勤になっている(あれ？ 週休2日じゃなかったの？)。給料が違っていた(年収500万じゃなかったの？)。待遇が違っていた(無料の寮があるんじゃないか？)。若気の至りとはこのことだろうか。きちんと契約を結ばず、その場の勢いで人生の道を決めてしまった。

数ヵ月後、傷心のまま欧州視察の為にイギリス、ウェールズに旅立った。行きフライトはベルギー経由にした。どうしてもベルギーの友人達に会いたかったから。成田空港で隣り合わせた男と親しくなった。おどろいたことに、自分が断ったアメリカ企業の、正にそのポストについた男だった。彼は、未来の夢に明るさに満ち溢れた表情だった。

懐かしいベルギーの空港に降り立った。警官が銃を持って警備している様子さえも懐かしく感じられる(ベルギーの首都ブリュッセルにはEUとNATOの本部があり、テロへの警戒は並大抵ではない)。昔の会社の仕事場に赴いた。ベルギー人の元同僚達は、皆が笑顔で歓迎してくれた。半年ぶりの再会を心から喜んでくれた。しかしかつての日本人の上司の部屋に入ると、待っていたのは氷の微笑みだった…。

「よく裏切ったね」

そう、何を言い訳しようとも裏切りには違いない。ヨーロッパでの経験を生かして日本で力になると期待されていたのだから（しかし、ヨーロッパ課を外されて自棄になったのも原因であり、事実だった）。自分がいなければこの部署は大変なことになる、そう信じていた。しかし、それはよくある思い違いだった。ベルギーに新たに駐在した後輩が、自分なりに努力して新しい世界を築いている。まるでかつての自分の姿を鏡に映しているようだった。その夜は元同僚達と痛飲した（いったい何をしてるんだ。また彼らとこうして一緒に働けるチャンスを捨てちまったんだぜ。何を考えてるんだよ。何を求めているんだよ。大切な何かを失って、いや捨てちまったのかい）。

翌日、傷ついた何かをひきずりながら、ロンドン・ヒースロー空港に着いた。途中まで電車に乗り、そこから車で初めてウエールズに乗り込んだ。かつての炭鉱で栄えた街が廃れ、夕闇に廃墟が続く道を進む。行く先は取引先大手の日本企業だった。そこに末端の部品を納める小さな下請け業者の代表として（かつてBT＝英国版NTT、に電話を収めるコーディネータとして活躍した自分はどこに行ったんだ。いや、こんなこと分かっていて転職した筈だろう）。しかし何かが違う。海外に拠点を置いたとしても、取引先はドロドロした日本企業が相手だ（支社長といっても…これが求めていたことなのかい）。ただ、技術的な打ち合わせをしている時だけは、かつての生き生きした自分がいた。

もう1度、もう1度だけチャンスを探そう。まだ自分を待っていてくれる世界があるかもしれない。帰国の機内で心に決めた自分がいた。後悔と葛藤にさいなまれつつ…。

沈んだ様子の私を見て、副社長が自室に呼び出した。一体何があったのか、と。入社条件が聞いていたのと全く話が異なることを伝えると驚いていた。ヘッドハンティングと称する仲介会社に双方がだま

れた形だったのだ。しかし、もう後戻りはきかない。「頑張ってくれ」と言われ、詫びとして50万円を振り込むと副社長は申し出て、それはすぐに実行された。誠意のある実直な人だ（だから、だまされもするのかもしれないが）。人は期待されると嬉しいものだ。だが何かが違う。

気分転換をさせる意味もあったのだろうか。大阪支店に1ヶ月の研修に行くことになった。新大阪駅から徒歩5分、雑居ビルの一室に肩を寄せ合うように10人がいた。ずっと貿易で海外との折衝しかして来なかった自分には全く未知の新鮮な世界だった。電話が鳴ると威勢のいい返事、時には怒号と思えるような喧騒。何しろ大阪だ。関西弁が使えなければ泥臭い営業など不可能なんだろうな、と感心するばかりだった。

そして鞆を抱えた営業部員が出て行くと、静まり返った室内に事務の女性2人だけが残った。人情に厚いおばちゃんとお姉さんは色々と話しかけてきてくれた。関西ではないが、西日本で生まれた私にはその心暖かさが郷愁を呼び起こしさえもした。

駅前のチサンホテルに逗留していたが眠れない日々が続いた。精神的なものかと思った。しかし違う。息苦しいのだ。鼻から空気が通っていかない、呼吸が出来ない。口から息をするしかない。非常事態となった。

朝まで一睡も出来ず、その足で新幹線で東京に帰った。日赤で検査をした所「慢性副鼻こう炎」、つまり蓄膿症ですぐに入院・手術となった。膿が頬骨の上に溜まったのを取り出す為に歯茎の上を削って穴を開ける。そして鼻の穴が曲がっている（日本人の7割がそうらしい）ので鼻の「骨を削って」真っ直ぐ息が通るようにする外科手術。

卒倒しそうな内容だ。幸い？ というか当然ながら全身麻酔だという。

1、2、3まで数えることなく意識が遠のいた。気がついたら病室のベッドに横たわっていた。全身を麻酔させるのは、人体にすごく不自

然なことをするわけだ。一人で小用が出来るまででも1週間はかかった。回復までの治療は手術よりも辛かった。耳かきの細いようなものを鼻の穴から脳に届くかと思うほど突っ込まれる。キーンという痛さは経験者しか分からないかもしれない。

退院まで1ヶ月かかったが、回復だけに専念出来たことは、ある意味で現実逃避が出来たモラトリアムだったとも言えるだろうか。

大阪を出たのは夏の終わりの頃。日赤を後にしたのはもう枯れ葉舞う10月末。秋の涼風が病み上がりの身体に染み込んだ。暖かい言葉など期待していない。しかし銀行通帳で目にしたのは「給与0」という現実だった。中小企業の福利厚生とはそういうものだ。特に入ったばかりの中途採用者に、なんで特別の計らいなどあろうものか。

自ら選んだ道だ。大学を卒業する時だっ一部上場企業に採用合格しながら、「海外に駐在したい、人生は冒険だ！」と言って親の反対も押し切って名もない中企業を選んだのだ。そして現実にその夢を叶えたことで後悔はない筈だった。それなのに弱気の虫が囁いた（無難な人生を歩めば良かったのに）。

イギリスへの労働許可証の申請が始まった。今年中に決着をつけない限り、ウエールズに赴任するか、路頭をさまようかの二者択一しか残されていない。人材紹介の会社と再び打ち合わせをした。以前はあんなに引く手あまただったのに門戸が閉じられたように様子が変わっていた。また新たな現実の厳しさを学ぶこととなった。

人は手が届かないものほど欲しくなり、高い値段でも買いたくなるものだ。転職市場も同じ。現役バリバリで1度も転職したことのない人材は欲しくなるようだ。しかし日本の文化では1度転職した人間、言うなれば「就職バツイチ」はとたんに評価が低くなる。期限2ヶ月を前にして紹介されたのはあまり気の進まない会社が多かった。

① プラント輸出メーカー。日本2位の実績はあるが、非常に賃金が

安く労働時間が長い。東南アジア、中近東が多く、駐在期間は不明。面接を受けず。

②外資 PC ベンチャー。受付のお姉さんからして六本木でイケイケそのもののアヤシイ（まさに外資？）雰囲気。

お断り（その後日本から撤退）。

③電子部品商社。狭く汚い事務所。日本文化そのもの。低賃金でのオファーはあったがお断り。

贅沢を言える立場でないことを痛感したが、それでも夢を追いかかった。もうダメだと思って諦めかけた日に電話があった。「〇〇〇はどうですか」。なんと！日本を代表する光学機器メーカーであった。書類審査を通り、海外営業部長との面接にも合格した。明るいオフィス、生き生きした雰囲気、これから更に市場を開拓する活気に溢れていた。余談だが、営業部を案内してくれた可愛い女性が、なんと一目ぼれしてくれて、キラキラと瞳を輝かせて話しかけてくる（こんなこと一生に1度だぞ、えらいこっちゃ）。営業部長も「△△さんが入社を楽しみに待っているよ」と言うくらいだ。最後に社長面接になった。新聞でも見たことのある有名な人だ。副社長2人と一緒に真ん中の席に座り、その落ち着いたおおらかな人格に圧倒される思いだったが、精一杯の誠意をもって必死に話をした。

数日後、合格の知らせが来た！遂にあの新宿の高層ビルで働く時が来たんだ。ちゃんと認めてくれる人もいるんだ。世の中捨てたものじゃないんだ！人事部に手続きに行き、人事課長と部長に明るく迎え入れてもらえた。

新しい人生の出発だ！心は晴れ渡り、12月の寒空さえもすがすがしく感じた。

いよいよ今の会社に辞職願いを出そうという日の朝、1本の電話が鳴った…。

実はその1週間前にアメリカの大企業コダック社の筆記試験を受け

ていた。人材紹介会社から紹介を受けた時に不安になって「もし両方とも受かってしまったら困りませんか」と尋ねたら、「一つだって受かるのは奇跡的なことだよ。もし両方受かったら責任を持って何とかするよ」と笑って送り出されていたのだ。

なんとそのコダックの筆記試験に合格したので明日面接試験に来て欲しいと言うのだ。面接に行った。先日は人事部の会議室で筆記テストを受けただけなので分からなかったが、今まで見たどんな会社とも物理的に違う。なんと高さ2m強のパーテーションに囲まれた四畳半くらいのオフィスが林立して並んでいる。その入口には一人ずつセクレタリと称する女性が机を構えている。(ドラマでさえ見たことのない光景じゃないか)。目を丸くするばかりの私に案内の人が微笑んだ。「この部屋でお待ち下さい」。

3人の日本人が面接に現れた。簡単な英語の質問。失礼ながら発音は大したことはないのだが、聞き慣れないアメリカ英語の意味が不明で聞き直す。その後の質問は今までの経緯を尋ねるもので、人格を貶めるような内容も含み不快だった。しかし正面から目を見据えて自分の考えを述べた。(人生はそれぞれの人間が必死で考えて辿った道の日だ。これで落とすなら落としてみろよ)。当然落ちたと思った。

しかし、2日後に「合格です。アメリカ人支社長との最終面接に来て下さい」と言われた。

え?! 有り得ない!(受かるわけがないが、万が一受かったらどうするんだよ。新宿のオフィスに心を決めたのに、あの優しい人達を裏切るのかよ)。

複雑な思いを抱いたまま最終面接に入った。白髪の大柄な好感の持てるアメリカ人紳士が暖かく迎えてくれた。先日の日本人達よりも余程分かりやすい英語で親しみ深い質問をしてきた。海外で仕事をしていた時のように気持ちよく受け答えが出来、心地良い時間が過ぎて行った。(先日の連中とは雲泥の差じゃないか、どうなってんだ)。日

本人責任者と部長達が部屋に招かれた。白髪アメリカ人紳士は言った。
 「君達は、彼を採用したくて仕方ないだろう、分かってるよ」
 皆が微笑んでうなずいた。そして言った。
 「おめでとう！」

ひきつった笑顔のまま、部長達とアメリカ人紳士と握手をした。その後、にこやかな人事部長に具体的な入社条件の説明を受けることになった。そう言えば給料など何も聞かされていなかった。(ああ、あんなに喜んでもらって、断るかもしれないのに、どうしよう)。

「よく合格したね。50人受けて君ひとりを採用したんだよ」

「え？ そうなんですか」

「うん、それで給料は年棒制でね、こうなっているんだ」

「はい、拝見します」

驚いた。こんなにももらえるなんて。

「出来るだけ早く入社してもらいたいんだけど、今の会社を辞める都合もあるよね」

「はい、早急にお返事をします」

帰宅し、その夜は一晩中眠れなかった。日本の一流企業か？ アメリカの大企業か？ 大学を出て選択したのは中企業、そして転職したのは小企業だった。端的に言えば、年商 100 億⇒10 億。零細企業の悲哀は味わった。もう小さい所は選びたくない。今度は、

年商 1000 億 vs 1 兆

日本 vs アメリカ

安定 vs 冒険

どっちにするんだ？ 心の声がささやく。(もう安定しろよ、アメリカ嫌いだろ)。別の声がささやく。(それでいいのか？ 世界中にチャレンジしないのか)。

外資はいつ撤退や首切りがあるか分からない。それは面接を受けたアメリカのパソコンメーカーがその後存在しなくなったことから明らかだ。〇〇〇社は、明るく統制のとれた良い雰囲気の中で、出会った人達は皆落ち着いて好感の持てる人ばかりだった。コダックは究極の外資で、ひとりずつが個室を持ち、一匹狼を寄せ集め、クセのありそうな顔ぶれがそろっていた。

どうするんだ？ どうするんだよ？

期限は迫っていた。どちらもいつまでも待たせておくわけにはいかない。3日間、本当に夜も眠れなかった。今までの自分の生き方、これからの生き方を考えてみた。そしてついに決めた。

日本の〇〇〇社！ではなく、アメリカのコダックに、決めた。やはり世界中を見てみたい思いが強かった。ヨーロッパ人から見るとアメリカ人は「下品で気がきかなくて、大きいことはいいことだ、みたいな大雑把な人種」という印象があり、自分もそれに洗脳されていた影響は大きかった。そして「またヨーロッパに戻りたい」という思いも強かった。しかし、だからこそアメリカの内部に入って実際の様子を見てみたい。アメリカ人に使われるなんて、という思いも強かった。しかし支社長に代表されるように悪い人物ばかりでもなさそうだ。客観的に考えれば、どう考えたって日本の〇〇〇社の方が安定していて良いに決まっている。しかしその生き方は、もし2回目の人生があったら、その時にとっておいてもいいだろう。性分として、やはり無茶とも言えるチャレンジに賭けてみたいという思いにかなわなかった。

それは12月24日。クリスマスイブの日だった。その日に勤めていた小企業には辞職願いを出し（様子がおかしいのを幹部も分かっていた）、即座に退職となった。クリスマスで華やかに彩られた街を、つかの間のフリーターとして歩くと、全ての景色が新鮮に見えた。蒲田から数駅の小さな町工場が連なる下町風景だった。ここから新宿の高層

ビル（〇〇〇社）に行くことを決めたのに、土壇場で新橋（コダック）に行き先を変えたんだ。また乗り換えがあるだろうか。それも人生さ。しかしまだ最後に一つ残された仕事があった。精神的に今もトラウマとなっている、そんな辛い仕事が。

12月28日。仕事納めの年末。街は師走の慌しさに満ちていた。人材紹介会社を通じて〇〇〇社に断りの連絡を入れた。「私が勝手に外資の募集を受けて、そちらを選択したのだ」ということにして。（責任を持つ、と言っていたのはこういうことだったんだな）。〇〇〇社に正式に謝りの挨拶に行った。人事課長は怒っていた。

「もう制服を合わせるだけだったんだよ。皆待っていたんだよ」

「——」

空白の時間が流れた。

「黙っていちゃ分からないだろう。いったいどうしてなんだ！」

（紹介会社からのアドバイスを受けていた）

「外資の方が給料が高くて」

「だったら言えばいいじゃないか！ 連絡してくればいいじゃないか！ そんなことで人を裏切るのか?!」

（全くおっしゃる通りだ。何も返す言葉なんてない）

嫌いだから怒っているんじゃない、好いてくれているから怒っている、人のよさそうな人事課長の顔が正面から見られなかった。帰り際に、更に温厚そうな人事部長が、息を吐き出すように、静かに、しかし内面の激しさを吐露するように言った。今でも忘れられない。いや生きている限り永久に残るだろう。

「社長面接まで行って、我々は始末書ものだよ」

「——」

「しかし、そんなことはどうだっていいんだよ」

「——」

「君は早稲田の後輩になるんだよ。しかしこんなやつが早稲田にいたなんて、情けなくて仕方ないよ」

「———」

「帰ってくれ、早稲田にこんなやつがいたなんて、恥ずかしくて仕方ないよ」

どんなに喉元まで出かかっただろう。(先輩！ 違うですよ、違う、そうじゃないんですよ)。しかし、追い払われるように部屋を後にするしかなかった。人事部長の寂しげな背中を目にしながらか…。最初の会社でも、次の会社でも（そしてその後入ったコダックでも）そうだった。常に早稲田の先輩は、ただ後輩というだけでかわいがってくれた（今でもお世話になっている税理士さんは地元の稲門会で知り合った先輩だ）。夢も大切だ。しかし人の信頼の方が大切だ。信じて愛してくれた先輩に、こんな腐ったやつが早稲田の後輩に、と思われることが辛くてならなかった。しかし、しげらみがある。ここで真実を話せば、人材会社にもコダックにもまた迷惑がかかる。(いつか、いつかきっと将来、真実を話したい)。直接には何も出来ない。ただこれから早稲田の後輩の面倒を見ることで間接的に恩返しをしよう、と心に誓うしかなかった。

新宿の高層ビルを出ると、こんな心の嵐も知らず、何も変わらぬ日常が待っていた。もう後ろを振り返ることは許されない。新たなチャレンジに向かって踏み出すしかない。夕闇迫る大都会のアスファルトを、一歩ずつ踏みしめて歩いて行った。(そう、おれは夢を追いかけ、さすらう奴。Job Hopper さ)。

《後日談》

数年後、コダックで〇〇〇社を担当することになった。かなり親しくなってから、技術部長と一緒にアメリカに出張した時、何気なく人事部長の消息を聞いた。既に定年退職した後だった。

あとがき

英語が出来る人はたくさんいます。私は英語力で1番ではありません。でも「やさしく英語を教えよう！」という情熱は世界で1番、誰にも負けないと思っています。

私は日本の会社で「外国に売る」、アメリカの会社で「日本から買う」経験を積み、IT機器の開発プロジェクトで世界中を駆け巡りました。そのノウハウを後世に引き継ぐのが責務と感じ、一冊の本にしました。内容よりも「心」が伝われば、これほど嬉しいことはありません。

なお、私の「生きがい」として東京で英語レッスンを行っています。お金はいただきません。でも日本盲導犬協会に寄付をしてください。生徒さんは英語を学ぶ生きがい。お互いに慈善活動に貢献できる喜び。これが私の提唱する「善活」＝生きがいのための慈善活動です。皆さんも善活してみませんか？詳しくは著書「善活のすすめ」をご覧ください。有料ですが、収益はすべて寄付をします。それも善活です。

(私の英語レッスンはオバマ大統領の演説を解説します。ビジネスにおいて「国際的な常識」が英語よりも大切だからです。)

英語レッスン・善活その他すべての情報は以下のホームページのリンクからご覧いただけます。

<https://ys-academy.co.jp/>

最後に、皆さんが英語で未来への夢をつむぎ、世界中にお友達が出来、生き甲斐と愛に満ちた生活を送られることを心から祈ります。

2019年夏

大森善郎

[筆者紹介]

大森 善郎 Yoshiro Ohmori

1958年島根県生まれ。早稲田大学政治経済学部卒業。TOEIC915点。
日本の通信機メーカーに就職。その後、アメリカのコダック社に転職。ロンドン、
ニューヨーク、ベルギーに5年間駐在。

IT機器の日米欧の共同開発に携わり、工場のあるアジア・中米地区を含め、世
界中を駆け巡る。

中学英語の文法を使い、分かりやすく英語を解説することで定評あり。タウン誌
の英語記事連載、カルチャーセンターでの講義など多方面で活躍。

現在は㈱ワイズアカデミーを経営。通信制高校のサポート校を成田、品川、目黒
の3拠点に展開。「あたたかい居場所」をモットーに、生徒が笑顔で卒業するの
を見守るのが最大の喜び。

生きがいとしての善活（慈善活動）を提唱。趣味は囲碁（2段）

著書『基本マスター BASIC 英文法』語研、2011年

著書『善活のすすめ』ハレード、2016年

ホームページアドレス <https://ys-academy.co.jp/>



よっちゃんのやさしい英語レッスン

中学英語も不安なあなたへ

2019年8月10日 第2版第1刷

著者 株式会社ワイズアカデミー 代表取締役
大森 善郎 (おおもり よしろう)

本文イラスト 高松 ゆき子
表紙イラスト 上田 そら
装 幀 松原 義之 (PARADE Inc.)

発行者 太田 宏司郎
発行所 株式会社パレード

大阪本社 〒530-0043 大阪府大阪市北区天満 2-7-12
TEL 06-6351-0740 FAX 06-6356-8129
東京支社 〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷 2-10-7
TEL 03-5413-3285 FAX 03-5413-3286

発売所 株式会社星雲社
〒112-0005 東京都文京区水道 1-3-30
TEL 03-3868-3275 FAX 03-3868-6588

印刷所 創栄図書印刷株式会社

本書の複写・複製を禁じます。 落丁・乱丁本はお取り替えいたします。

© Yoshiro Ohmori, 2019 Printed in Japan

ISBN 978-4-434-26331-6